
まちづくりに関する
市民アンケート調査結果報告書

2015 年（平成 27 年）9 月

高 砂 市

目 次

I 調査の目的と方法	1
1. 調査目的	2
2. 調査設計と回収結果	2
3. 報告書の見方	2
II 市民アンケート調査集計結果	3
A お住まい・居住地に関するアンケート	4
B 結婚・出産に関するアンケート（独身男女）	41
C 結婚・出産に関するアンケート（有配偶者女性）	61
III アンケート調査票	79

I 調査の目的と方法

1. 調査目的

本年度は、第4次高砂市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）の中間年における基本計画の見直しを行うとともに、人口の減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図る地方創生総合戦略の策定を併せて行う。本調査は、住まいや結婚・出産、子育てなどの市民の意向を把握し、これらの計画策定にあたっての基礎資料とするため実施するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	18歳以上の市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布、回収
調査期間	平成27年6月上旬～平成27年6月30日
調査票配布数	1,000人
有効回収数	297人
有効回収率	29.7%

3. 報告書の見方

- (1) 回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数（N=Number of case）として算出した。
- (2) 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- (3) 各設問において、性別や年齢等の無回答は集計に含んでいないため、集計結果の合計は全体票数にならないことがある。
- (4) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。

Ⅱ 市民アンケート調査集計結果

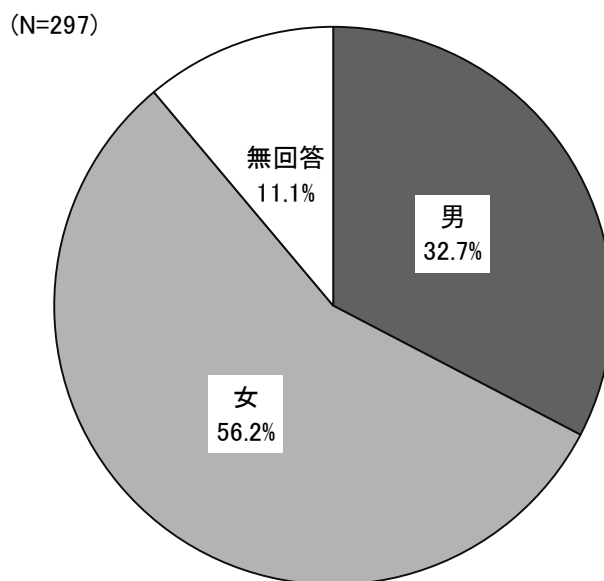
A お住まい・居住地に関するアンケート

(回答対象者：すべて)

問1 性別

「男性」が 32.7%、「女性」が 56.2%である。

図 A-1 性別



問2 年齢

最も多いのは「40歳から49歳まで」で19.5%である。男女別でみると、最も多いのは「男性」では「60歳から69歳まで」、「女性」では「40歳から49歳まで」である。

図 A-2 年齢

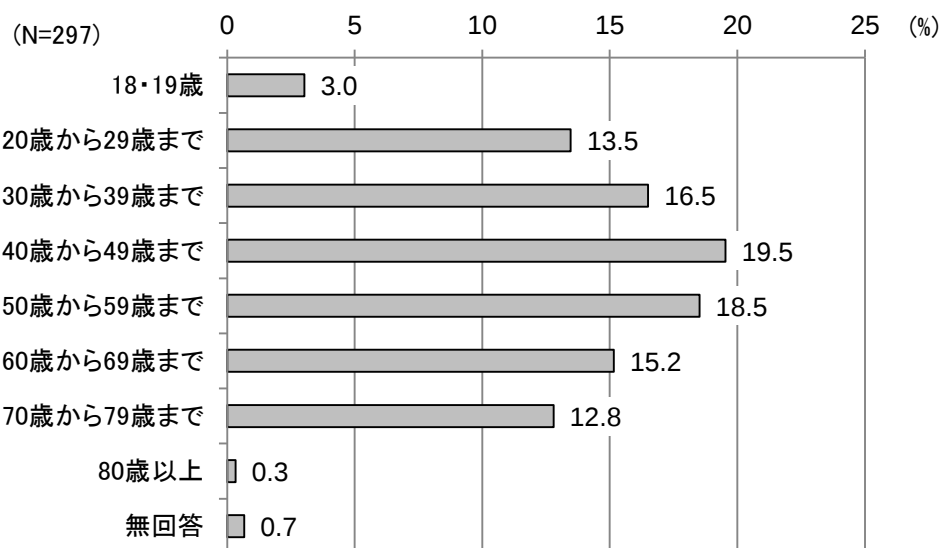


図 A-3 男女別・年齢

(%)

	18・19歳	20歳から 29歳まで	30歳から 39歳まで	40歳から 49歳まで	50歳から 59歳まで	60歳から 69歳まで	70歳から 79歳まで	80歳以上	無回答
全体(N=297)	3.0	13.5	16.5	19.5	18.5	15.2	12.8	0.3	0.7
男性(N=97)	4.1	13.4	13.4	18.6	13.4	20.6	14.4	1.0	1.0
女性(N=167)	3.0	15.0	19.8	22.8	21.0	10.2	8.4	-	-

問3 結婚

「既婚」が71.4%である。男女別にみると、「女性」のほうが若干「既婚」が多い。

図 A-4 結婚

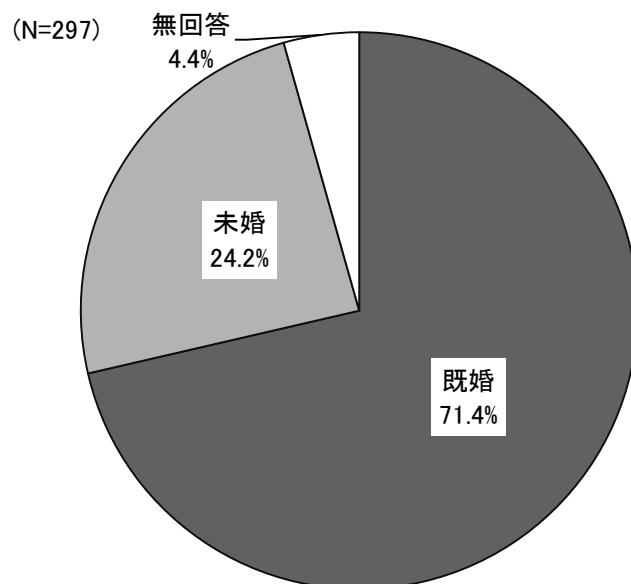


図 A-5 男女別・結婚

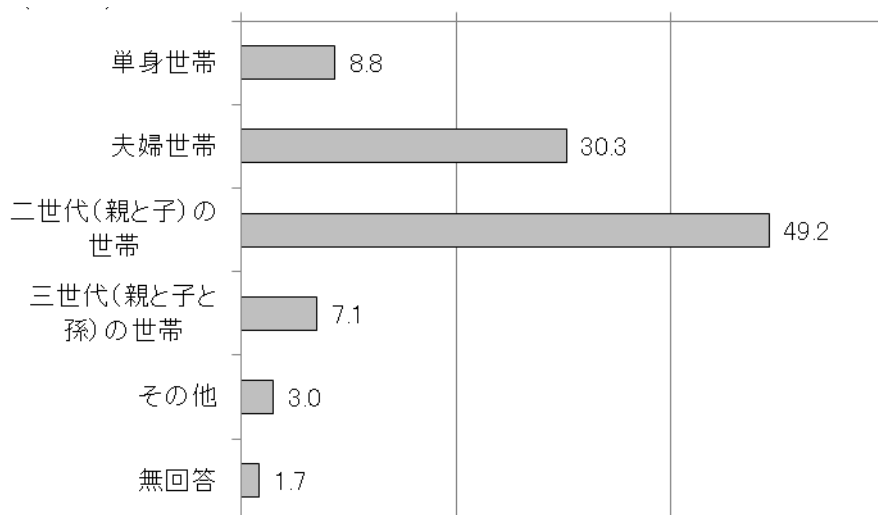
(%)

	既婚	未婚	無回答
全体(N=297)	71.4	24.2	4.4
男性(N=97)	68.0	26.8	5.2
女性(N=167)	70.7	26.3	3.0

問4 家族構成

最も多いのは「二世世代（親と子）の世帯」で49.2%である。続いて、「夫婦世帯」が多い。

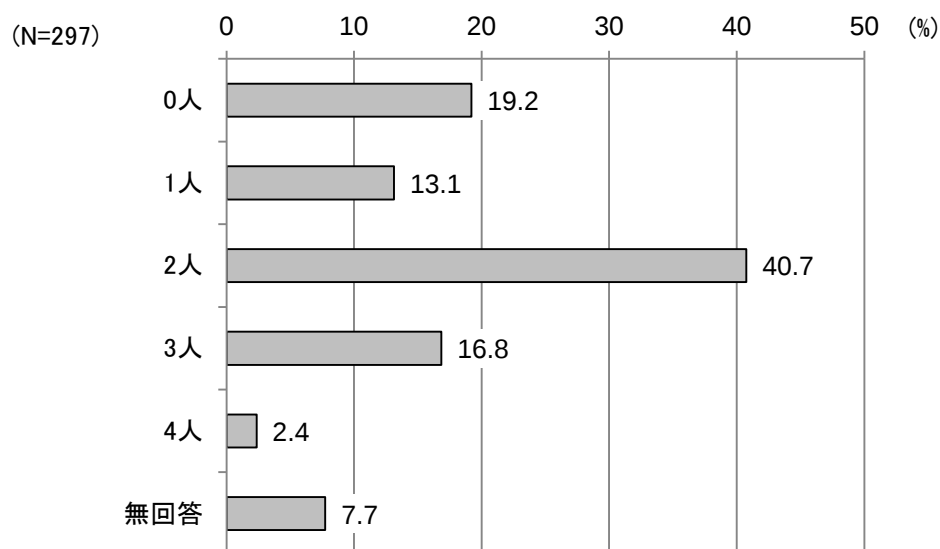
図 A-6 家族構成



問5 お子様の数（※同居の有無にかかわらず。）

最も多いのは「2人」で40.7%である。続いて「0人」が多い。

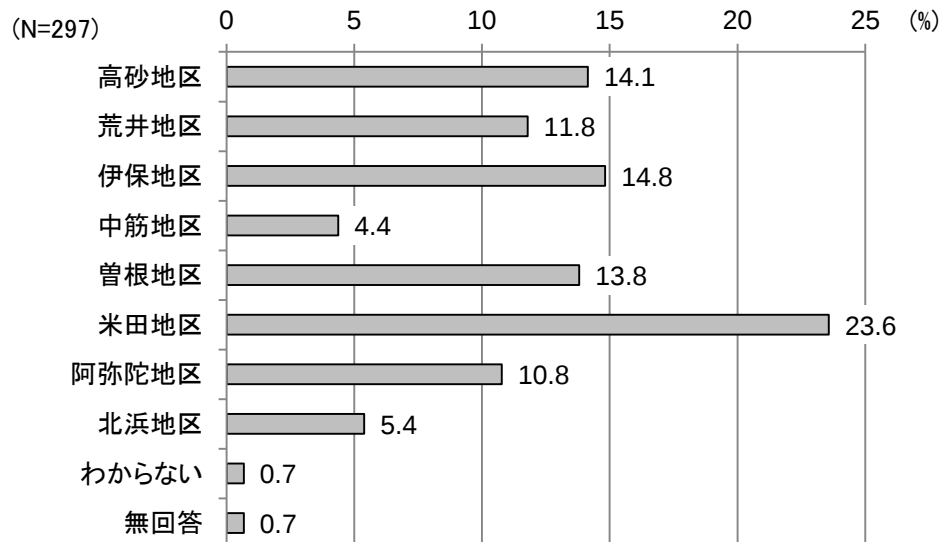
図 A-7 子どもの数



問6 お住まいの住所地

最も多いのは「米田地区」で23.6%である。続いて、「伊保地区」、「高砂地区」、「曽根地区」、「荒井地区」、「阿弥陀地区」、「北浜地区」、「中筋地区」の順に多い。

図 A- 8 居住地区



問 7 現在の住所地の居住期間

最も多いのは「30年以上」で26.3%である。続いて、「10年以上20年未満」、「20年以上30年未満」が同程度で多い。地区別にみると、全体と比較して「中筋地区」で居住期間が長い。

図 A-9 居住期間

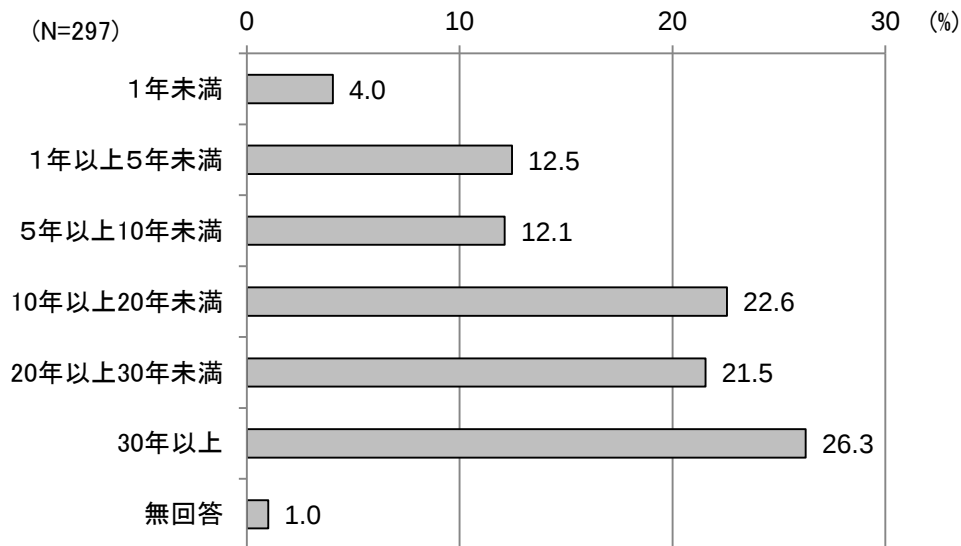


図 A-10 居住地区別・居住期間

	(%)						
	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体(N=297)	4.0	12.5	12.1	22.6	21.5	26.3	1.0
高砂地区(N=42)	—	7.1	9.5	26.2	19.0	35.7	2.4
荒井地区(N=35)	5.7	14.3	17.1	31.4	14.3	17.1	—
伊保地区(N=44)	4.5	20.5	13.6	18.2	20.5	22.7	—
中筋地区(N=13)	—	—	7.7	15.4	46.2	30.8	—
曾根地区(N=41)	2.4	9.8	9.8	24.4	19.5	34.1	—
米田地区(N=70)	5.7	11.4	15.7	17.1	21.4	28.6	—
阿弥陀地区(N=32)	6.3	9.4	9.4	28.1	28.1	18.8	—
北浜地区(N=16)	—	18.8	6.3	25.0	25.0	18.8	6.3

問8 最後に卒業した（あるいは在学中の）学校

最も多いのは「男女共学の高校」で27.9%である。続いて、「共学の大学」が多い。男女別にみると、最も多いのは「男性」で「共学の大学」、「女性」で「男女共学の高校」である。年代別にみると30代までは「共学の大学」が一番多く、40代以降（70歳以上除く）では「男女共学の高校」が一番多い。

図 A-11 最終学歴

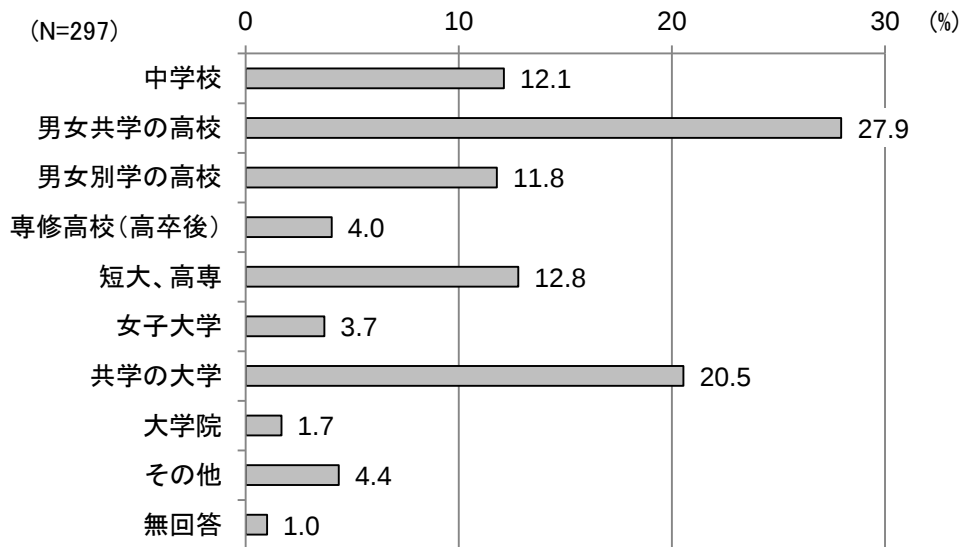
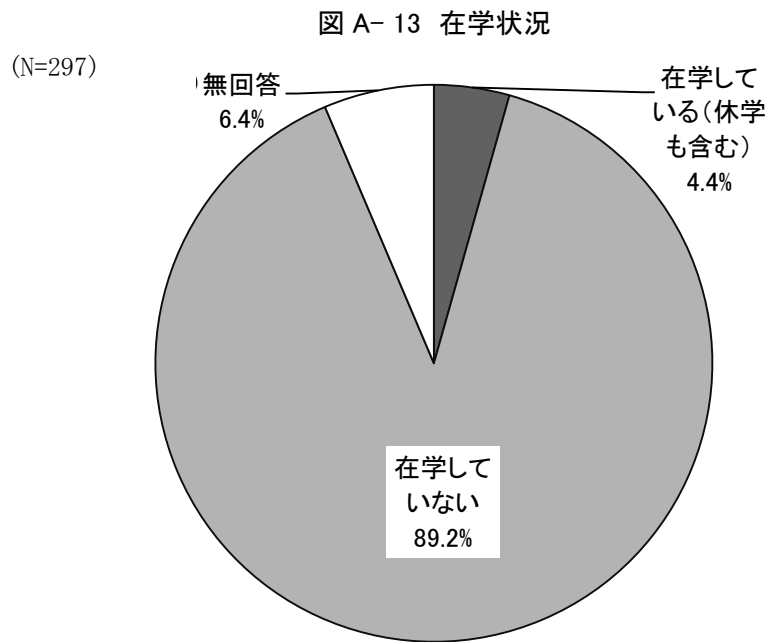


図 A-12 男女別/年代別・最終学歴

	中学校	男女共学の高校	男女別学の高校	専修高校(高卒後)	短大、高専	女子大学	共学の大学	大学院	その他	無回答
全体(N=297)	12.1	27.9	11.8	4.0	12.8	3.7	20.5	1.7	4.4	1.0
男性(N=97)	8.2	32.0	12.4	3.1	2.1	-	34.0	5.2	3.1	-
女性(N=167)	13.2	23.4	10.8	3.6	20.4	6.6	16.2	-	5.4	0.6
18歳から29歳まで(N=49)	2.0	26.5	2.0	6.1	6.1	8.2	32.7	4.1	12.2	-
30歳から39歳まで(N=49)	4.1	24.5	8.2	4.1	22.4	2.0	30.6	2.0	2.0	-
40歳から49歳まで(N=58)	6.9	32.8	12.1	8.6	15.5	3.4	19.0	-	1.7	-
50歳から59歳まで(N=55)	5.5	29.1	18.2	1.8	18.2	7.3	16.4	1.8	-	1.8
60歳から69歳まで(N=45)	22.2	31.1	15.6	2.2	4.4	-	17.8	2.2	2.2	2.2
70歳以上(N=39)	41.0	20.5	15.4	-	7.7	-	5.1	-	10.3	-

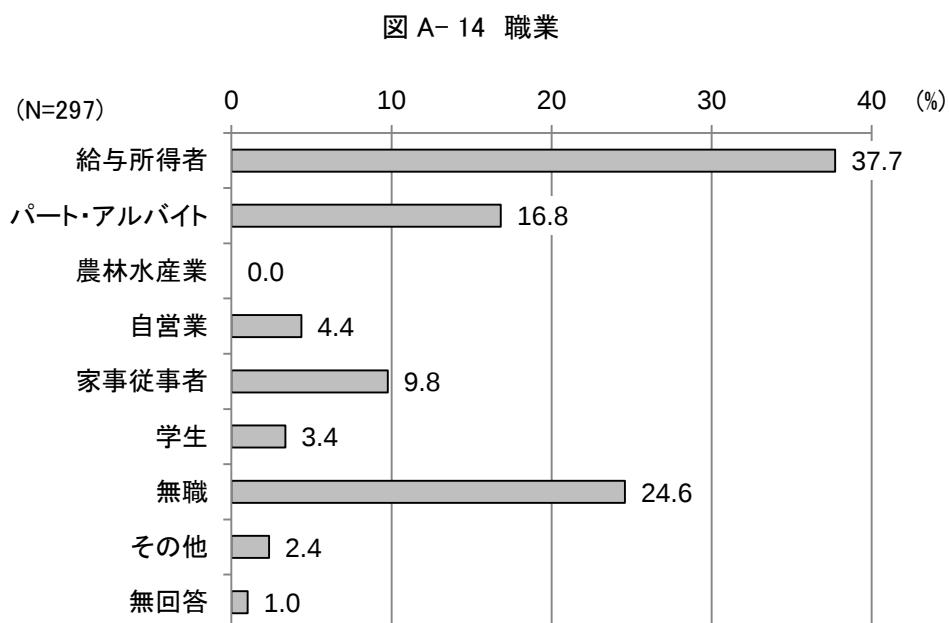
問9 在学しているか

「在学していない」が最も多く 89.2%である。



問10 現在のおつとめの状況をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

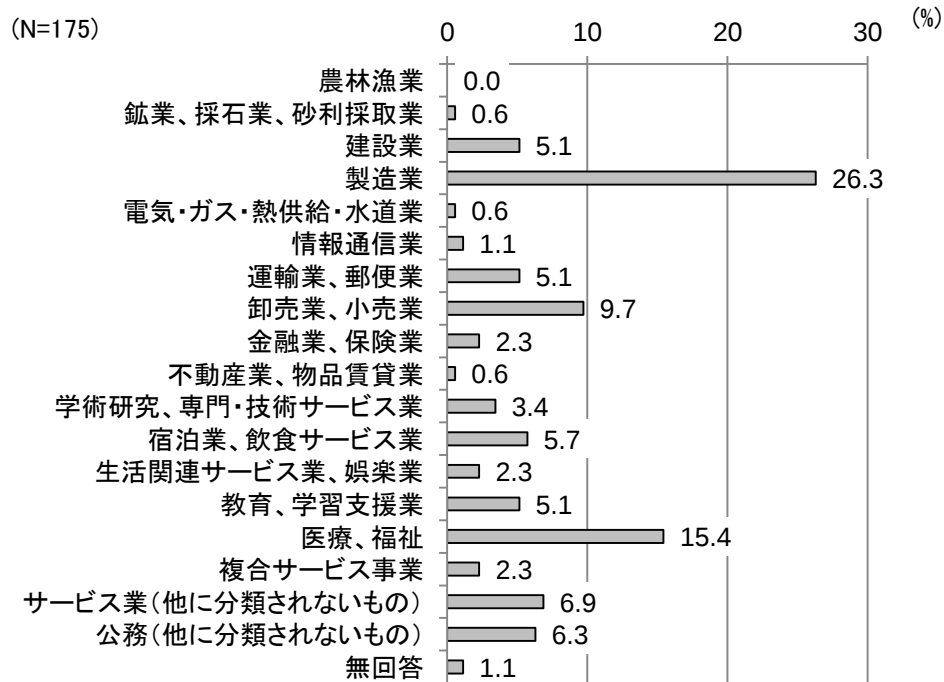
最も多いのは「給与所得者」で 37.7%である。続いて、「無職」、「パート・アルバイト」の順に多い。



問 11 （問 10 で「給与所得者」、「パート・アルバイト」、「農林水産業」、「自営業」を選択した方に伺います。）現在の業種をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「製造業」で 26.3%である。続いて、「医療、福祉」が多い。

図 A- 15 業種



問 12 現在のお住まいである住宅の種類は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「持家(一戸建て)」が最も多く 75.4%である。地区別にみると、全体と比較して「曽根地区」や「阿弥陀地区」で「持家(一戸建て)」が多く、「伊保地区」で「賃貸アパート」が多い。

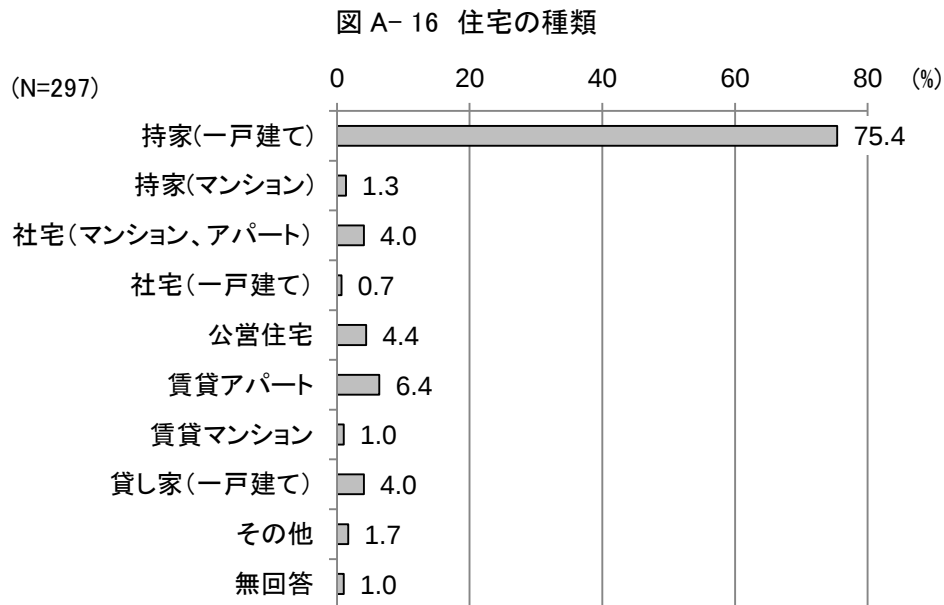


図 A-17 居住地区別・住宅の種類

(%)

	持家(一戸建て)	持家(マンション)	社宅(マンション、アパート)	社宅(一戸建て)	公営住宅	賃貸アパート	賃貸マンション	貸し家(一戸建て)	その他	無回答
全体(N=297)	75.4	1.3	4.0	0.7	4.4	6.4	1.0	4.0	1.7	1.0
高砂地区(N=42)	69.0	-	4.8	2.4	7.1	4.8	4.8	4.8	-	2.4
荒井地区(N=35)	71.4	2.9	14.3	-	-	2.9	-	2.9	5.7	-
伊保地区(N=44)	68.2	-	2.3	-	9.1	13.6	-	4.5	2.3	-
中筋地区(N=13)	61.5	-	-	-	15.4	7.7	-	15.4	-	-
曽根地区(N=41)	95.1	-	2.4	-	-	2.4	-	-	-	-
米田地区(N=70)	70.0	4.3	4.3	1.4	4.3	10.0	1.4	1.4	1.4	1.4
阿弥陀地区(N=32)	90.6	-	-	-	3.1	3.1	-	3.1	-	-
北浜地区(N=16)	81.3	-	-	-	-	-	-	12.5	6.3	-

これまでの住まいなどについて

問 13 あなたが生まれた場所を教えてください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「兵庫県内の他の市町村」で33.7%である。続いて「現在と同じ地区」、「他の都道府県」が多い。「兵庫県内の他の市町村」と回答した人の具体的な内容は、「姫路市」、「神戸市」、「加古川市」が多い。「他の都道府県」と回答した人の具体的な内容は、「大阪府」、「福岡県」、「鹿児島県」、「熊本県」が多い。地区別にみると、全体と比較して「中筋地区」「阿弥陀地区」で「現在と同じ地区」が少ない。

図 A-18 出生地

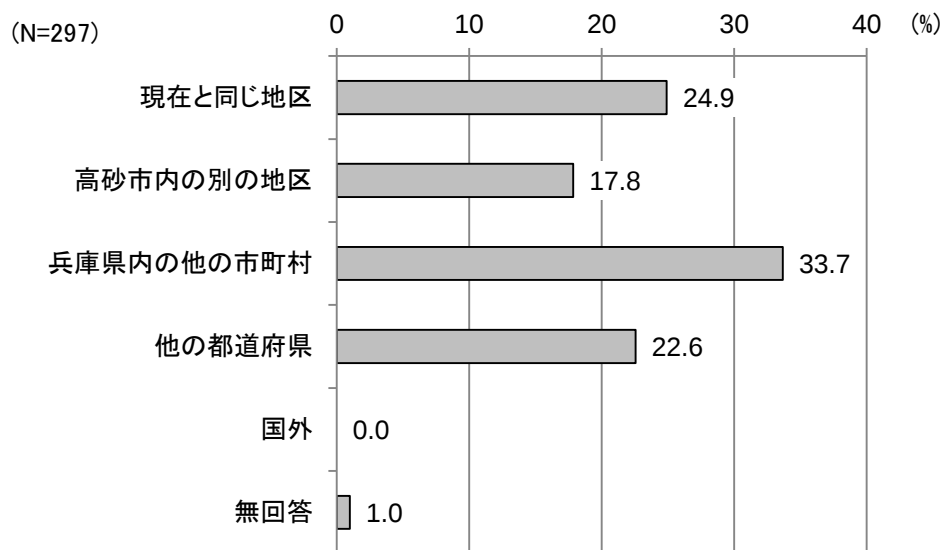


図 A-19 居住地区別・出生地

(%)

	現在と同じ地区	高砂市内の別の地区	兵庫県内の他の市町村	他の都道府県	国外	無回答
全体(N=297)	24.9	17.8	33.7	22.6	—	1.0
高砂地区(N=42)	31.0	14.3	31.0	23.8	—	—
荒井地区(N=35)	28.6	28.6	20.0	22.9	—	—
伊保地区(N=44)	25.0	34.1	20.5	20.5	—	—
中筋地区(N=13)	15.4	23.1	38.5	15.4	—	7.7
曾根地区(N=41)	31.7	9.8	39.0	19.5	—	—
米田地区(N=70)	20.0	15.7	34.3	30.0	—	—
阿弥陀地区(N=32)	18.8	9.4	50.0	18.8	—	3.1
北浜地区(N=16)	25.0	6.3	56.3	12.5	—	—

問 14 あなたは高砂市以外から引っ越してきたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「ある」が62%、「ない」が37%である。地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」、「阿弥陀地区」で「ある」が多い。

図 A-20 高砂市への引っ越し

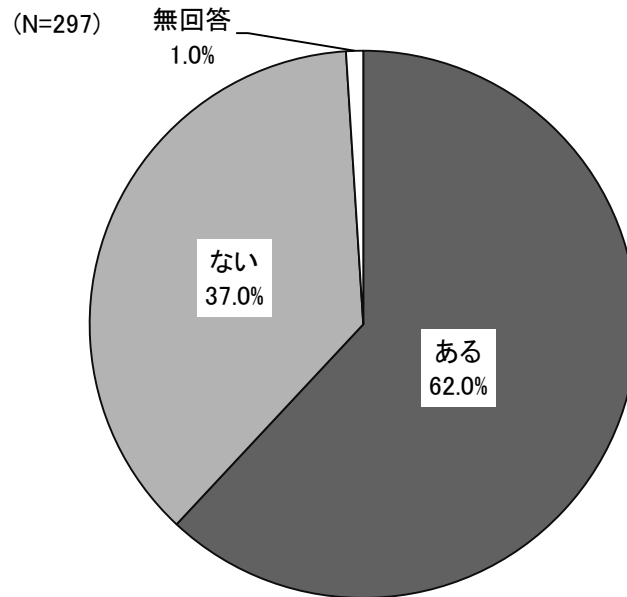


図 A-21 居住地区別・高砂市への引っ越し

(%)

	ある	ない	無回答
全体(N=297)	62.0	37.0	1.0
高砂地区(N=42)	59.5	38.1	2.4
荒井地区(N=35)	45.7	54.3	—
伊保地区(N=44)	52.3	47.7	—
中筋地区(N=13)	46.2	53.8	—
曾根地区(N=41)	61.0	36.6	2.4
米田地区(N=70)	65.7	34.3	—
阿弥陀地区(N=32)	81.3	18.8	—
北浜地区(N=16)	87.5	12.5	—

問 15 (問 14 で (引っ越してきたことが)「ある」を選択した方に伺います。) 直近であな
たが高砂市以外から引っ越してきたのはいつですか。

最も多いのは、「2001 年以降 2010 年以前」で 24.5%である。引っ越してきた月で最も多いのは
「4 月」で 20.7%である。

図 A-22 高砂市へ引っ越してきた時期(年)

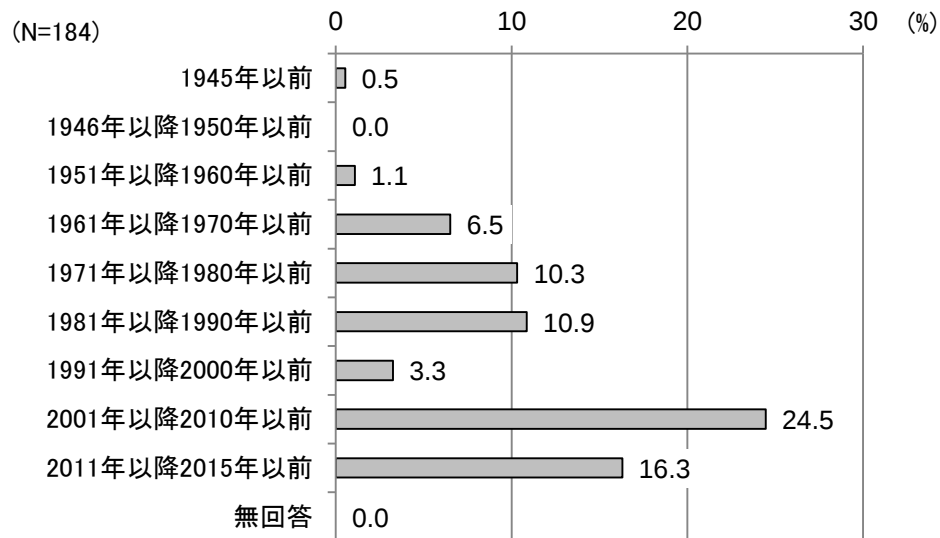
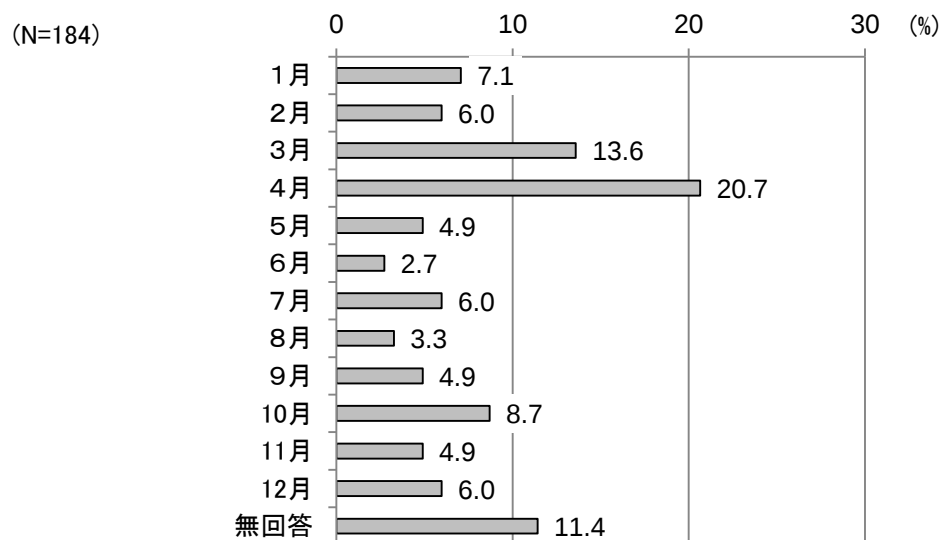


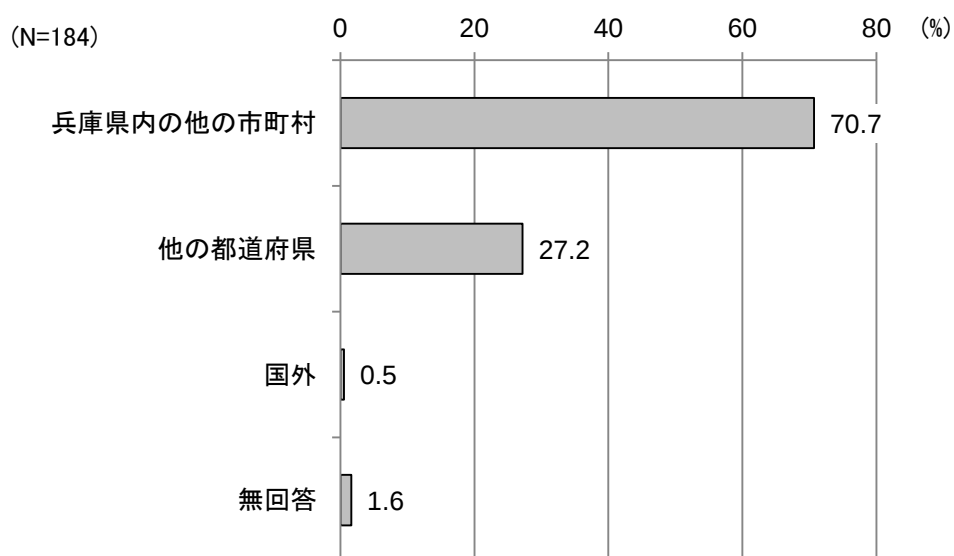
図 A-23 高砂市へ引っ越してきた時期(月)



問 16 （問 14 で（引っ越してきたことが）「ある」を選択した方に伺います。）直近であなたが高砂市に引っ越してきた時の前の居住地はどこですか。あてはまるものを 1 つだけ選んで○をつけてください。

「兵庫県内の他の市町村」が最も多く 70.7%である。続いて、「他の都道府県」が多い。「兵庫県内の他の市町村」と回答した人の具体的な内容は、「加古川市」、「姫路市」、「神戸市」が多い。「他の都道府県」と回答した人の具体的な内容は、「大阪府」、「東京都」が多い。

図 A-24 引っ越し前の居住地



問 17 (問 14 で (引っ越してきたことが)「ある」を選択した方に伺います。) 直近であったが高砂市に引っ越してきた時の理由は何ですか。ご本人以外の理由を含めて、あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

「住宅事情」、「結婚又は離婚のため」がともに多く 30%弱である。続いて、「家族、親族と同居又は近くに住むため」が多い。地区別にみると、「転勤のため」、「住宅事情」、「結婚又は離婚のため」で回答の割合にばらつきがみられる。

図 A- 25 引っ越しの理由

(N=184)

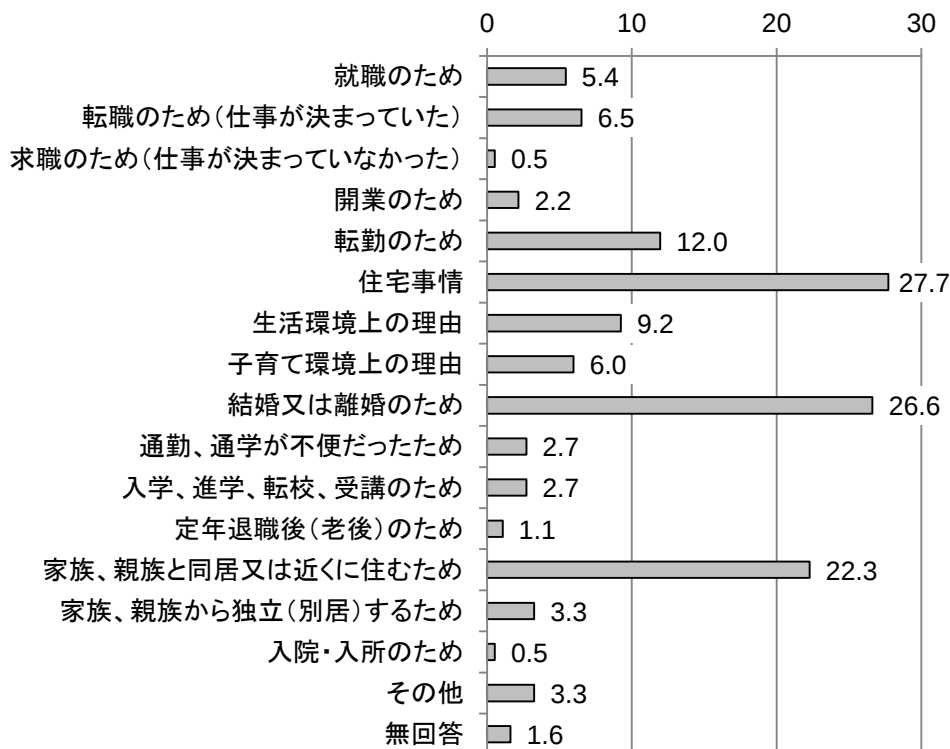


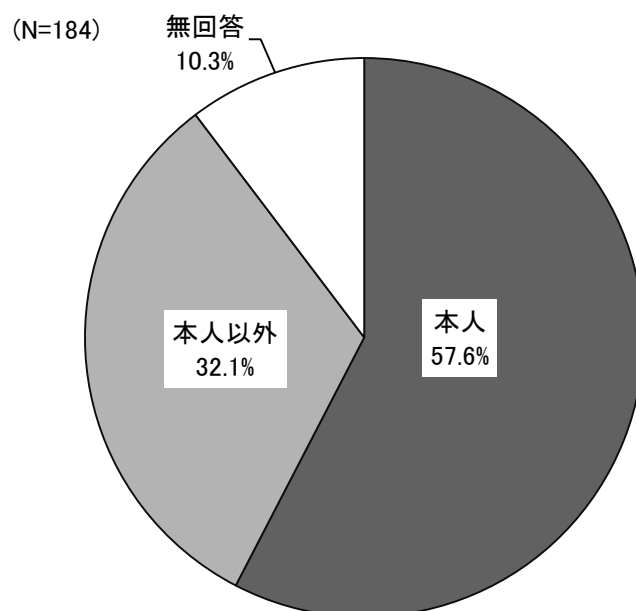
図 A- 26 地区別・引っ越しの理由

	就職のため	転職のため(仕事が決まっていた)	求職のため(仕事が決まっていなかった)	開業のため	転勤のため	住宅事情	生活環境上の理由	子育て環境上の理由	結婚又は離婚のため	通勤、通学が不便だったため	入学、進学、転校、受講のため	定年退職後(老後)のため	家族、親族と同居又は近くに住むため	家族、親族から独立(別居)するため	入院・入所のため	その他	無回答
全体(N=184)	5.4	6.5	0.5	2.2	12.0	27.7	9.2	6.0	26.6	2.7	2.7	1.1	22.3	3.3	0.5	3.3	1.6
高砂地区(N=25)	2.4	2.4	-	-	14.3	11.9	7.1	4.8	9.5	7.1	2.4	2.4	9.5	-	-	2.4	2.4
荒井地区(N=16)	5.7	2.9	-	2.9	5.7	5.7	5.7	-	5.7	2.9	2.9	-	14.3	2.9	-	-	-
伊保地区(N=23)	2.3	2.3	-	-	4.5	18.2	6.8	2.3	20.5	2.3	-	-	13.6	2.3	-	2.3	-
中筋地区(N=6)	-	-	-	-	-	15.4	-	-	23.1	-	-	-	-	7.7	-	7.7	-
曾根地区(N=25)	2.4	2.4	2.4	2.4	4.9	14.6	2.4	-	14.6	-	2.4	-	17.1	2.4	-	2.4	-
米田地区(N=46)	4.3	5.7	-	1.4	4.3	24.3	10.0	8.6	17.1	-	1.4	1.4	15.7	1.4	-	1.4	1.4
阿弥陀地区(N=26)	-	3.1	-	3.1	15.6	18.8	3.1	3.1	28.1	-	3.1	-	12.5	3.1	3.1	-	-
北浜地区(N=14)	12.5	12.5	-	-	12.5	25.0	-	6.3	25.0	-	-	-	12.5	-	-	6.3	6.3

問 18 （問 14 で（引っ越してきたことが）「ある」を選択した方に伺います。）問 17 の理由は主に誰の理由ですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「本人」が 57.6%、「本人以外」が 32.1%である。

図 A- 27 主な引っ越し理由



問 19 最後の学校を卒業した時の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「兵庫県内の他の市町村」で 32.7%である。続いて「現在と同じ地区」、「他の都道府県」が同程度で多い。「兵庫県内の他の市町村」と回答した人の具体的な内容は、「姫路市」、「神戸市」、「加古川市」が多い。「他の都道府県」と回答した人の具体的な内容は、「大阪府」、「東京都」が多い。男女別にみると、「男性」で「他の都道府県」が多い。卒業時の年齢で、「無回答」を除いて、最も多いのは「19 歳以上 22 歳以下」である。

図 A-28 卒業時の居住地

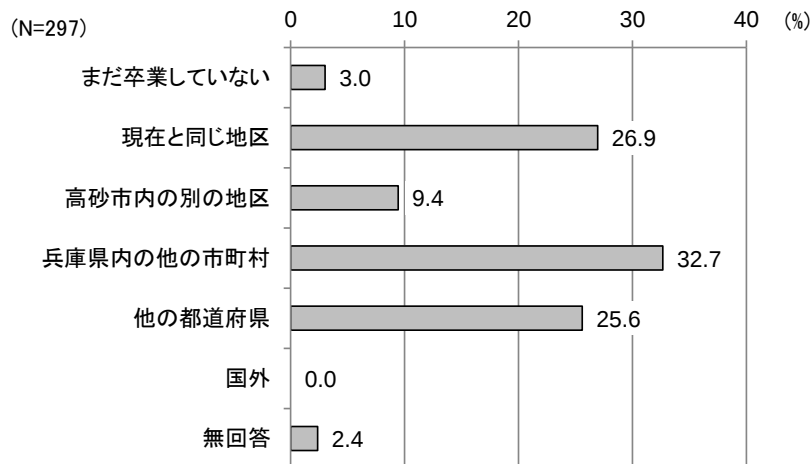
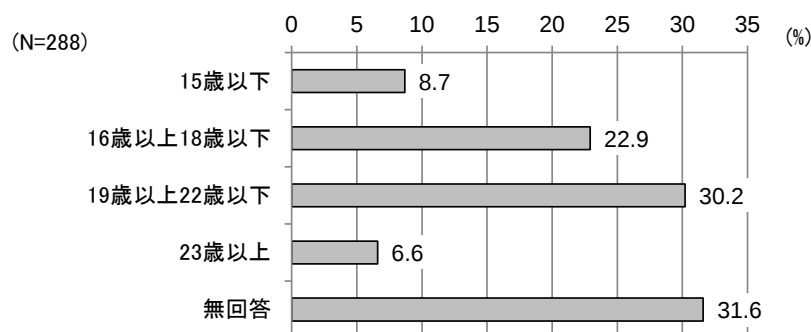


図 A-29 男女別・卒業時の居住地

(%)

	まだ卒業 していない	現在と同じ 地区	高砂市内 の別の地 区	兵庫県内 の他の市 町村	他の都道 府県	国外	無回答
全体(N=297)	3.0	26.9	9.4	32.7	25.6	—	2.4
男性(N=97)	4.1	27.8	6.2	29.9	29.9	—	2.1
女性(N=167)	3.0	29.3	12.6	32.3	22.8	—	—

図 A-30 卒業時の年齢



問 20 はじめて仕事を持った時の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「兵庫県内の他の市町村」が 34.7%である。続いて「現在と同じ地区」、「他の都道府県」の順に多い。「兵庫県内の他の市町村」と回答した人の具体的な内容は、「神戸市」、「姫路市」、「加古川市」が多い。「他の都道府県」と回答した人の具体的な内容は、「大阪府」、「東京都」が多い。男女別にみると、「男性」で「現在と同じ地区」が多い。はじめて仕事を持った時の年齢で、最も多いのは「19 歳以上 22 歳以下」である。

図 A- 31 はじめて仕事を持った時の居住地

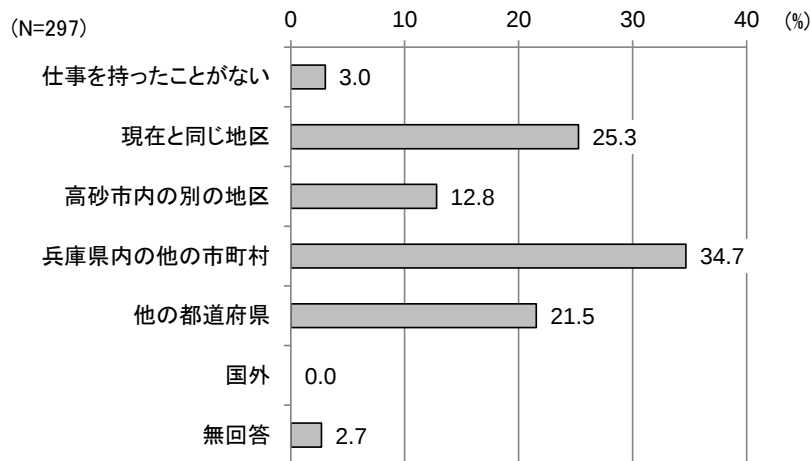
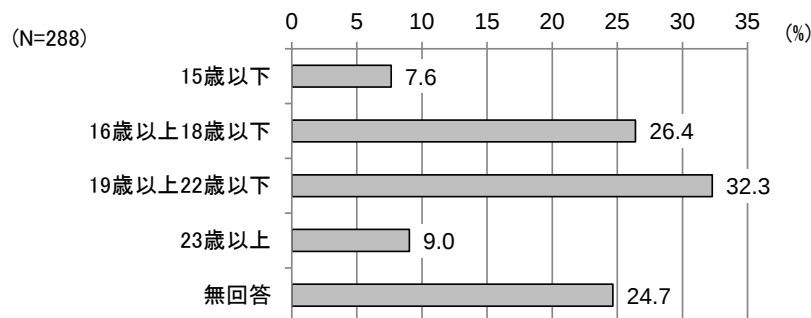


図 A- 32 男女別・はじめて仕事を持った時の居住地

(%)

	仕事を持ったことがない	現在と同じ地区	高砂市内の別の地区	兵庫県内の他の市町村	他の都道府県	国外	無回答
全体(N=297)	3.0	25.3	12.8	34.7	21.5	—	2.7
男性(N=97)	2.1	33.0	11.3	25.8	25.8	—	2.1
女性(N=167)	4.2	23.4	14.4	37.7	19.2	—	1.2

図 A- 33 はじめて仕事を持った年齢



問 21 はじめて結婚した直後の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「現在と同じ地区」、「兵庫県内の他の市町村」がともに多く 30%弱である。「兵庫県内の他の市町村」と回答した人の具体的な内容は、「加古川市」、「神戸市」、「姫路市」、「明石市」が多い。「他の都道府県」と回答した人の具体的な内容は、「東京都」、「大阪府」が多い。男女別にみると、「女性」で「他の都道府県」が若干多い。はじめて結婚した年齢で、「無回答」を除いて、最も多いのは「21歳以上 25歳以下」である。

図 A- 34 はじめて結婚した直後の居住地

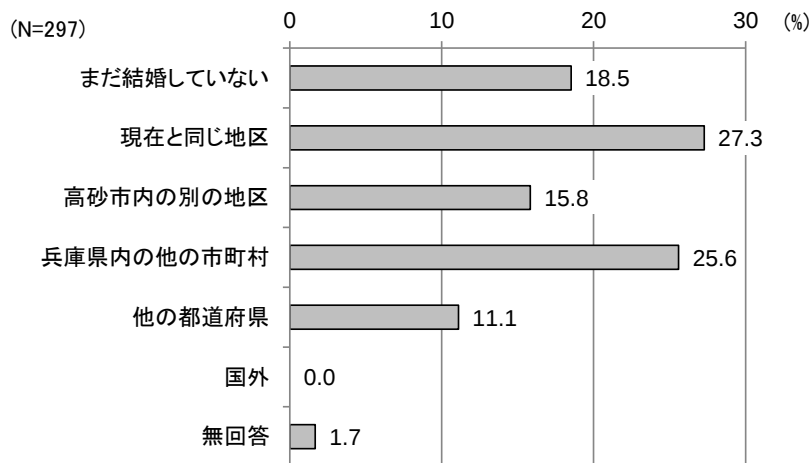
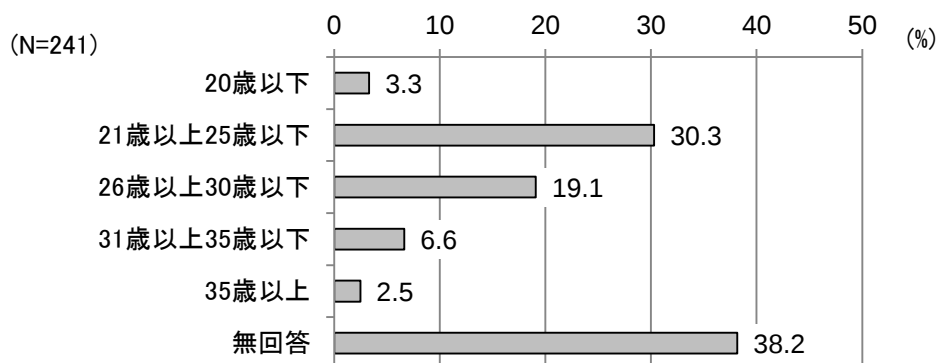


図 A- 36 男女別・はじめて結婚した直後の居住地

(%)

	まだ結婚 していない	現在と同じ 地区	高砂市内 の別の地 区	兵庫県内 の他の市 町村	他の都道 府県	国外	無回答
全体(N=297)	18.5	27.3	15.8	25.6	11.1	—	1.7
男性(N=97)	22.7	27.8	15.5	23.7	9.3	—	1.0
女性(N=167)	19.2	27.5	14.4	25.7	12.0	—	1.2

図 A- 35 はじめて結婚した年齢



問 22 あなたが、もし、住み替えをするとしたら、選択する住み替え先はどちらですか。

国内で最も希望するもの1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「わからない・考えたこともない」で27.6%である。続いて、「高砂市」が多い。男女別にみると、「男性」で「姫路市」、「神戸市」が多い。

図 A-37 希望する住み替え先

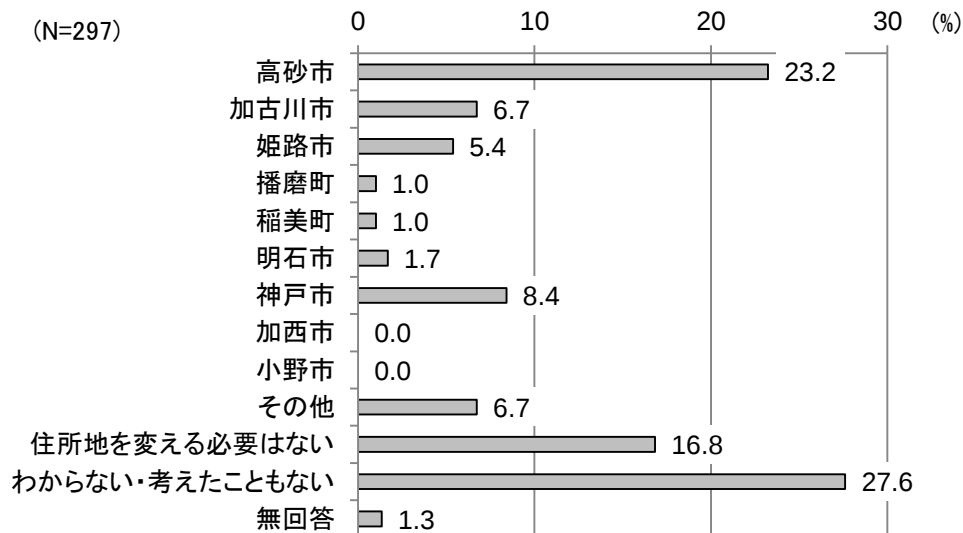


図 A-38 男女別・希望する住み替え先

(%)

	高砂市	加古川市	姫路市	播磨町	稲美町	明石市	神戸市	加西市	小野市	その他	住所地を 変える必 要はない	わからな い・考え たことも ない	無回答
全体(N=297)	23.2	6.7	5.4	1.0	1.0	1.7	8.4	-	-	6.7	16.8	27.6	1.3
男性(N=97)	20.6	6.2	8.2	2.1	1.0	2.1	11.3	-	-	7.2	13.4	26.8	1.0
女性(N=167)	25.1	7.2	4.8	0.6	0.6	1.8	6.0	-	-	6.0	16.8	29.9	1.2

問 23 高砂市に住む（住み続ける）ため、進めるべき対策は何だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実」で48.8%である。続いて、「安心して住み続けるための防災・救急対策の充実」、「教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり」、「犯罪や交通事故防止など安全性の確保」の順に多い。男女別にみると、「男性」で「教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり」が少なく、「女性」が多い。年代別にみると、年齢が高くなるほど「誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実」が多く「教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり」が少ない傾向がある。居住地区別にみると、「中筋地区」で「誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実」が少なく、「荒井地区」、「伊保地区」、「北浜地区」で「教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり」が多い。

図 A- 39 高砂市に住むため、進めるべき対策

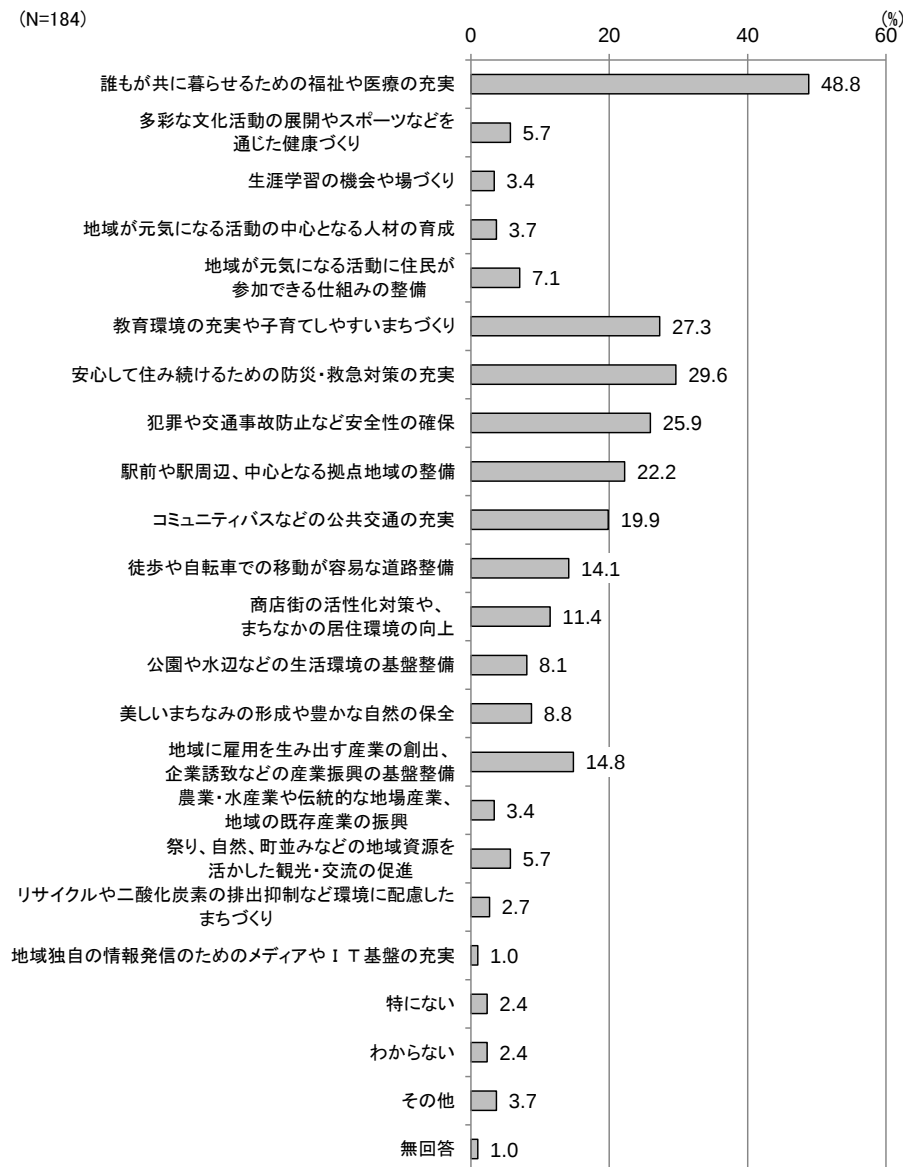


図 A-40 男女別/年代別/地区別・高砂市に住むため、進めるべき対策

の 誰 も	通 多	り 生	中 地	参 住	し 教	の 安	安 犯	る 駅	公 コ	容 徒	上 ま	境 公	豊 美	の 業 地	業 地	光 の	成 の	の め 地	特 に	わ か	そ の	無 回
福 社 医 療 機 関 等 の 共 同 的 な 取 組	多 彩 な 文 化 活 動 の 展 開	生 活 学 習 の 機 会 や 場 所	中 心 地 域 等 の 元 気 な 人 材 の 育 成	参 加 民 衆 等 の 元 気 な 活 動	し 教 育 環 境 の 充 實 や 子 育 ち 支 援	の 防 災 救 済 策 の 充 実	安 全 性 の 交 通 事 故 防 止	る 駅 点 域 周 辺 の 整 備	公 コ ミ ュ ニ ティ 等 の 充 実	容 易 な 道 路 等 の 移 動	上 下 街 活 性 化 策 の 推 進	境 公 園 等 の 整 備	豊 美 自 然 景 観 の 保 全	の 業 地 振 興 策 の 推 進	業 地 振 興 策 の 推 進	光 の 地 域 交 流 策 の 推 進	成 の 排 出 制 限 等 の 課 題	の め 地 域 交 流 策 の 推 進	特 に ない	わ か ら ない	そ の 他	無 回 答
全 体 (N=297)	5.7	3.4	3.7	7.1	27.3	29.6	25.9	22.2	19.9	14.1	11.4	8.1	8.8	14.8	3.4	5.7	2.7	1.0	2.4	2.4	3.7	1.0
男 性 (N=97)	7.2	4.1	2.1	6.2	23.7	25.8	30.9	22.7	18.6	21.6	10.3	9.3	12.4	14.4	2.1	4.1	5.2	2.1	3.1	3.1	5.2	-
女 性 (N=167)	4.2	3.0	3.6	8.4	32.9	29.3	25.7	22.2	20.4	11.4	11.4	7.8	7.2	15.0	4.8	6.0	1.8	0.6	0.6	1.8	3.6	0.6
18 歳 以 上 29 歳 以 下 (N=49)	6.1	-	2.0	6.1	49.0	18.4	22.4	28.6	10.2	10.2	8.2	12.2	16.3	18.4	2.0	4.1	8.2	-	-	4.1	-	2.0
30 歳 以 上 39 歳 以 下 (N=49)	6.1	2.0	-	6.1	44.9	22.4	38.8	20.4	24.5	16.3	10.2	10.2	6.1	10.2	4.1	8.2	4.1	2.0	-	-	4.1	-
40 歳 以 上 49 歳 以 下 (N=58)	-	1.7	1.7	3.4	31.0	20.7	29.3	34.5	24.1	6.9	13.8	3.4	6.9	22.4	3.4	6.9	-	3.4	1.7	1.7	10.3	-
50 歳 以 上 59 歳 以 下 (N=55)	10.9	10.9	5.5	5.5	16.4	38.2	29.1	14.5	25.5	12.7	14.5	3.6	10.9	12.7	7.3	3.6	-	-	3.6	1.8	1.8	-
60 歳 以 上 69 歳 以 下 (N=45)	2.2	-	8.9	11.1	11.1	46.7	24.4	20.0	13.3	22.2	15.6	11.1	2.2	8.9	2.2	8.9	-	-	6.7	4.4	2.2	-
70 歳 以 上 (N=39)	10.3	5.1	5.1	12.8	7.7	35.9	7.7	10.3	20.5	17.9	5.1	7.7	10.3	15.4	-	2.6	5.1	-	2.6	2.6	2.6	2.6
高 砂 地 区 (N=42)	4.8	-	2.4	9.5	19.0	28.6	23.8	33.3	21.4	7.1	26.2	7.1	7.1	21.4	2.4	4.8	4.8	-	2.4	-	-	-
荒 井 地 区 (N=35)	-	2.9	5.7	5.7	37.1	34.3	28.6	22.9	25.7	17.1	20.0	5.7	8.6	5.7	2.9	5.7	2.9	-	-	2.9	2.9	-
伊 保 地 区 (N=44)	11.4	9.1	2.3	11.4	38.6	25.0	31.8	4.5	13.6	9.1	9.1	6.8	15.9	25.0	-	6.8	2.3	2.3	6.8	6.8	-	-
中 防 地 区 (N=13)	-	-	-	7.7	23.1	38.5	15.4	38.5	23.1	7.7	-	15.4	23.1	7.7	7.7	-	15.4	-	-	7.7	7.7	-
菅 根 地 区 (N=41)	7.3	4.9	4.9	4.9	22.0	22.0	29.3	31.7	12.2	19.5	7.3	12.2	4.9	12.2	-	12.2	2.4	-	-	2.4	7.3	2.4
米 田 地 区 (N=70)	8.6	1.4	4.3	5.7	22.9	40.0	24.3	15.7	18.6	18.6	4.3	10.0	4.3	15.7	5.7	4.3	1.4	-	2.9	-	1.4	1.4
阿 波 地 区 (N=32)	3.1	3.1	3.1	6.3	21.9	21.9	28.1	18.8	34.4	18.8	12.5	6.3	9.4	6.3	3.1	3.1	-	3.1	3.1	-	12.5	-
北 条 地 区 (N=16)	-	-	6.3	6.3	50.0	25.0	18.8	37.5	18.8	-	6.3	-	6.3	18.8	12.5	12.5	-	-	-	6.3	-	-

問 24 現在のお住まいの住所地の住環境の満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「ふつう」で40.4%である。「満足」「やや満足」を合わせると、36.3%である。「不満」「やや不満」を合わせると、21.9%である。男女別にみると、「女性」で「満足」「やや満足」を合わせた割合が高い。年代別にみると、全体と比較して「18歳から29歳まで」と「30歳から39歳まで」で「満足」「やや満足」を合わせた割合が高い。居住地区別にみると、全体と比較して「中筋地区」、「北浜地区」、「荒井地区」で「満足」「やや満足」を合わせた割合が高い。

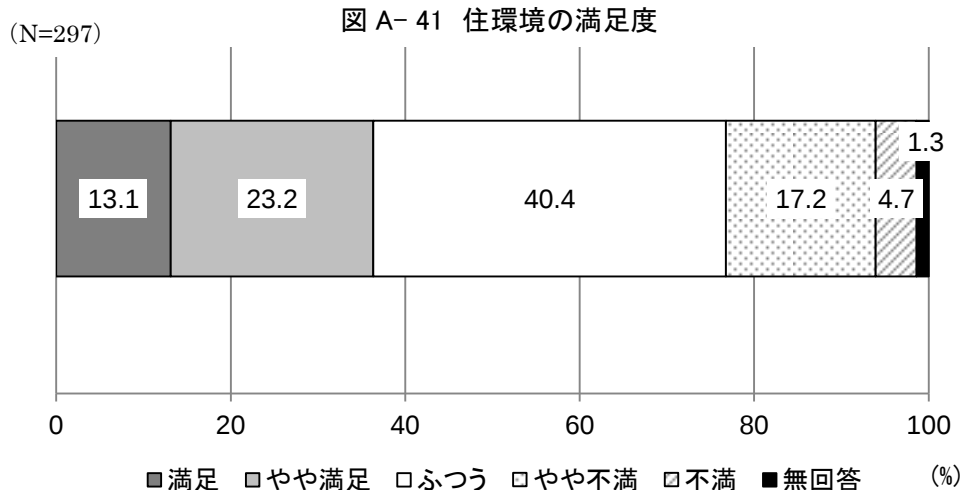


図 A-42 男女別/年代別/居住地区別・住環境の満足度

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=297)	13.1	23.2	40.4	17.2	4.7	1.3
男性(N=97)	8.2	18.6	48.5	22.7	2.1	—
女性(N=167)	15.6	25.7	38.3	14.4	4.8	1.2
18歳から29歳まで(N=49)	20.4	28.6	34.7	12.2	2.0	2.0
30歳から39歳まで(N=49)	12.2	32.7	36.7	16.3	2.0	—
40歳から49歳まで(N=58)	6.9	24.1	43.1	20.7	5.2	—
50歳から59歳まで(N=55)	12.7	16.4	43.6	16.4	7.3	3.6
60歳から69歳まで(N=45)	15.6	17.8	42.2	20.0	4.4	—
70歳以上(N=39)	12.8	20.5	41.0	17.9	7.7	—
高砂地区(N=42)	9.5	16.7	35.7	31.0	4.8	2.4
荒井地区(N=35)	17.1	31.4	37.1	14.3	—	—
伊保地区(N=44)	18.2	25.0	43.2	13.6	—	—
中筋地区(N=13)	23.1	38.5	30.8	—	7.7	—
曾根地区(N=41)	12.2	19.5	46.3	12.2	4.9	4.9
米田地区(N=70)	8.6	20.0	51.4	15.7	4.3	—
阿弥陀地区(N=32)	12.5	25.0	25.0	21.9	15.6	—
北浜地区(N=16)	18.8	31.3	31.3	18.8	—	—

問 25 （問 24 で「満足」、「やや満足」を選択した方に伺います。）その理由は何ですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

「友人、知人が多い、隣近所の付き合いがあるなど、地域に愛着を感じているから」、「家族が近くに住んでいるから」がともに多く、40%以上である。男女別にみると、「男性」で「通勤・通学の交通の便がいいから」が多く、「女性」で「友人、知人が多い、隣近所の付き合いがあるなど、地域に愛着を感じているから」が多い。地区別にみると、全体と比較して「高砂地区」で「友人、知人が多い、隣近所の付き合いがあるなど、地域に愛着を感じているから」が多い。

図 A- 43 住環境に満足している理由

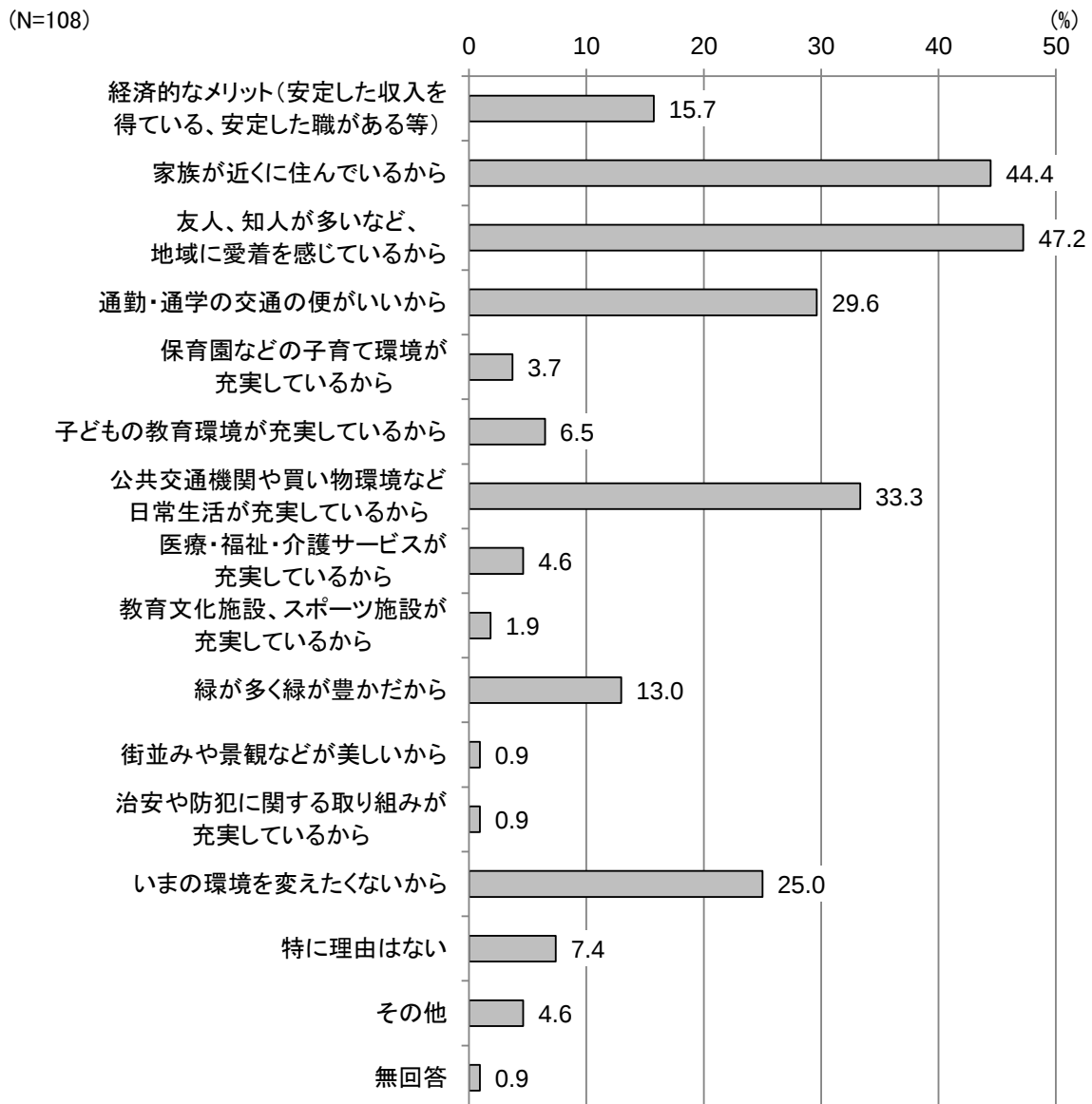


図 A-44 男女別/地区別・住環境に満足している理由

	経済的な収入が得られている（安定）	家族が近くに住んでいる	地域に愛着を感じている、友人が近い	通勤・通学の交通の便がよい	保育園などの子育て環境がよい	子どもの教育環境が充実している	公共交通機関や日常生活が便利	医療・福祉施設・介護サービスが充実している	施設が充実している（スポーツ・文化施設）	緑が多く緑が豊かな	街並みや景観などが美しい	治安が充実している（防犯カメラ）	いまの環境を変えたくない	特に理由はない	その他	無回答
全体 (N=108)	15.7	44.4	47.2	29.6	3.7	6.5	33.3	4.6	1.9	13.0	0.9	0.9	25.0	7.4	4.6	0.9
男性 (N=26)	15.4	50.0	42.3	38.5	7.7	3.8	26.9	3.8	-	15.4	-	-	26.9	7.7	11.5	-
女性 (N=69)	18.8	43.5	50.7	24.6	1.4	7.2	36.2	4.3	1.4	10.1	-	-	26.1	7.2	2.9	-
高砂地区 (N=11)	-	45.5	81.8	36.4	-	-	27.3	-	9.1	-	-	-	36.4	9.1	-	-
荒井地区 (N=17)	17.6	41.2	41.2	52.9	5.9	11.8	35.3	-	-	-	-	-	17.6	5.9	5.9	-
伊保地区 (N=19)	15.8	47.4	47.4	26.3	-	10.5	31.6	10.5	-	10.5	-	-	26.3	10.5	5.3	-
中筋地区 (N=8)	12.5	12.5	37.5	62.5	-	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5	-	-
曾根地区 (N=13)	7.7	53.8	46.2	23.1	7.7	7.7	23.1	7.7	-	7.7	7.7	-	30.8	7.7	7.7	-
米田地区 (N=20)	35.0	40.0	40.0	10.0	5.0	-	35.0	5.0	5.0	20.0	-	-	25.0	5.0	-	-
阿弥陀地区 (N=12)	8.3	58.3	33.3	33.3	-	8.3	33.3	-	-	25.0	-	-	25.0	8.3	8.3	-
北浜地区 (N=8)	12.5	50.0	62.5	-	12.5	-	37.5	-	-	50.0	-	-	25.0	-	12.5	-

問 26 (問 24 で「不満」、「やや不満」を選択した方に伺います。) その理由は何ですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「公共交通機関や買い物環境が整っていないなど日常生活が不便だから」で、46.2%である。続いて、「医療・福祉・介護サービスが不十分だから」、「教育文化施設、スポーツ施設が不十分だから」、「通勤・通学の交通の便が不便だから」の順に多い。男女別にみると、「男性」で「その他」が多い。その他の具体的な内容(性別不問)は、道路環境に関すること、子育て環境に関すること、防災対策などである。

図 A-45 住環境に不満足である理由

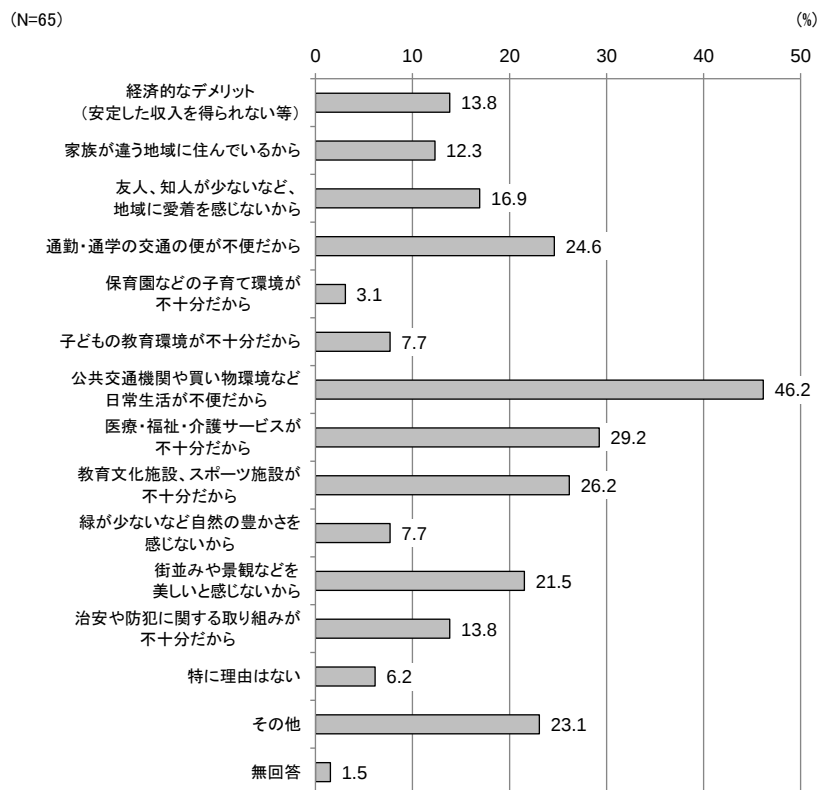


図 A-46 男女別・住環境に不満足である理由

																(%)				
	経済的 な得 （安定 した メ リ ツ 等）	住家 族が 違う 地域 に	友人 など、 知人 が少 ない	の通 勤・ 通学 の交 通	から 保 育 園 な ど の 子 育 て 環 境 が 不 十分 な から	が子 ども の 教 育 環 境 が 不 十分 な から	生活 が不 便な から	公共 交通 機関 が不 便な から	医療・ 福祉・ 介護 が不 十分 な から	分 だ ら し い な ら ず	教育 文化 施設 が不 十分 な から	自然 の豊 か さ を 感 じ ない	緑が 少な い	い か ら か い な ら ず	街並 みや 景観 など を感 じ ない	分 だ ら し い な ら ず	治安 や防 犯に 関す る取 組 み が 不 十分 な から	特に 理 由 は ない	そ の 他	無 回 答
全体(N=65)	13.8	12.3	16.9	24.6	3.1	7.7	46.2	29.2	26.2	7.7	21.5	13.8	6.2	23.1	1.5					
男性(N=24)	8.3	4.2	8.3	29.2	—	4.2	37.5	33.3	25.0	8.3	25.0	12.5	4.2	41.7	—					
女性(N=32)	18.8	15.6	18.8	25.0	3.1	12.5	50.0	25.0	28.1	3.1	25.0	15.6	9.4	12.5	—					

人口減少対策の取り組みについて

問 27 高砂市に住む人を増やすために必要な住宅施策はどのようなことをすればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設」で32.7%である。続いて、「地域のイメージ・評判の向上」、「家賃や価格が安い住宅の供給」、「中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実」の順に多い。男女別にみると、「男性」で「眺望や周辺の自然に恵まれている戸建て住宅の整備」が多く、「女性」で「市や住宅を紹介する情報誌の作成」が多い。年代別にみると、年齢が高くなるほど「高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備」が多く、「住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設」が少ない傾向がある。居住地区別にみると、全体と比較して「伊保地区」で「高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備」が多い。

図 A- 47 必要な住宅施策

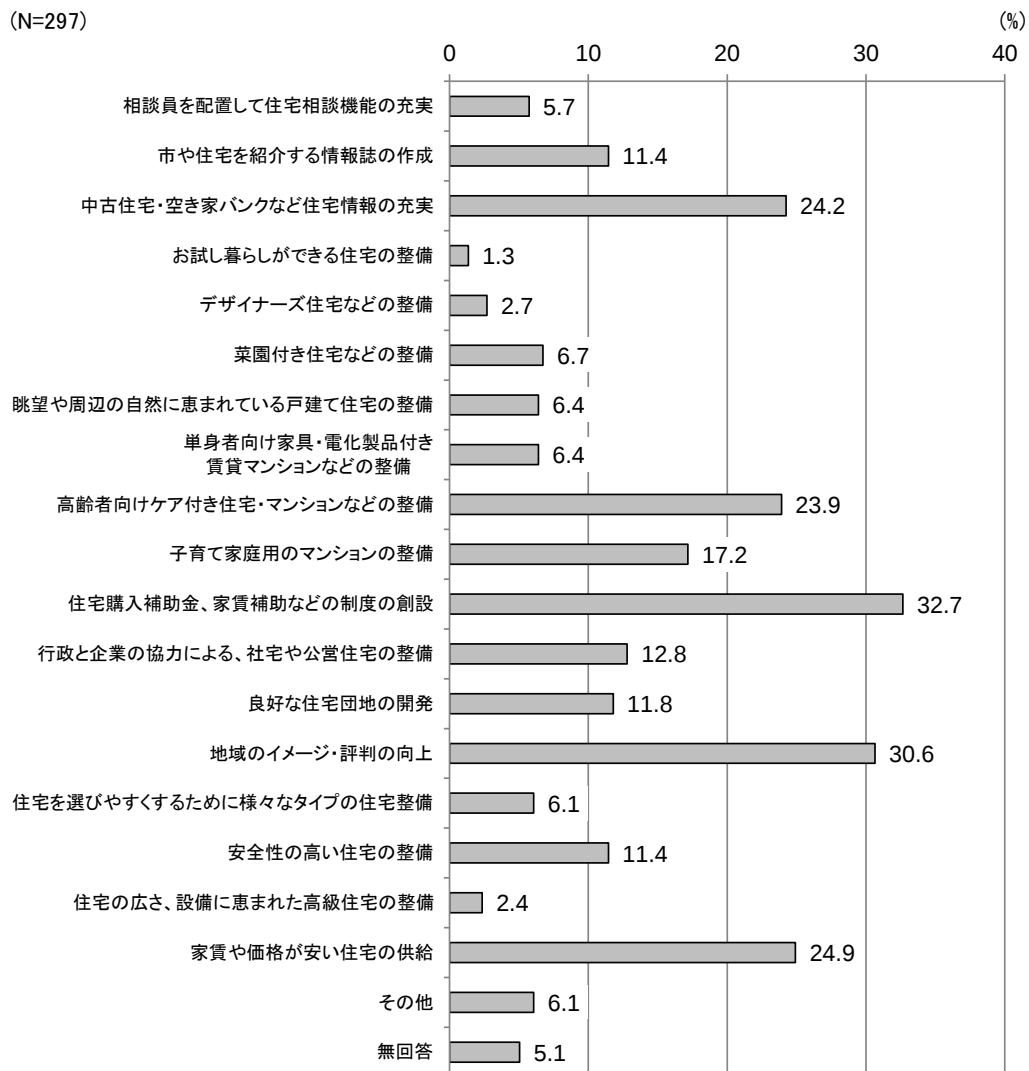


図 A- 48 男女別/年代別/居住地区別・必要な住宅施策

	能 の 相 談 員 を 配 置 し て 住 宅 相 談 機 能	作 成 住 宅 を 紹 介 す る 情 報 誌	住 宅 情 報 の 充 実 空 家 バ ン ク な ど	整 備 し 暮 ら し が で き る 住 宅 の	デ ザ イ ナ ー ズ 住 宅 な ど の 整 備	葉 園 付 き 住 宅 な ど の 整 備	い 眺 望 や 周 辺 の 自 然 に 恵 ま れ て	賃 貸 マ ン シ ョ ン な ど の 整 備	単 身 者 向 け 家 具 ・ 電 化 製 品 付	高 齢 者 向 け な ど の 整 備	子 育 て 家 庭 用 の マ ン シ ョ ン の	ど 住 宅 の 制 度 の 創 設 ・ 家 賃 補 助 な	宅 政 公 営 住 宅 の 整 備 に よ る 、 社	良 好 な 住 宅 団 地 の 開 発	地 域 の イ メ ー ジ ・ 評 判 の 向 上	住 宅 を 選 び や す く す る 住 宅 の 整 備 に よ る	安 全 性 の 高 い 住 宅 の 整 備	高 級 住 宅 の 整 備 に 恵 ま れ た	家 賃 や 価 格 が 安 い 住 宅 の 供 給	そ の 他	無 回 答
全体(N=297)	5.7	11.4	24.2	1.3	2.7	6.7	6.4	6.4	6.4	23.9	17.2	32.7	12.8	11.8	30.6	6.1	11.4	2.4	24.9	6.1	5.1
男性(N=97)	5.2	7.2	22.7	2.1	3.1	4.1	13.4	5.2	5.2	21.6	17.5	32.0	13.4	14.4	36.1	4.1	9.3	3.1	20.6	11.3	2.1
女性(N=167)	6.6	13.2	25.1	1.2	3.0	8.4	2.4	7.2	7.2	27.5	15.6	33.5	12.0	12.0	28.1	7.2	11.4	2.4	25.7	4.2	5.4
18歳から29歳まで(N=49)	2.0	12.2	16.3	-	6.1	2.0	16.3	12.2	12.2	10.2	24.5	42.9	12.2	14.3	34.7	6.1	14.3	2.0	24.5	6.1	2.0
30歳から39歳まで(N=49)	4.1	6.1	30.6	-	4.1	6.1	2.0	8.2	8.2	18.4	20.4	42.9	18.4	8.2	30.6	4.1	12.2	-	26.5	6.1	4.1
40歳から49歳まで(N=58)	1.7	12.1	22.4	5.2	3.4	5.2	1.7	6.9	6.9	17.2	12.1	39.7	13.8	13.8	41.4	10.3	8.6	6.9	19.0	8.6	1.7
50歳から59歳まで(N=55)	5.5	16.4	29.1	-	1.8	9.1	1.8	1.8	1.8	29.1	10.9	29.1	7.3	12.7	30.9	7.3	12.7	1.8	20.0	5.5	1.8
60歳から69歳まで(N=45)	6.7	4.4	24.4	2.2	-	15.6	8.9	4.4	4.4	35.6	22.2	15.6	17.8	11.1	28.9	2.2	13.3	2.2	37.8	4.4	4.4
70歳以上(N=39)	17.9	15.4	23.1	-	-	2.6	10.3	5.1	5.1	38.5	15.4	20.5	7.7	7.7	12.8	5.1	7.7	-	25.6	5.1	17.9
高砂地区(N=42)	7.1	19.0	19.0	2.4	2.4	2.4	7.1	9.5	9.5	26.2	19.0	31.0	7.1	7.1	28.6	4.8	14.3	2.4	31.0	9.5	4.8
荒井地区(N=35)	2.9	17.1	22.9	-	8.6	11.4	11.4	11.4	11.4	20.0	11.4	31.4	11.4	11.4	22.9	11.4	5.7	5.7	22.9	2.9	5.7
伊保地区(N=44)	2.3	6.8	29.5	2.3	2.3	9.1	4.5	4.5	4.5	31.8	18.2	34.1	18.2	11.4	36.4	2.3	15.9	2.3	25.0	4.5	4.5
中筋地区(N=13)	-	15.4	15.4	7.7	-	-	7.7	-	-	15.4	7.7	38.5	15.4	15.4	38.5	23.1	7.7	-	30.8	7.7	-
菅根地区(N=41)	2.4	12.2	24.4	-	4.9	12.2	2.4	7.3	7.3	17.1	14.6	31.7	12.2	19.5	34.1	7.3	9.8	-	24.4	4.9	7.3
米田地区(N=70)	8.6	5.7	25.7	1.4	-	5.7	5.7	4.3	4.3	28.6	21.4	34.3	12.9	10.0	27.1	2.9	15.7	2.9	22.9	4.3	4.3
阿弥陀地区(N=32)	9.4	12.5	25.0	-	-	3.1	9.4	6.3	6.3	21.9	21.9	28.1	12.5	9.4	31.3	6.3	6.3	3.1	18.8	9.4	3.1
北浜地区(N=16)	12.5	12.5	31.3	-	-	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	12.5	31.3	18.8	12.5	31.3	6.3	6.3	-	25.0	12.5	6.3

問 28 若い世代の転入・転出への対策として、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「子どもの教育や子育て環境の充実」で46.1%である。続いて、「ショッピングモールや娯楽施設などの誘致」、「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消」、「道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実」の順に多い。男女別にみると、「男性」で「道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実」や「良好な住宅地の開発」が多い。年代別にみると「30歳から39歳まで」で「空き家などの改修助成、住宅取得の助成・低利融資、家賃補助」や「子どもの教育や子育て環境の充実」が多く、「40歳から49歳まで」で「ショッピングモールや娯楽施設などの誘致」が多い。

図 A-49 若年層の転入・転出対策

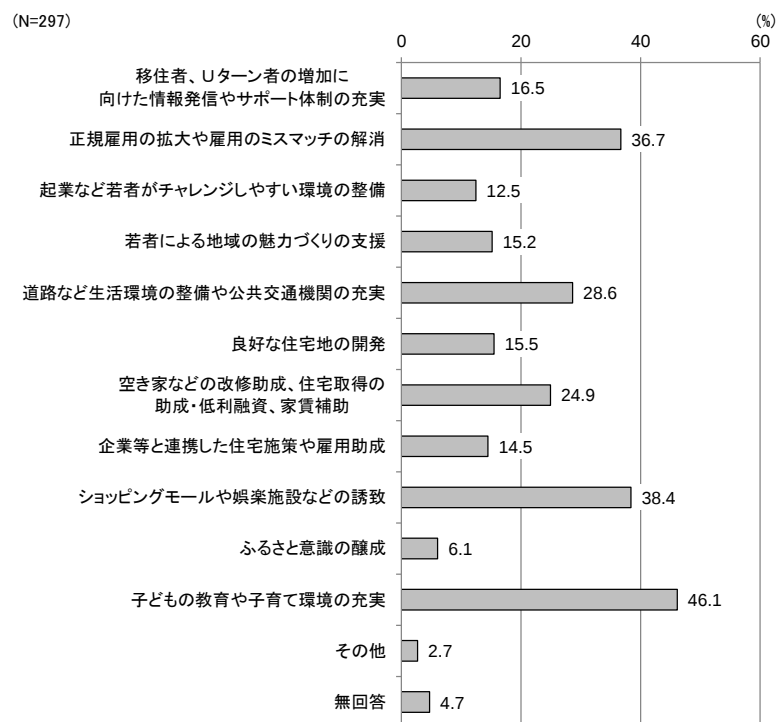


図 A-50 男女別・年代別若年層の転入・転出対策

	ポ ー ト 体 制 の 充 実	移 住 者 、 U タ ー ン 者 の 増 加 向 け た 情 報 発 信 や サ ポ ー ト 体 制 の 充 実	正 規 雇 用 の 拡 大 や 雇 用 の ミ ス マ ッ チ の 解 消	起 業 な ど 若 者 が チ ャ レ ン ジ し や す い 環 境 の 整 備	若 者 に よ る 地 域 の 魅 力 づ く り の 支 援	道 路 な ど 生 活 環 境 の 整 備 や 公 共 交 通 機 関 の 充 実	良 好 な 住 宅 地 の 開 発	住 空 家 取 得 な ど の 改 修 助 成 、 資 、 家 賃 補 助	企 業 等 と 連 携 し た 住 宅 施 策 や 雇 用 助 成	シ ョ ッ ピ ン グ モ ー ル や 娯 楽 施 設 な ど の 誘 致	ふ る さ と 意 識 の 醸 成	子 ど も の 教 育 や 子 育 て 環 境 の 充 実	そ の 他	無 回 答	(%)
全体(N=297)	16.5	36.7	12.5	15.2	28.6	15.5	24.9	14.5	38.4	6.1	46.1	2.7	4.7		
男性(N=97)	19.6	37.1	13.4	14.4	33.0	20.6	24.7	15.5	38.1	6.2	45.4	3.1	1.0		
女性(N=167)	15.6	37.1	10.2	14.4	26.9	12.0	25.1	13.8	41.9	6.6	47.3	3.0	6.0		
18歳から29歳まで(N=49)	22.4	32.7	12.2	12.2	24.5	24.5	22.4	16.3	46.9	10.2	44.9	4.1	2.0		
30歳から39歳まで(N=49)	10.2	24.5	10.2	10.2	34.7	8.2	38.8	8.2	42.9	4.1	65.3	—	4.1		
40歳から49歳まで(N=58)	17.2	39.7	15.5	8.6	29.3	17.2	20.7	12.1	53.4	1.7	37.9	3.4	1.7		
50歳から59歳まで(N=55)	21.8	45.5	9.1	23.6	29.1	14.5	25.5	18.2	27.3	5.5	36.4	7.3	—		
60歳から69歳まで(N=45)	13.3	46.7	13.3	17.8	24.4	22.2	15.6	20.0	33.3	8.9	44.4	—	4.4		
70歳以上(N=39)	12.8	30.8	15.4	20.5	30.8	2.6	28.2	12.8	20.5	7.7	51.3	—	17.9		

問 29 少子化に歯止めをかけるため、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。
あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのが「若い世代の経済的安定」で47.5%である。続いて、「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」が同程度で多い。男女別にみると、「男性」で「多子世帯に対する支援の充実」が多く、「女性」で「結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援」が多い。年代別にみると、全体と比較して「40歳から49歳まで」で「仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）による働き方の見直し」が多い。

図 A- 51 少子化に歯止めをかけるための取り組み

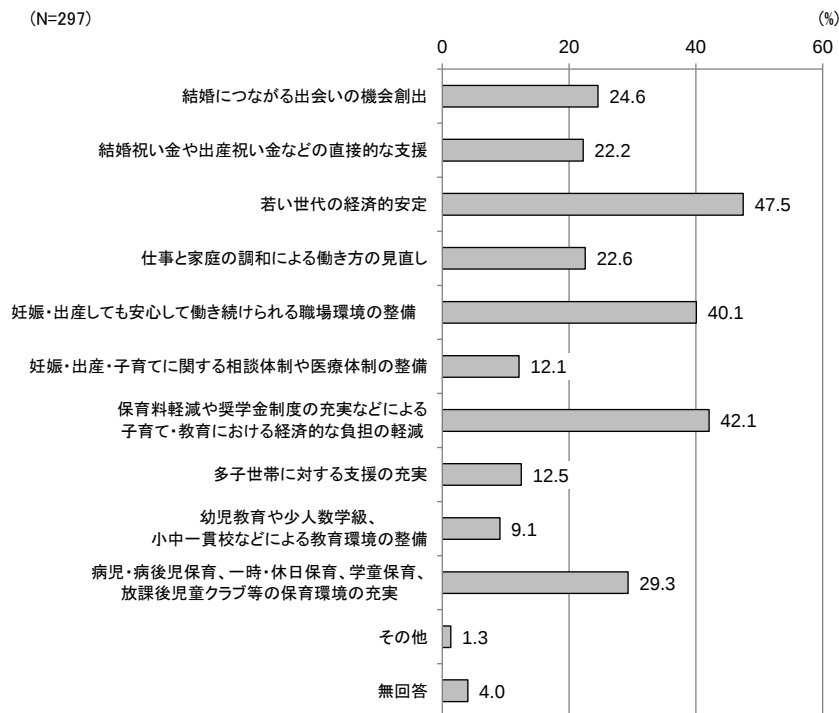


図 A- 52 男女別/年代別・少子化に歯止めをかけるための取り組み

	結婚につながる出会いの機会創出	結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援	若い世代の経済的安定	仕事と家庭の調和による働き方の見直し	妊娠・出産後も安心して働き続けられる職場環境の整備	妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	保育料軽減や奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	多子世帯に対する支援の充実	幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備	病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	その他	無回答
全体(N=297)	24.6	22.2	47.5	22.6	40.1	12.1	42.1	12.5	9.1	29.3	1.3	4.0
男性(N=97)	28.9	17.5	48.5	22.7	39.2	11.3	36.1	18.6	8.2	27.8	3.1	1.0
女性(N=167)	21.0	28.1	46.7	21.6	41.9	13.8	44.3	9.6	9.0	30.5	0.6	4.8
18歳から29歳まで(N=49)	28.6	34.7	53.1	14.3	36.7	14.3	44.9	16.3	4.1	26.5	2.0	4.1
30歳から39歳まで(N=49)	8.2	36.7	34.7	16.3	40.8	14.3	53.1	16.3	8.2	36.7	4.1	2.0
40歳から49歳まで(N=58)	17.2	17.2	39.7	36.2	32.8	13.8	50.0	13.8	12.1	32.8	1.7	1.7
50歳から59歳まで(N=55)	23.6	23.6	56.4	21.8	45.5	14.5	29.1	9.1	16.4	40.0	-	-
60歳から69歳まで(N=45)	40.0	13.3	55.6	26.7	48.9	4.4	33.3	11.1	2.2	22.2	-	2.2
70歳以上(N=39)	33.3	5.1	48.7	17.9	38.5	7.7	43.6	5.1	10.3	12.8	-	15.4

問 30 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

「買い物や通院に困らない環境整備」が最も多く 60.6%である。続いて、「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が多い。男女別にみると、「男性」で「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が多く、「女性」で「コミュニティバスなどの公共交通網の整備」が多い。年代別にみると、年齢が低いほど「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」が多い傾向がみられる。

図 A- 53 安心して暮らせる地域づくりに必要な取り組み

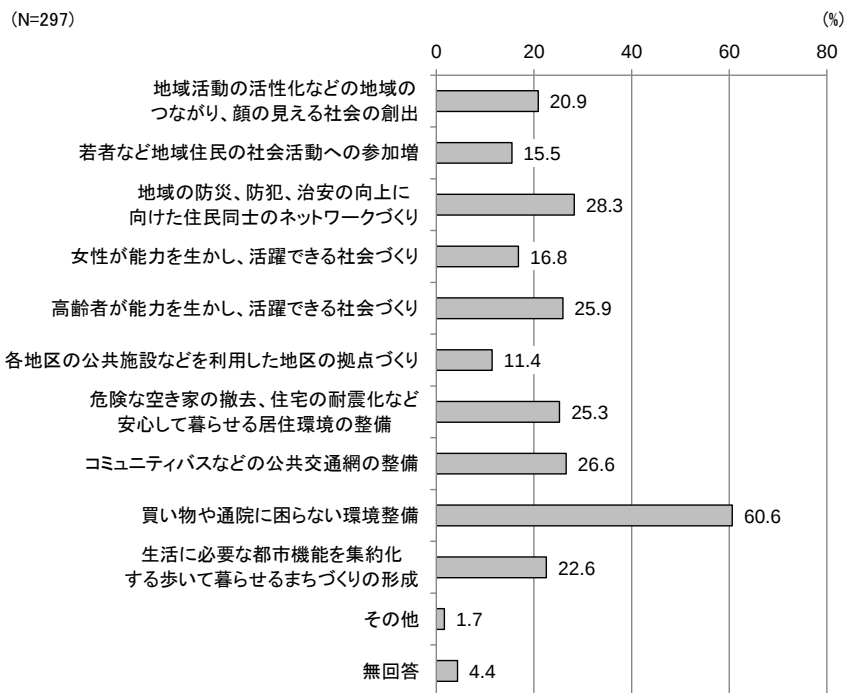


図 A- 54 男女別/年代別・安心して暮らせる地域づくりに必要な取り組み

	地域の活動のつながり、顔の見える社会の創出	若者など地域住民の社会活動への参加増	地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり	高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり	各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり	危険な空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	コミュニティバスなどの公共交通網の整備	買い物や通院に困らない環境整備	生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくりの形成	その他	無回答
全体 (N=297)	20.9	15.5	28.3	16.8	25.9	11.4	25.3	26.6	60.6	22.6	1.7	4.4
男性 (N=97)	21.6	16.5	36.1	18.6	28.9	12.4	23.7	21.6	59.8	23.7	1.0	2.1
女性 (N=167)	19.8	15.6	25.1	15.0	23.4	10.8	28.7	30.5	60.5	22.8	2.4	4.8
18歳から29歳まで (N=49)	28.6	16.3	36.7	24.5	14.3	14.3	22.4	16.3	65.3	16.3	2.0	6.1
30歳から39歳まで (N=49)	22.4	16.3	32.7	16.3	14.3	16.3	32.7	44.9	55.1	12.2	2.0	2.0
40歳から49歳まで (N=58)	19.0	10.3	31.0	13.8	31.0	5.2	27.6	29.3	65.5	27.6	1.7	-
50歳から59歳まで (N=55)	9.1	9.1	25.5	5.5	18.2	12.7	27.3	34.5	67.3	34.5	-	3.6
60歳から69歳まで (N=45)	24.4	22.2	28.9	26.7	44.4	8.9	24.4	13.3	48.9	22.2	2.2	2.2
70歳以上 (N=39)	25.6	23.1	12.8	17.9	38.5	10.3	15.4	17.9	59.0	20.5	2.6	12.8

問 31 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。〈自由記載〉

有効回答 297 件に対し、66 件の意見を得た。主な回答を大きく分類すると、「子育て支援・子育て中でも働きやすい環境づくり」、「交通」、「防災」、「買い物しやすい環境」、「文化・祭」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼子育て支援・子育て中でも働きやすい環境づくり

中学校の給食を実現してほしい。

雨の日に子供を遊ばせることができる施設があるとよい。

子育てするにあたって、仕事と家庭を両立したい。しかし、今の職場には、2 人目の妊娠で産休を取りやすい環境(雰囲気)が整っていない。2 人目でも産休が取りやすくなるための支援がほしい。

▼交通

コミュニティバスをもっと充実させてほしい。

地域の問題は交通網にあると思う。加古川との接続などが直接できる等、公共交通を充実させるべきだ。

駅が自宅から離れていると、車が無いと生活しにくい。バスなどの公共交通機関を充実させて、コンパクトな街にしてほしい。

▼防災

市から防災(減災)について地域(自治区)へ具体的な対策がない。

防災(水害)に力を入れてほしい。

▼買い物しやすい環境

スーパーが少なく食料品など、買い物に困る。車がなく、自転車を利用しているが、雨だと行けない。年齢が上がるにつれて、家から出ない人が増えるのではないかな。

今年度中に高砂町の大型スーパーがなくなる。その跡地に大型スーパーができるのか心配。高齢者が買い物できるスーパーがなくなるのではないかな。車の運転ができない方々が安心して買い物をできる環境の整備をお願いしたい。

▼文化・祭

新しい図書館に期待している。市のはずれに住んでいると文化的な恩恵が受けにくい。

各地区特色ある秋祭りにより、若い人が住みたくなるような街にしたい。

各地域に残る伝統行事への参加は、若い世代の人たちにとっては負担になると思う。

▼その他

大きな病院が少ない。スポーツ施設がない。

企業誘致などにより、誰もが住みやすい市にしないと、少子化が進んでいってしまう。

白砂青松の歴史的景観を破壊し工場を誘致してきたが、環境破壊だけを残し何の特徴もないつまらない街にしてしまった。白砂青松を復元し、人が住みたいと思う街にしていくこと。

高砂市内においても地域で状況は違う。高砂駅周辺は開発が進んでいるが、北部のほうは下水道設備や防犯などまだまだ不十分なところが多く、バスの運行本数も少ない。同じ高砂市民でも受けられるサービスに格差があるので改善していただきたい。

老若男女だれもが文化的に元気に過ごせる街づくりをしてほしい。子育て世帯、老人世帯、どちらかだけいいのはよくない。

各世代間のニーズもしっかりと把握した上で、高齢化社会においての住民のネットワーク作りを進めてほしいと思う。

幼・小・中、高とそれぞれの年代に適した道徳教育などを充実させていただきたい。豊かな人格形成を育てることが将来の高砂市の発展に繋がると思う。

お子さんの就業状態について

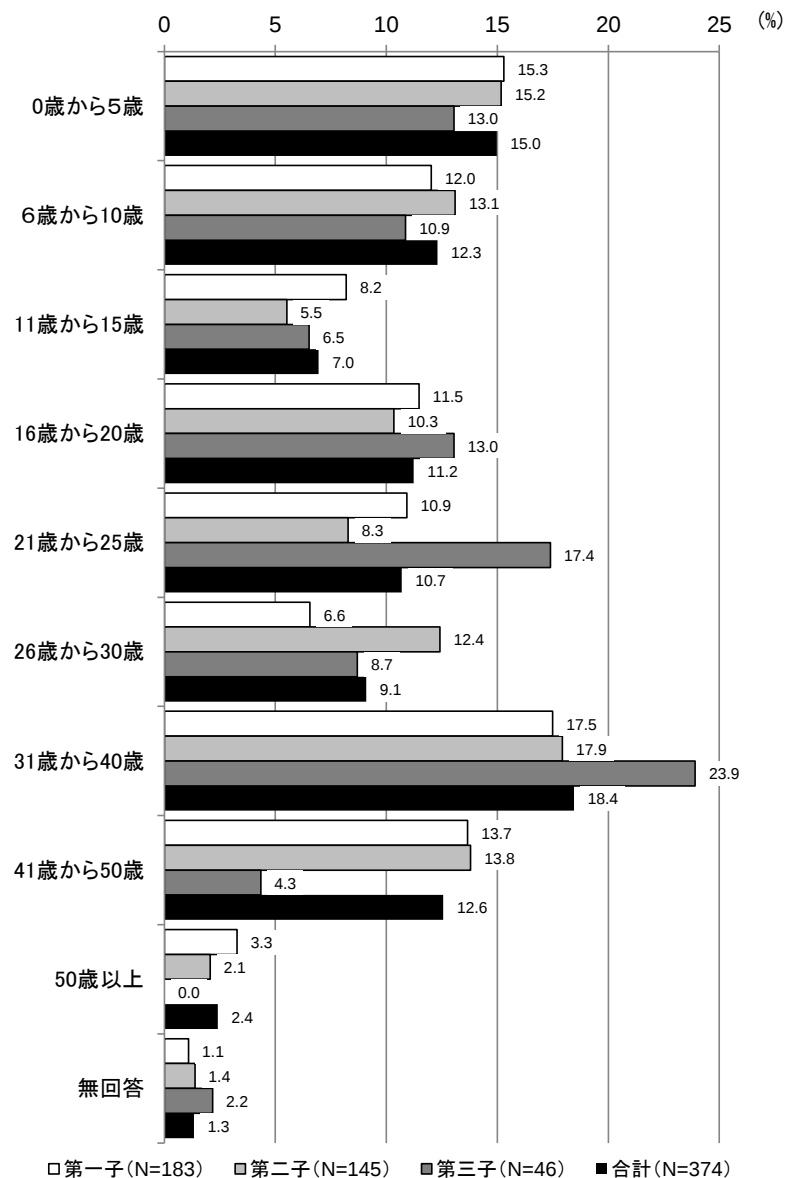
問 32～37 （お子さんがいらっしゃる方のみ伺います。）それぞれの項目ごとに第三子までお答えください。問 33～37 については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

（問 32～37 の集計対象は、年齢・性別いずれかの回答があるものとする）

問 32 年齢

第一子から第三子までを合わせた合計で、もっと多いのは「31歳～40歳」で20%弱である。

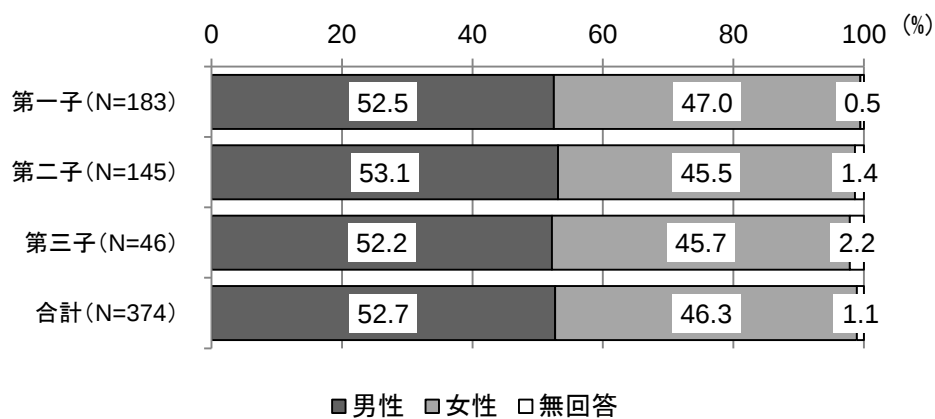
図 A- 55 子どもの年齢



問 33 性別

第一子から第三子、合計のいずれも「男性」のほうが若干多い。

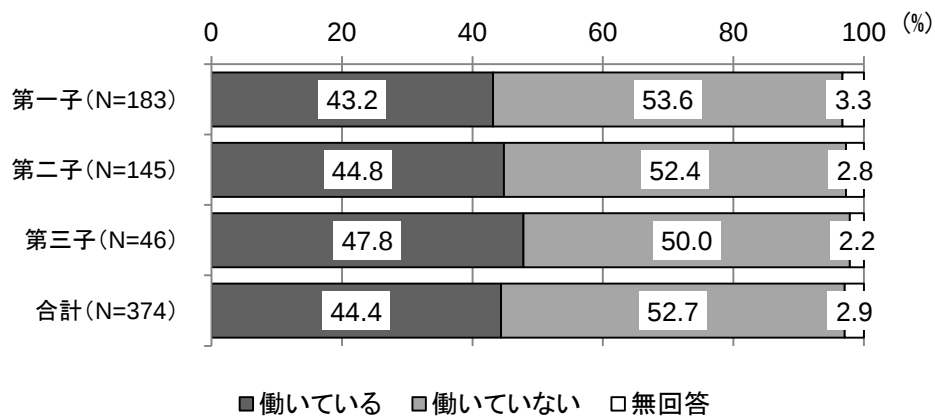
図 A- 56 子どもの性別



問 34 働いているか

第一子から第三子、合計のいずれも「働いていない」のほうが若干多い。

図 A- 57 子どもの就業状況



問 35 (働いている場合) 働いている場所

第一子から第三子、合計のいずれも「高砂市以外の県内」が最も多い。子どもが最後に卒業した学校の場所別にみると、「県外・国外」で勤務先が「県外・国外」が多く、「高砂市内」で勤務先が「高砂市内」が多い。

図 A- 58 子どもの勤務先

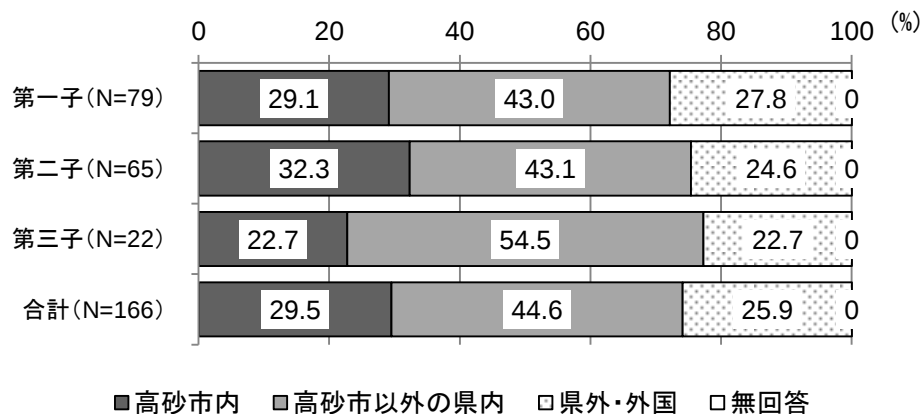


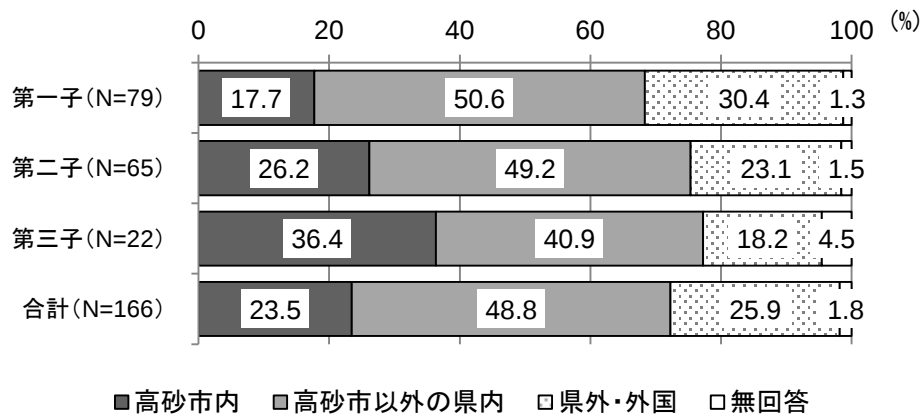
図 A- 59 子どもが最後に卒業した学校の場所別・子どもの勤務先

		勤務地				(%)
		高砂市内	高砂市以外の県内	県外・国外	無回答	
全体(N=166)		29.5	44.6	25.9	—	
学 校	高砂市内(N=39)	46.2	41.0	12.8	—	
	高砂市以外の県内(N=81)	30.9	51.9	17.3	—	
	県外・国外(N=43)	14.0	30.2	55.8	—	

問 36 （働いている場合）最後に卒業した学校の場所

第一子から第三子、合計のいずれも「高砂市以外の県内」が最も多い。

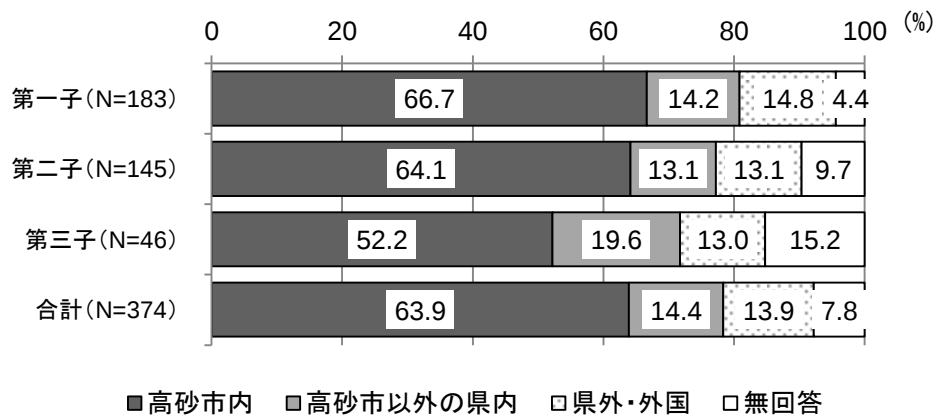
図 A- 60 子どもが最後に卒業した学校の場所



問 37 現在のお住まいの場所

第一子から第三子、合計のいずれも「高砂市内」が最も多い。

図 A- 61 子どもの現在の住まい



B 結婚・出産に関するアンケート(独身男女)

(回答対象者：現在、独身の18歳以上50歳未満の男性、女性)

問1 あなたの昨年(平成26年)の年収(税込)をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「0～99万円」で28.8%である。男女別にみると、「男性」で「0～99万円」が多い。

図 B-1 年収

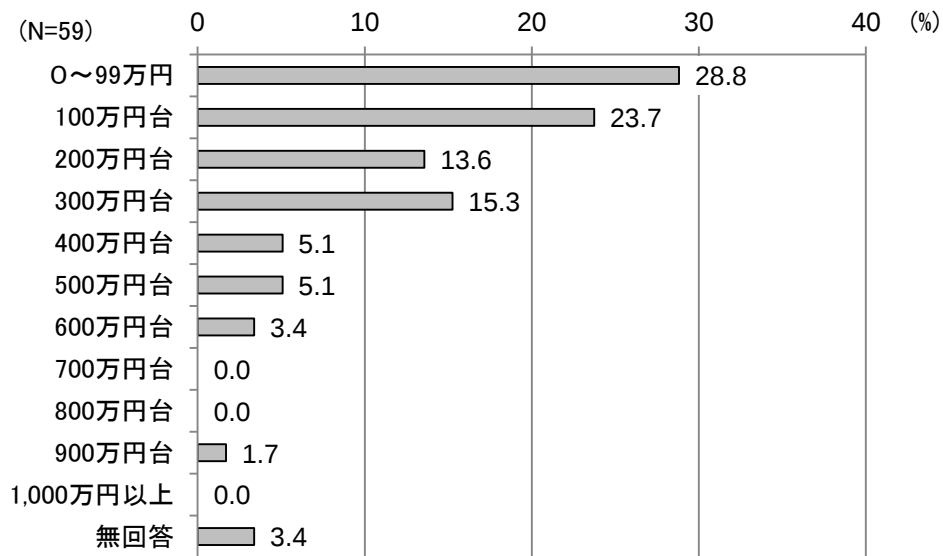


図 B-2 男女別・年収

	0～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1,000万円以上	無回答
全体(N=59)	28.8	23.7	13.6	15.3	5.1	5.1	3.4	-	-	1.7	-	3.4
男性(N=22)	40.9	-	18.2	13.6	9.1	4.5	4.5	-	-	4.5	-	4.5
女性(N=35)	22.9	37.1	11.4	17.1	-	5.7	2.9	-	-	-	-	2.9

問2 あなたのお父様とお母様の居住地(現在のあなたとの別居/同居)をご回答ください。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは、父親、母親ともに「同居」で60%以上である。男女別にみると、「男性」で父親、母親ともに「それ以外の地域で別居」が多い。

図 B-3 父親との別居/同居

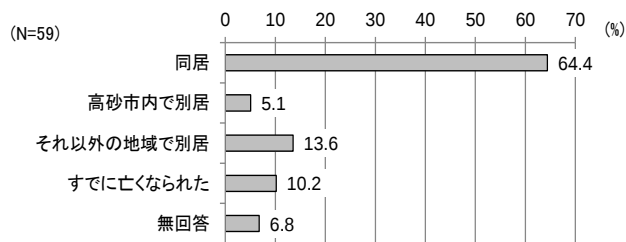


図 B-4 母親との別居/同居

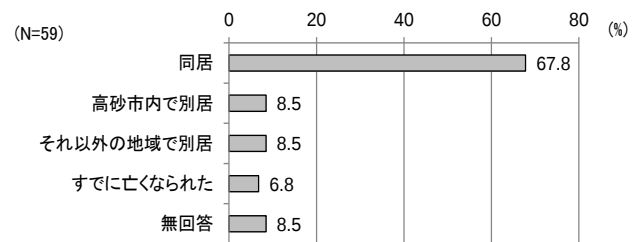


図 B-5 男女別・父親との別居/同居

	(%)				
	同居	高砂市内 で別居	それ以外 の地域で 別居	すでに亡く なられた	無回答
全体(N=59)	64.4	5.1	13.6	10.2	6.8
男性(N=22)	59.1	9.1	27.3	—	4.5
女性(N=35)	65.7	2.9	5.7	17.1	8.6

図 B-6 男女別・母親との別居/同居

	(%)				
	同居	高砂市内 で別居	それ以外 の地域で 別居	すでに亡く なられた	無回答
全体(N=59)	67.8	8.5	8.5	6.8	8.5
男性(N=22)	54.5	13.6	18.2	—	13.6
女性(N=35)	74.3	5.7	2.9	11.4	5.7

問3 将来的に結婚したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「はい」で60%程度である。結婚したい年齢は、「無回答」を除いて「25歳」、「30歳」の順に多い。男女別にみると、「女性」で「はい」が多い。

図 B-7 結婚願望

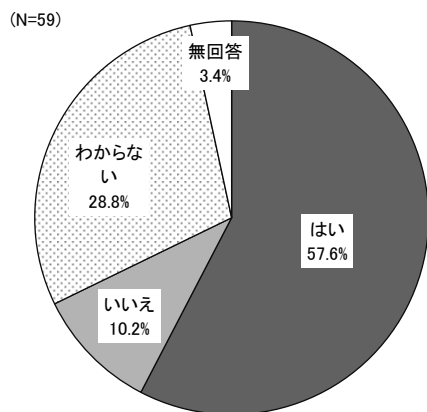


図 B-8 結婚したい年齢

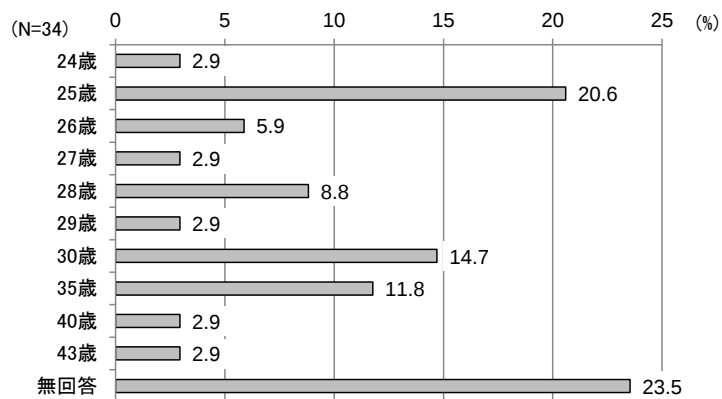


図 B-9 男女別・結婚願望

(%)

	はい	いいえ	わからない	無回答
全体 (N=59)	57.6	10.2	28.8	3.4
男性 (N=22)	50.0	13.6	31.8	4.5
女性 (N=35)	62.9	8.6	25.7	2.9

問4 (問3で「はい」(結婚したい)を選択した方に伺います。)その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「子供がほしいから」「心の安らぎが得られるから」でそれぞれ44.1%である。男女別にみると、「男性」で「心の安らぎが得られるから」が多く、「女性」で「子供がほしいから」が多い。

図 B-10 結婚したい理由

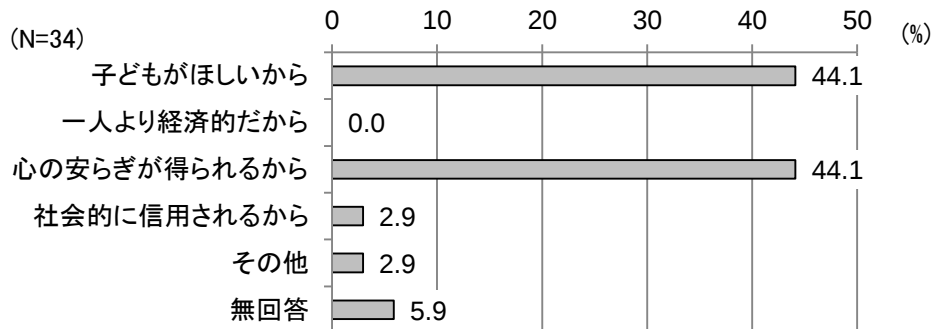


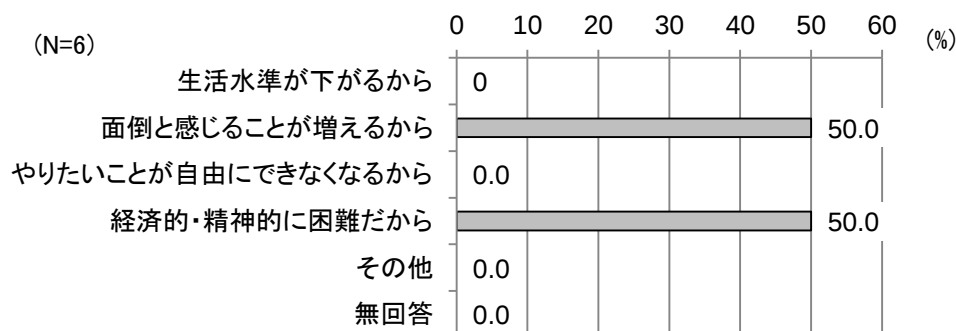
図 B-11 男女別・結婚したい理由

	子どもがほしいから	一人より経済的だから	心の安らぎが得られるから	社会的に信用されるから	その他	無回答
全体(N=34)	44.1	-	44.1	2.9	2.9	5.9
男性(N=11)	27.3	-	63.6	9.1	-	-
女性(N=22)	50.0	-	36.4	-	4.5	9.1

問5 (問3で「いいえ」(結婚したくない)を選択した方に伺います。)その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

「面倒と覚めることが増えるから」、「経済的・精神的に困難だから」がそれぞれ50%である。

図 B-12 結婚したくない理由



問6 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「利点があると思う」で71.2%である。男女別にみると、「男性」で「利点はないと思う」が若干多い。

図 B- 13 結婚する利点の有無

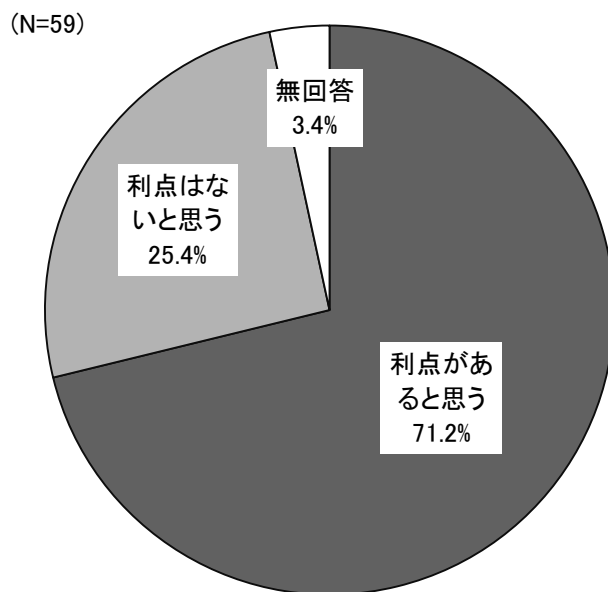


図 B- 14 男女別・結婚する利点の有無

(%)

	利点がある と思う	利点はない と思う	無回答
全体(N=59)	71.2	25.4	3.4
男性(N=22)	68.2	27.3	4.5
女性(N=35)	71.4	25.7	2.9

問7 (問6で(結婚することに)「利点があると思う」を選択した方に伺います。) 具体的な利点として、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「自分の子どもや家族が持てる」で66.7%である。男女別にみると、「男性」で「精神的な安らぎの場が得られる」が多く、「女性」で「自分の子どもや家族が持てる」が多い。

図 B- 15 結婚の利点

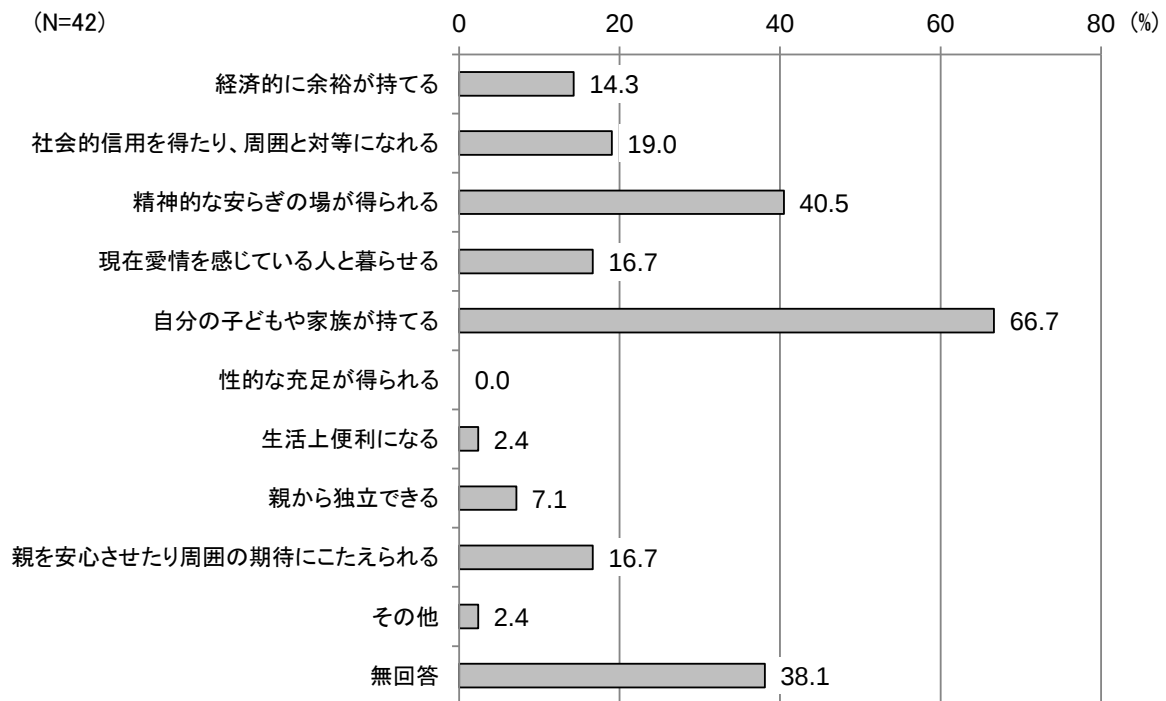


図 B- 16 男女別・結婚の利点

	る経済的に余裕が持てる	れり社会、信用を得たり周囲と対等になれる	が精神的な安らぎの場が得られる	る現在愛情を感じている人と暮らせる	が自分の子どもや家族が持てる	る性的な充足が得られる	生活上便利になる	親から独立できる	れ困るのを期待にさせたり周囲を安心させたり	その他	無回答
全体(N=42)	14.3	19.0	40.5	16.7	66.7	—	2.4	7.1	16.7	2.4	38.1
男性(N=15)	6.7	20.0	53.3	13.3	53.3	—	6.7	6.7	20.0	—	46.7
女性(N=25)	20.0	16.0	36.0	20.0	72.0	—	—	8.0	16.0	4.0	36.0

問8 逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。
あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「利点があると思う」で89.8%である。男女別にみてもほとんど差がない。

図 B- 17 独身生活の利点の有無

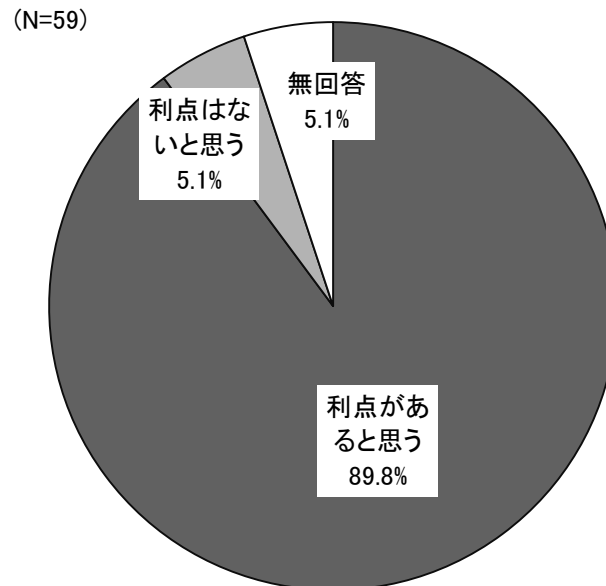


図 B- 18 男女別・独身生活の利点の有無

(%)

	利点がある と思う	利点はない と思う	無回答
全体(N=59)	89.8	5.1	5.1
男性(N=22)	90.9	4.5	4.5
女性(N=35)	88.6	5.7	5.7

問9 (問8で(独身生活には)「利点があると思う」を選択した方に伺います。) 具体的な利点として、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「行動や生き方が自由」で79.2%である。男女別にみると、「男性」で「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」が多い。

図 B-19 独身生活の利点

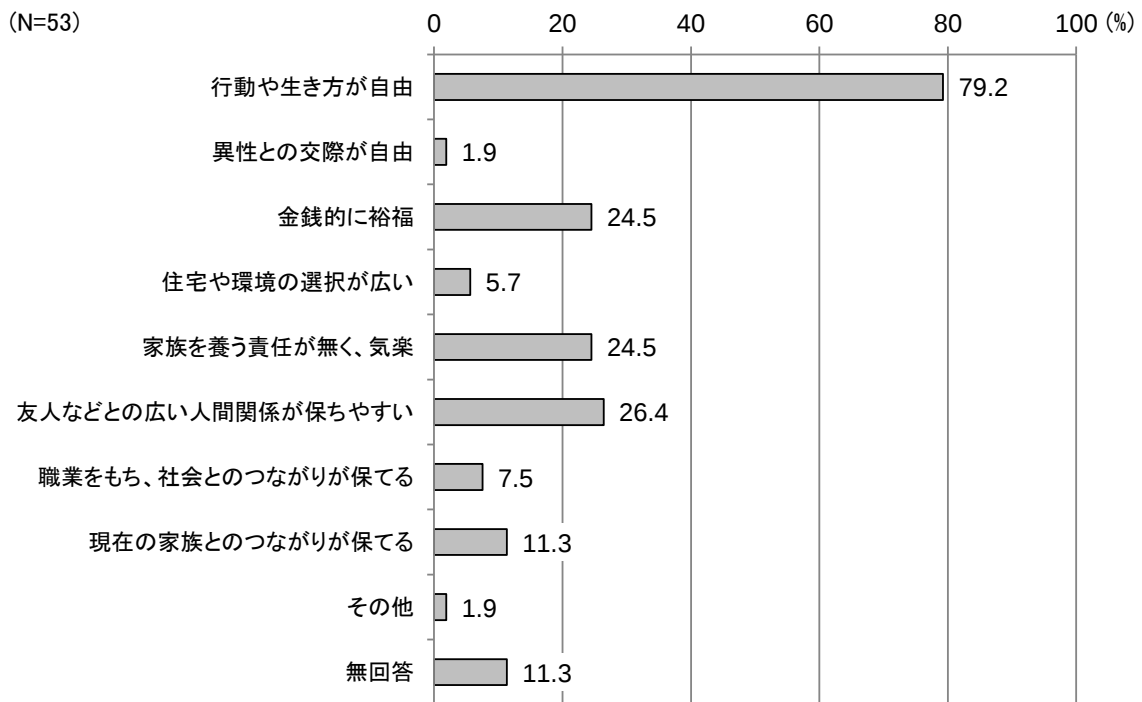


図 B-20 男女別・独身生活の利点

	行動 や 生き 方が 自由	異 性 と の 交 際 が 自 由	金 銭 的 に 裕 福	住 宅 や 環 境 の 選 択 が 広 い	家 族 を 養 う 責 任 が 無 く 気 楽	友 人 な ど の 広 い 人 間 関 係 が 保 ち や す い	職 業 を も ち 、 社 会 と の つ な が り が 保 て る	現 在 の 家 族 と の つ な が り が 保 て る	そ の 他	無 回 答
全体(N=53)	79.2	1.9	24.5	5.7	24.5	26.4	7.5	11.3	1.9	11.3
男性(N=20)	80.0	5.0	15.0	5.0	35.0	35.0	—	10.0	—	10.0
女性(N=31)	80.6	—	29.0	6.5	16.1	22.6	12.9	9.7	3.2	12.9

B 結婚・出産に関するアンケート(独身男女)

問 10 女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。女性のご自身の、男性はパートナー（あるいは妻）となる女性の人生について、それぞれ、理想と実際になりそうな人生として最も近いと思われるものを1つだけ選んでください。

男女別にみると、「女性」の「理想とする生き方」で最も多いのは「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」で40%である。「女性」の「実際になりそうな生き方」も同様に最も多いのは「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」だが、「理想」よりも割合は減っている。「男性」の「パートナーの理想とする生き方」で最も多いのは「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」で31.8%である。「男性」の「パートナーの実際になりそうな生き方」では「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」がともに多い。

図 B- 21 男女別・女性の理想とする生き方

(%)

	け結 婚 せ ず、 仕 事 を 続	る持結 た婚 ずす 、仕 が 事 を ど 続 も けは	つ結 が 婚 、 し 、 仕 事 も ど も 続 け を 持	てに結結 後い婚婚 につあし 再たる子 びんいど 仕退はも 事職出を をし産持 持、のつ つ子機が 育会、	持退婚結 た職あ婚 ない、し い子 そはど の出も 後産を はの持 仕機ち 事会、 をに結	そ 他	無 回 答
全体(N=59)	6.8	5.1	23.7	30.5	22.0	—	11.9
男性(N=22)	—	4.5	27.3	18.2	31.8	—	18.2
女性(N=35)	11.4	5.7	20.0	40.0	17.1	—	5.7

図 B- 22 男女別・女性の実際になりそうな生き方

(%)

	け結 婚 せ ず、 仕 事 を 続	る持結 た婚 ずす 、仕 が 事 を ど 続 も けは	つ結 が 婚 、 し 、 仕 事 も ど も 続 け を 持	てに結結 後い婚婚 につあし 再たる子 びんいど 仕退はも 事職出を をし産持 持、のつ つ子機が 育会、	持退婚結 た職あ婚 ない、し い子 そはど の出も 後産を はの持 仕機ち 事会、 をに結	そ 他	無 回 答
全体(N=59)	8.5	3.4	27.1	28.8	11.9	3.4	16.9
男性(N=22)	4.5	4.5	31.8	31.8	4.5	—	22.7
女性(N=35)	11.4	2.9	22.9	28.6	17.1	5.7	11.4

問 11 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。最も重要な理由の順に3つまで選んでください(すでに結婚が決まっている場合は、1位に「すでに結婚が決まっている」をご入力ください)。

理由の1位として最も多いのは「適当な相手にまだめぐり会わないから」で28.8%である。1位から3位までの理由を複数回答として集計しても、最も多いのは、「適当な相手にまだめぐり会わないから」で44.1%である。

図 B- 23 独身でいる理由(1位)

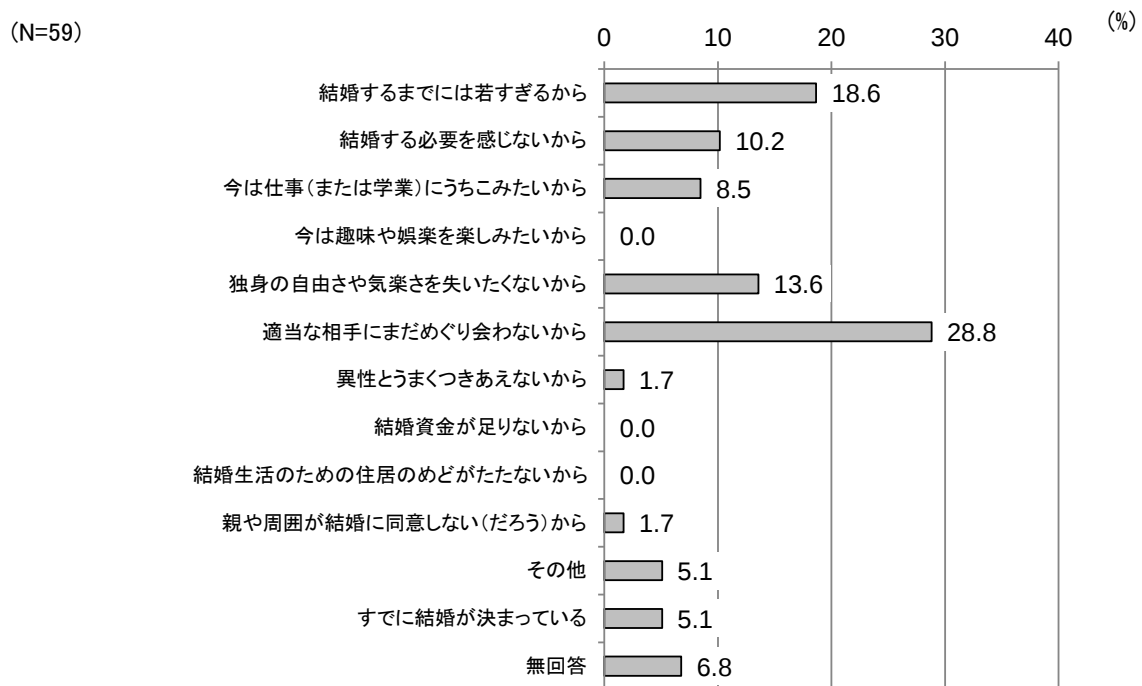


図 B- 24 男女別・独身でいる理由(1位)

	結婚するまでには若すぎるから	結婚する必要を感じないから	今は仕事(または学業)にうちこみたいから	今は趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつきあえないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	その他	すでに結婚が決まっている	無回答
全体(N=59)	18.6	10.2	8.5	-	13.6	28.8	1.7	-	-	1.7	5.1	5.1	6.8
男性(N=22)	22.7	4.5	4.5	-	18.2	31.8	4.5	-	-	-	4.5	4.5	4.5
女性(N=35)	17.1	14.3	8.6	-	11.4	28.6	-	-	-	2.9	5.7	5.7	5.7

図 B-25 独身でいる理由(1位～3位)

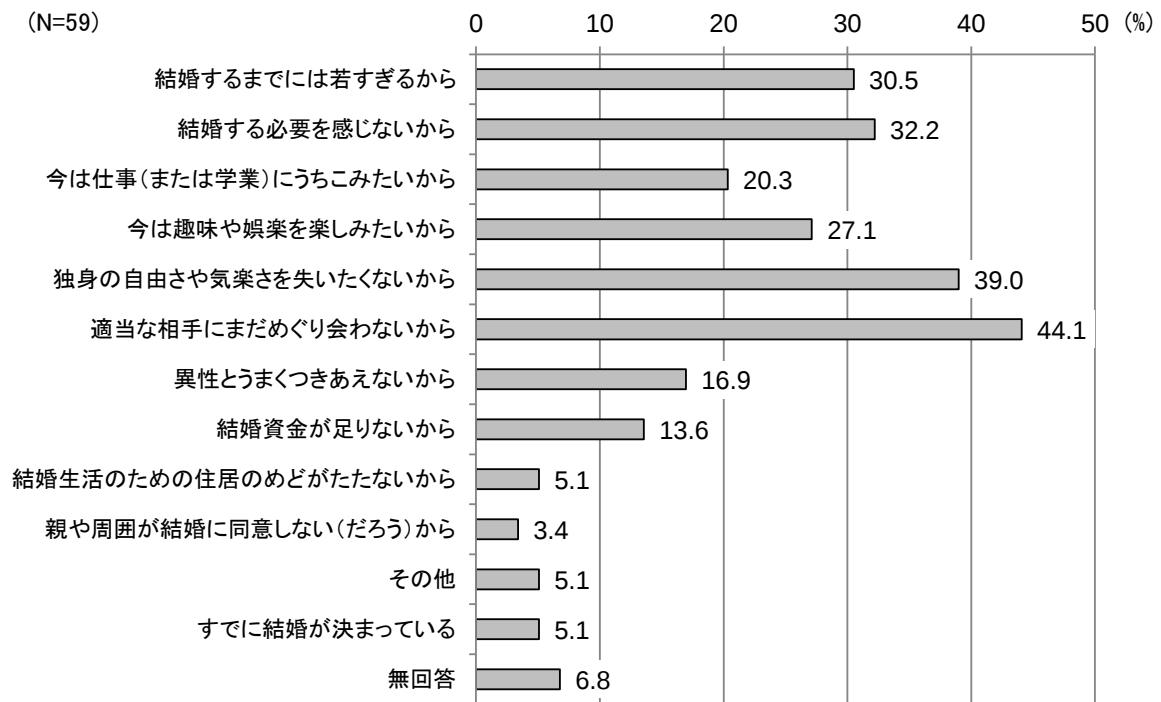


図 B-26 男女別・独身でいる理由(1位～3位)

	結婚するまでには若すぎるから	結婚する必要を感じないから	今は仕事(または学業)にうちこみたいから	今は趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつきあえないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲(だろ)が結婚に同意しないから	その他	すでに結婚が決まっている	無回答
全体(N=59)	30.5	32.2	20.3	27.1	39.0	44.1	16.9	13.6	5.1	3.4	5.1	5.1	6.8
男性(N=22)	31.8	31.8	13.6	18.2	31.8	50.0	31.8	27.3	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5
女性(N=35)	31.4	34.3	22.9	34.3	45.7	42.9	8.6	5.7	2.9	2.9	5.7	5.7	5.7

問 12 これまでに異性と交際した経験がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「交際した経験がある」で78.0%である。男女別にみると、「男性」で「交際した経験はない」が多い。

図 B- 27 異性との交際の有無

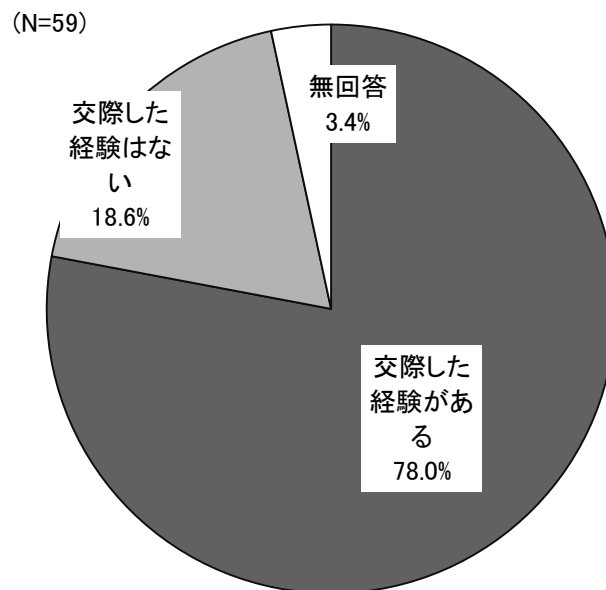


図 B- 28 男女別・異性との交際の有無

(%)

	交際した 経験があ る	交際した 経験はな い	無回答
全体(N=59)	78.0	18.6	3.4
男性(N=22)	68.2	27.3	4.5
女性(N=35)	85.7	11.4	2.9

問 13 (問 12 で(異性と)「交際した経験がある」を選択した方に伺います。) 現在、交際している異性はいますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「交際している異性はいない」で 33.9%である。男女別にみると、「女性」で「交際している異性はいない」が多い。

図 B- 29 現在、交際している異性の有無

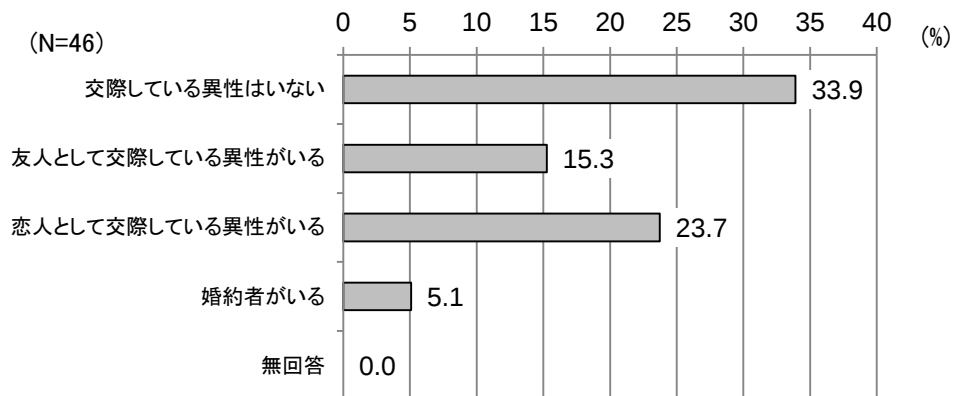


図 B- 30 男女別・現在、交際している異性の有無

	異 交 性 交 は し い て な い い る	性 際 友 が し 人 い て と る い し る て 異 交	性 際 恋 が し 人 い て と る い し る て 異 交	婚 約 者 が い る	無 回 答
全体(N=46)	33.9	15.3	23.7	5.1	—
男性(N=15)	22.7	9.1	31.8	4.5	—
女性(N=30)	42.9	20.0	17.1	5.7	—

問 14 (問 12 で(異性と)「交際した経験がある」、問 13 で「友人として交際している異性がいる」、「恋人として交際している異性がいる」、「婚約者がいる」を選択した方に伺います。) 交際相手とはどのようなきっかけで知り合いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最も多いのは「友人や兄弟姉妹を通じて」で 34.6%である。男女別にみると、「男性」で「学校で」が多く、「女性」で「友人や兄弟姉妹を通じて」が多い。

図 B- 31 交際相手と知り合ったきっかけ

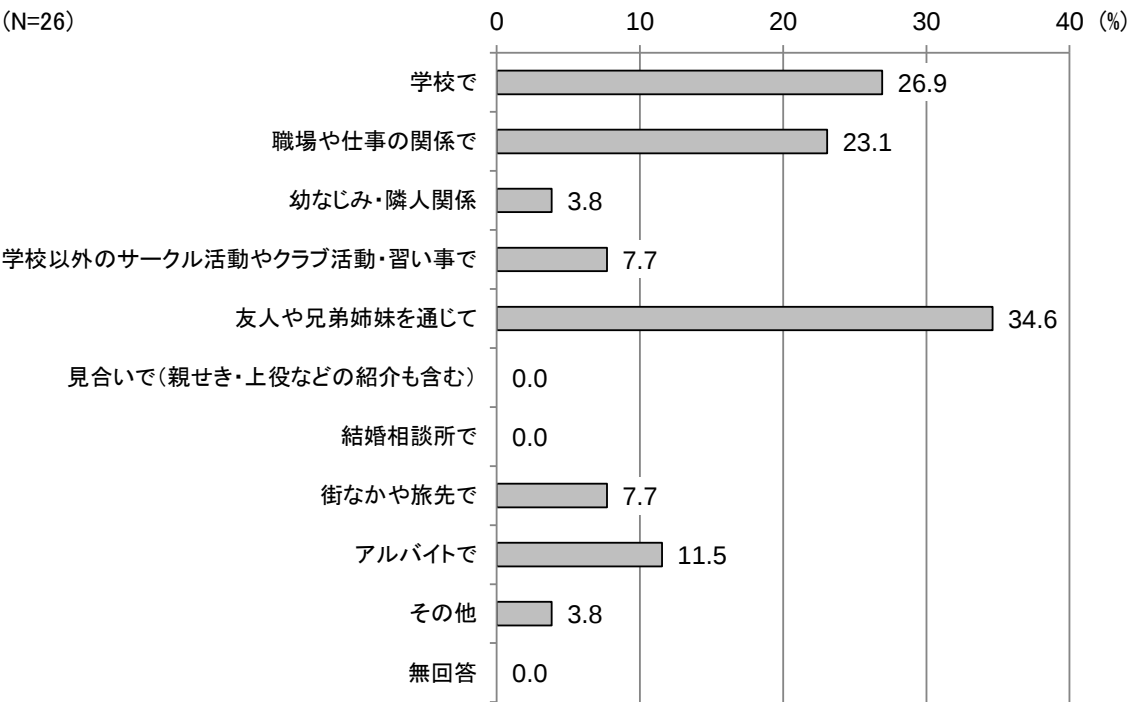


図 B- 32 男女別・交際相手と知り合ったきっかけ

	学校で	で職場 や仕事 の関係	係幼 なじみ ・隣人 関係	動ル学 ・活校 いや外 のサ ーブル ー活ク	通友 じて 人 や兄 弟姉 妹を	介き見 も合 含む 役な 〜(で 親の せ紹	結 婚 相 談 所 で	街 なか や旅 先で	アル バ イ ト で	そ の 他	無 回 答
全体(N=26)	26.9	23.1	3.8	7.7	34.6	-	-	7.7	11.5	3.8	-
男性(N=10)	60.0	30.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	10.0	-
女性(N=15)	6.7	13.3	6.7	13.3	46.7	-	-	13.3	6.7	-	-

問 15 あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目について、どの程度重視しますか。それぞれ、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「重視する」が最も多いのは「相手の人から」で88.1%である。男女別にみると、「男性」で「学歴」「職業」「収入」について「あまり関係ない」が多く、「自分への理解」について「重視する」が多い。

図 B- 33 結婚相手を決めるときに重視する項目

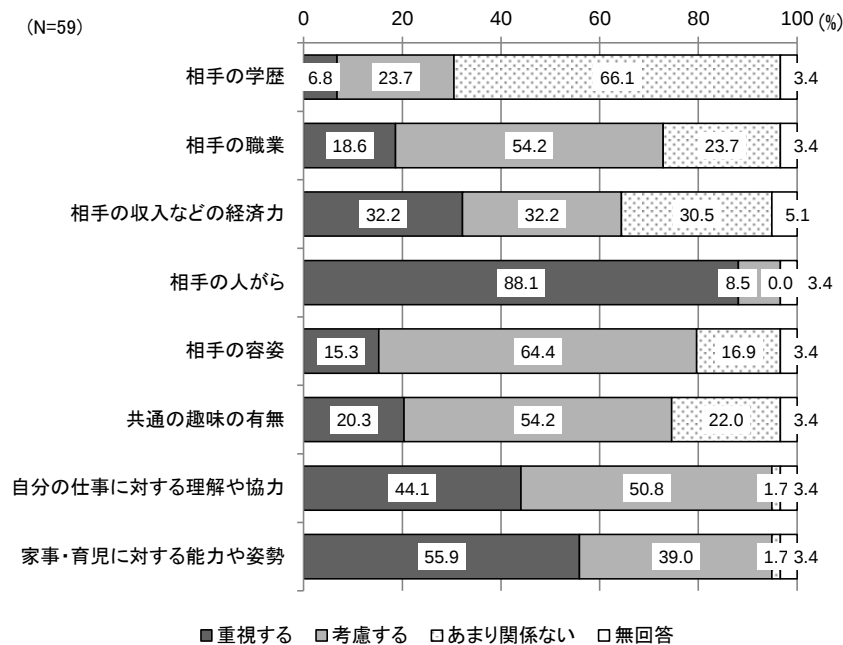


図 B- 34 男女別・結婚相手を決めるときに重視する項目

(%)					(%)				
学歴	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答	容姿	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答
全体(N=59)	6.8	23.7	66.1	3.4	全体(N=59)	15.3	64.4	16.9	3.4
男性(N=22)	-	13.6	81.8	4.5	男性(N=22)	22.7	63.6	9.1	4.5
女性(N=35)	11.4	31.4	54.3	2.9	女性(N=35)	8.6	68.6	20.0	2.9

(%)					(%)				
職業	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答	趣味	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答
全体(N=59)	18.6	54.2	23.7	3.4	全体(N=59)	20.3	54.2	22.0	3.4
男性(N=22)	-	45.5	50.0	4.5	男性(N=22)	13.6	68.2	13.6	4.5
女性(N=35)	28.6	62.9	5.7	2.9	女性(N=35)	25.7	42.9	28.6	2.9

(%)					(%)				
収入	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答	自分への理解	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答
全体(N=59)	32.2	32.2	30.5	5.1	全体(N=59)	44.1	50.8	1.7	3.4
男性(N=22)	-	31.8	63.6	4.5	男性(N=22)	54.5	40.9	-	4.5
女性(N=35)	51.4	34.3	8.6	5.7	女性(N=35)	37.1	57.1	2.9	2.9

(%)					(%)				
人から	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答	家事能力	重視する	考慮する	あまり関係ない	無回答
全体(N=59)	88.1	8.5	-	3.4	全体(N=59)	55.9	39.0	1.7	3.4
男性(N=22)	90.9	4.5	-	4.5	男性(N=22)	59.1	36.4	-	4.5
女性(N=35)	88.6	8.6	-	2.9	女性(N=35)	54.3	40.0	2.9	2.9

問 16 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、何か障害になることがあると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「障害になることがあると思う」で54.2%である。男女別にみると、「男性」で「障害になることはないと思う」が若干少ない。

図 B- 35 結婚の障害の有無

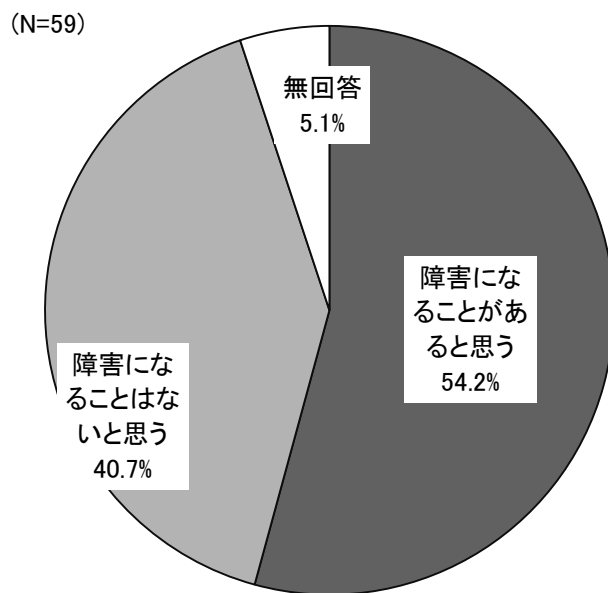


図 B- 36 男女別・結婚の障害の有無

(%)

	障害になる ことがある と思う	障害にな ることはな いと思う	無回答
全体(N=59)	54.2	40.7	5.1
男性(N=22)	54.5	36.4	9.1
女性(N=35)	54.3	42.9	2.9

問 17 (問 16 で(結婚の)「障害になることがあると思う」を選択した方に伺います。) 具体的な障害を大きな順番に2つ選んでください。

「最大の結婚の障害」で最も多いのは「結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)」で 37.5% である。男女別にみると、全体と比較して「男性」で「結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)」が多い。

複数回答で集計した「結婚の障害(すべて)」で最も多いのも「結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)」で 56.3% である。次に多いのは、男女別にみると、「男性」で「学校や学業上の問題」が多く、「女性」で「結婚生活のための住居」が多い。

図 B- 37 最大の結婚の障害

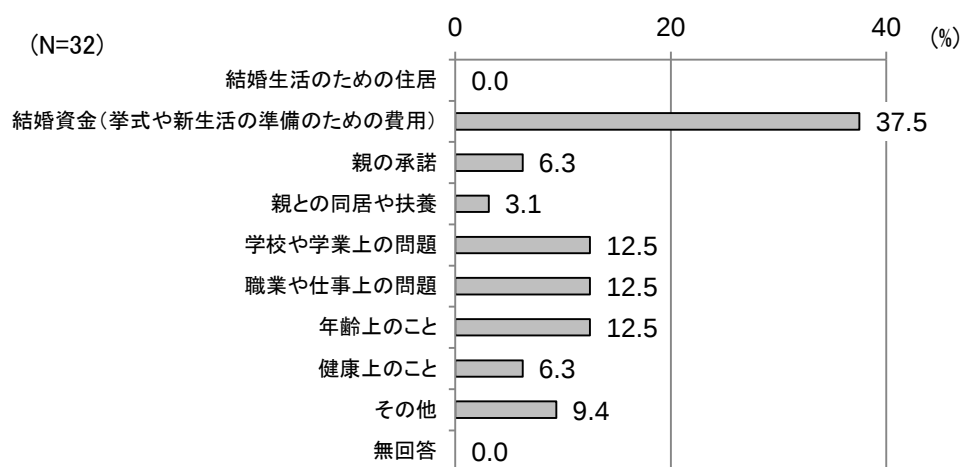


図 B- 38 男女別・最大の結婚の障害

	結婚生活のための住居	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)	親の承諾	親との同居や扶養	学校や学業上の問題	職業や仕事上の問題	年齢上的こと	健康上的こと	その他	無回答
全体(N=32)	-	37.5	6.3	3.1	12.5	12.5	12.5	6.3	9.4	-
男性(N=12)	-	50.0	8.3	-	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-
女性(N=19)	-	26.3	5.3	5.3	15.8	15.8	10.5	5.3	15.8	-

図 B- 39 結婚の障害(すべて)

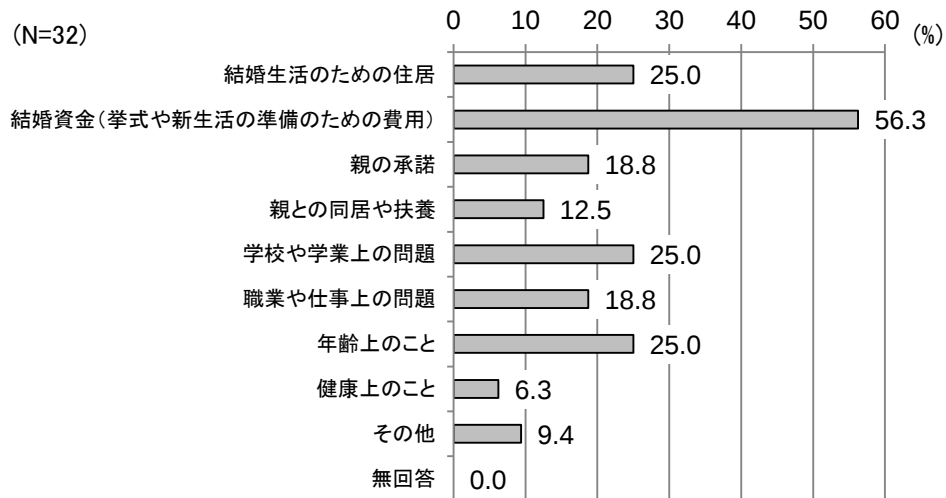


図 B- 40 男女別・結婚の障害(すべて)

(%)

	結婚生活のための住居	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)	親の承諾	親との同居や扶養	学校や学業上の問題	職業や仕事上の問題	年齢上的こと	健康上的こと	その他	無回答
全体(N=32)	25.0	56.3	18.8	12.5	25.0	18.8	25.0	6.3	9.4	—
男性(N=12)	16.7	66.7	25.0	—	41.7	16.7	25.0	8.3	—	—
女性(N=19)	31.6	47.4	15.8	15.8	15.8	21.1	26.3	5.3	15.8	—

問 18 全ての方にお聞きします。(既にお子様をお持ちの方もご回答ください。)子どもを持つとした場合、子どもは何人ぐらいほしいですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「無回答」を除いて、最も多いのは「2人」で27.1%である。男女別にみると、「女性」で「2人」が多く、「男性」で「3人以上」が多い。

図 B- 41 理想の子どもの数

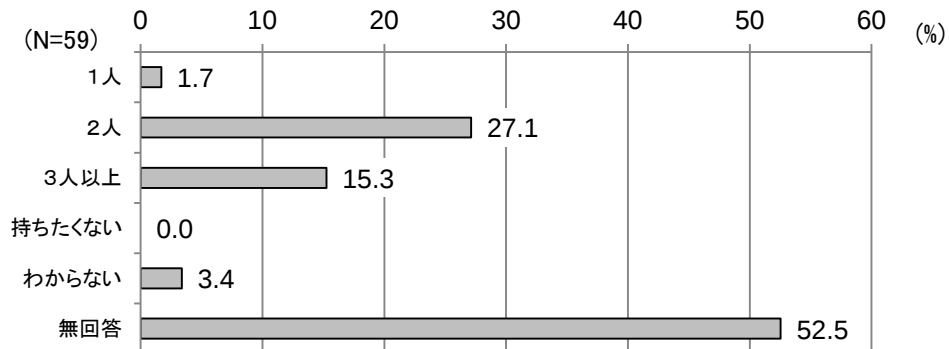


図 B- 42 男女別・理想の子どもの数

	(%)					
	1人	2人	3人以上	持ちたくない	わからない	無回答
全体(N=59)	1.7	27.1	15.3	—	3.4	52.5
男性(N=22)	—	22.7	18.2	—	9.1	50.0
女性(N=35)	—	31.4	11.4	—	—	57.1

問 19 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題等について、ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

有効回答 59 件に対し、9 件の意見を得た。それぞれの意見を示す。

※文章が長いものについては一部割愛し、また読みやすいよう一部表現を変更している。

結婚や出産を機に高砂市に住民票を置き、居住したいと思う若者が増えるよう、祝い金や家賃補助などに力を入れると、高砂市民の増加につながり、街の活性化にもなると思う。
高砂市内に勤務する公務員は、高砂市内に住民票を置き居住することを義務付けるべきだと思う。(人口減少を食い止めるため)そして高砂市に税金を払うべきだと思う。

子供が進学を望む場合、安心して教育を受けられる環境整備。特に経済的に進学が難しいが、学習要求が高く能力のある人にチャンスを与えられる環境。

子どもが二人までは極端に言えば各種支援はなしでもよいが、子どもが三人以上になった場合に、しっかりとした補助を実施すること。

現在行われている子どもの医療費助成について、年齢の引き上げが出来ればもっと良い。

今の仕事を続けるための、子育て支援の充実(例えば、保育園待機園児問題解消)などの取り組みに更に力を入れることを期待している。障がいなど福祉支援の充実も同等にお願いしたい。

女性への支援も大事だが、男性への支援も必要だと思う。

新婚向けに住居支援、また結婚・出産のお祝い金の支給があったらよい。子育てがしやすいように保育所の増設や医療支援などもあったほうがよい。

税金を正しく、有効に使ってほしい。子育てのしやすい環境にしてほしい。

せっかくブライダル都市なのだから、高砂市にも結婚式場を作ってほしい。

病気で子どもが望めなく、しかし子どもはかわいいし好き。今の政府は少子化がどうか話しているが、若いころからの病気のため子どもはできない人の考えはどうなっているのか、全く分からない。仕事したい、子どもを産みたい。しかしそれができない人間はどうすれば良いのでしょうか？全国の問題だと思う。

若者にとって高砂市で住むこと、子育てをすることのメリットが分かりにくい。メリットがないなら加古川や姫路のほうが交通の便も良く街も発展していて住むには良いと感じる。

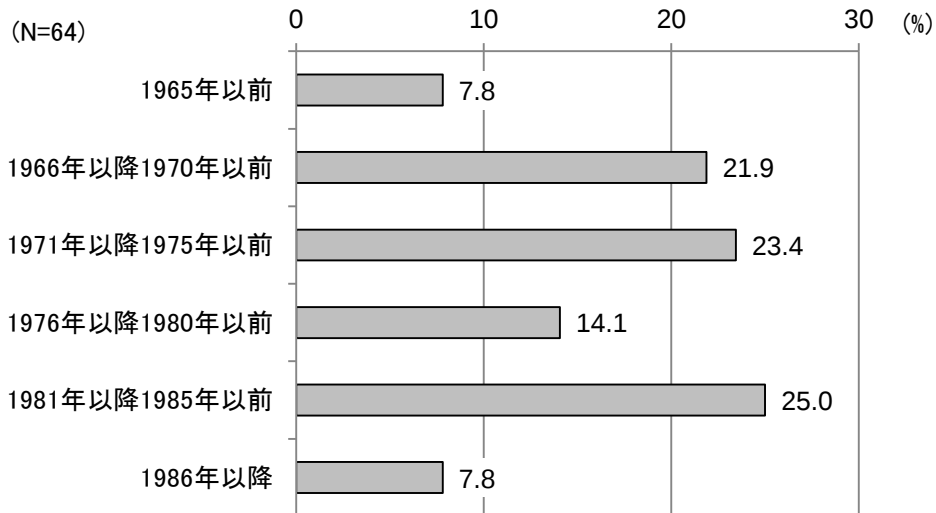
C 結婚・出産に関するアンケート(有配偶者女性)

(回答対象者：現在、結婚している 50 歳未満の女性)

問 1 配偶者（夫）の出生年月をご回答ください。

最も多いのは「1981 年以降 1985 年以前」で 25.0%である。

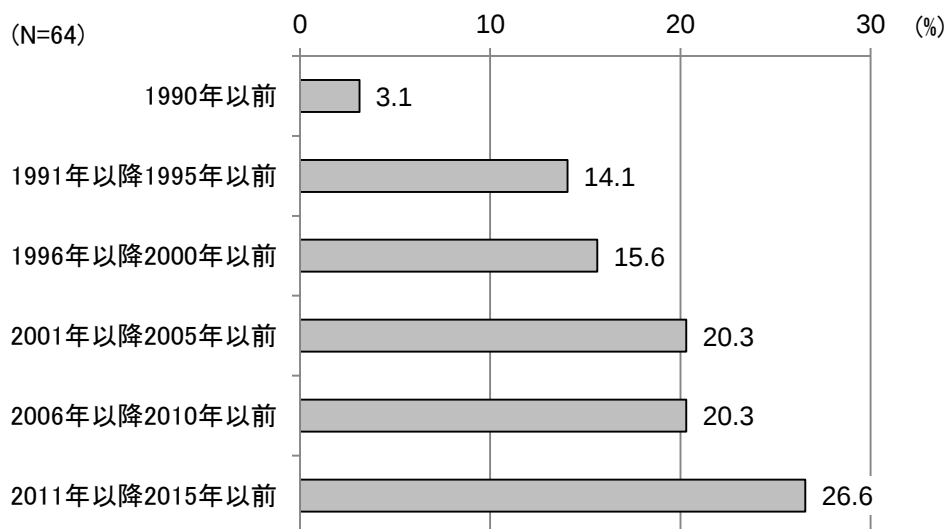
図 C- 1 夫の出生年



問 2 現在の結婚生活を始めた年月をご回答ください。

最も多いのは「2011 年以降 2015 年以前」で 26.6%である。

図 C- 2 現在の結婚生活を始めた年



問3 ご夫婦のそれぞれの昨年(平成26年)の年収(税込)について、あてはまるものを
1つだけ選んでください。

回答者(有配偶者女性)で最も多いのは「0～99万円」で56.3%である。年代別にみると、全体と比較して「18歳から39歳まで」で「0～99万円」が多い。夫で最も多いのは「500万円台」で25.0%である。回答者の年代別にみると、「18歳から39歳まで」よりも「40歳から49歳」のほうが、収入が高い傾向がある。

図 C-3 回答者の年収

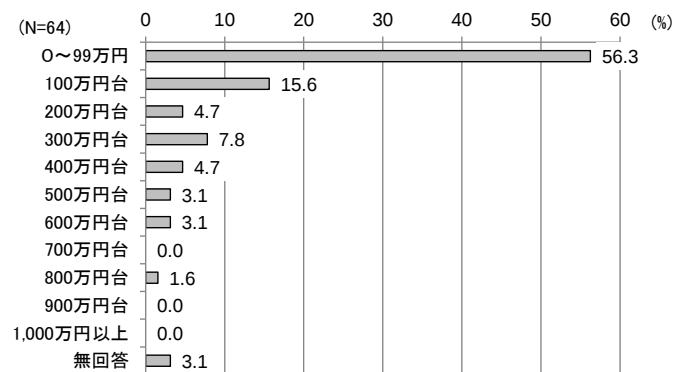


図 C-4 年代別・回答者の年収

	0～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1,000万円以上	無回答
全体(N=64)	56.3	15.6	4.7	7.8	4.7	3.1	3.1	-	1.6	-	-	3.1
18歳から39歳まで(N=33)	60.6	12.1	6.1	9.1	3.0	3.0	-	-	-	-	-	6.1
40歳から49歳まで(N=31)	51.6	19.4	3.2	6.5	6.5	3.2	6.5	-	3.2	-	-	-

図 C-5 夫の年収

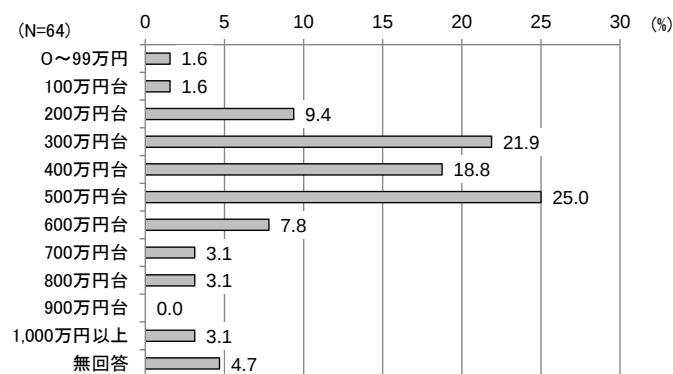


図 C-6 年代別・夫の年収

	0～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1,000万円以上	無回答
全体(N=64)	1.6	1.6	9.4	21.9	18.8	25.0	7.8	3.1	3.1	-	3.1	4.7
18歳から39歳まで(N=33)	-	3.0	12.1	27.3	27.3	18.2	3.0	3.0	-	-	-	6.1
40歳から49歳まで(N=31)	3.2	-	6.5	16.1	9.7	32.3	12.9	3.2	6.5	-	6.5	3.2

問4 あなたのお父様、お母様、夫のお父様、お母様との同居／別居について、時期別にそれぞれあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

回答者、夫ともに「現在の結婚を決めたとき」には自分の父親、母親と「同居」が最も多く、「現在の結婚直後」、「現在」は自分、夫の父親、母親と「それ以外の地域で別居」が最も多い。

図 C-7 現在の結婚を決めたときのあなたとあなたの父親との別居/同居

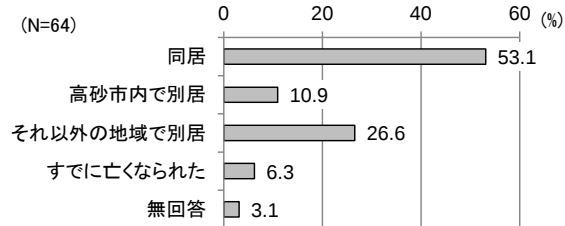


図 C-8 現在の結婚を決めたときのあなたとあなたの母親との別居/同居

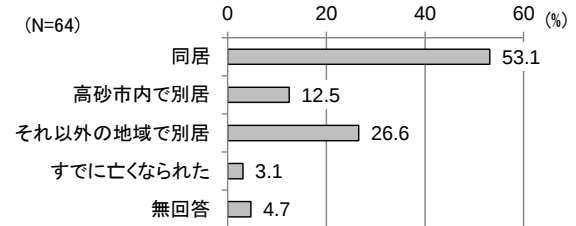


図 C-9 現在の結婚を決めたときのあなたと夫の父親との別居/同居

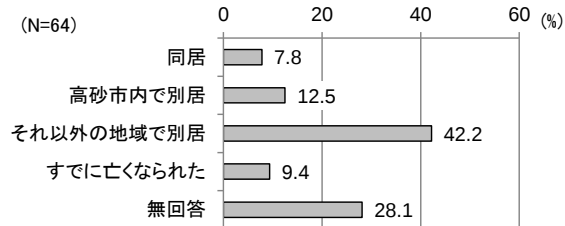


図 C-10 現在の結婚を決めたときのあなたと夫の母親との別居/同居

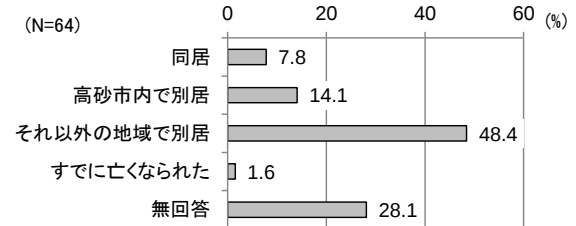


図 C-11 現在の結婚を決めたときの夫とあなたの父親との別居/同居

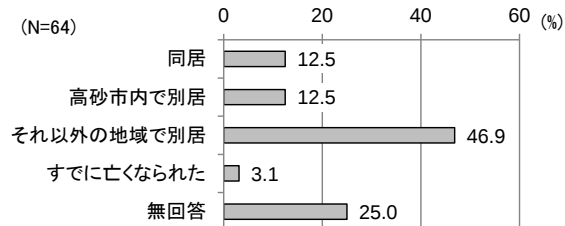


図 C-12 現在の結婚を決めたときの夫とあなたの母親との別居/同居

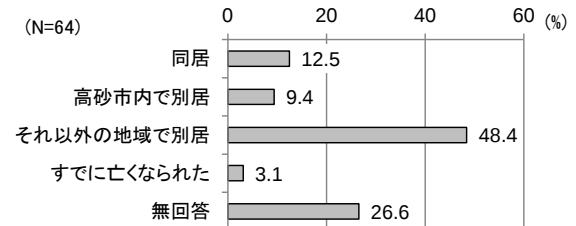


図 C-13 現在の結婚を決めたときの夫と夫の父親との別居/同居

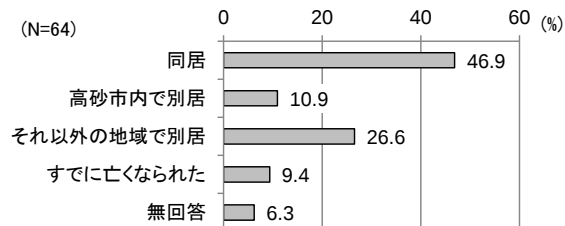


図 C-14 現在の結婚を決めたときの夫と夫の母親との別居/同居

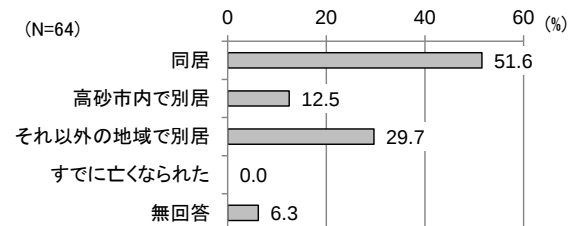


図 C- 15 現在の結婚直後のあなたとあなたの父親との別居/同居

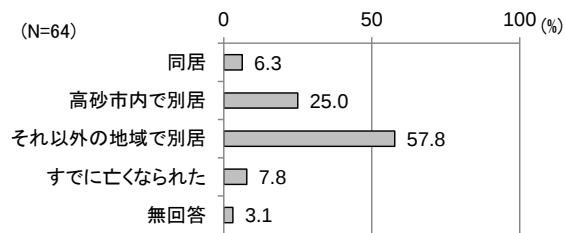


図 C- 16 現在の結婚直後のあなたとあなたの母親との別居/同居

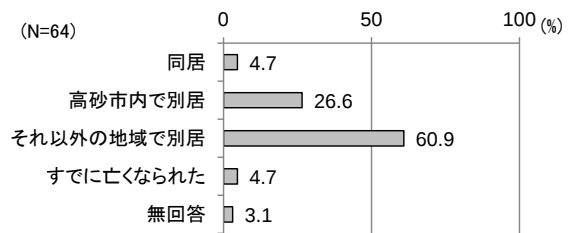


図 C- 17 現在の結婚直後のあなたと夫の父親との別居/同居

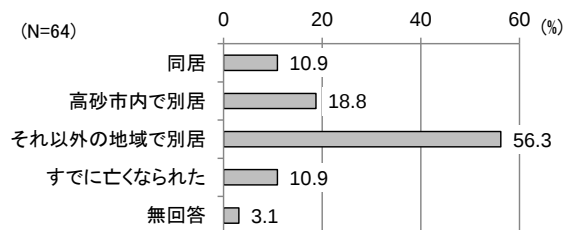


図 C- 18 現在の結婚直後のあなたと夫の母親との別居/同居

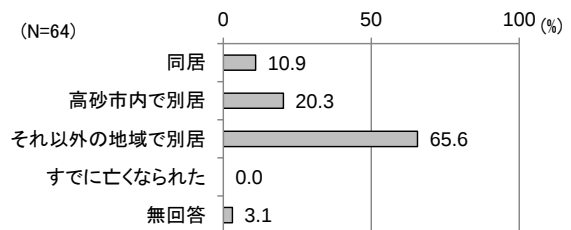


図 C- 19 現在のあなたとあなたの父親との別居/同居

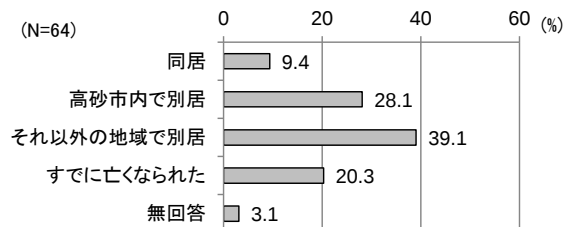


図 C- 20 現在のあなたとあなたの母親との別居/同居

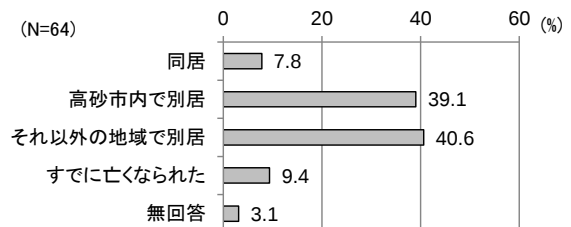


図 C- 21 現在のあなたと夫の父親との別居/同居

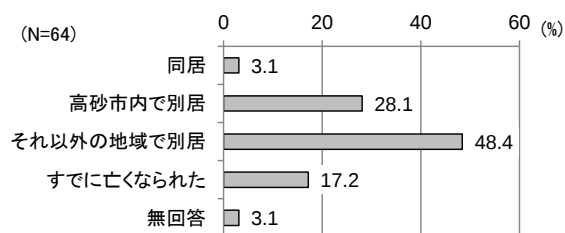
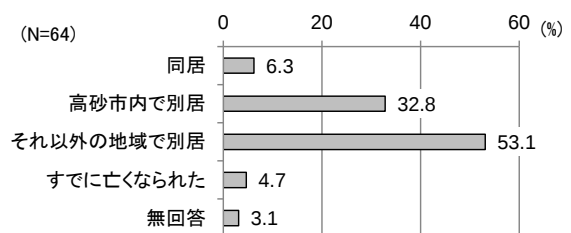


図 C- 22 現在のあなたと夫の母親との別居/同居



問5 今後生む予定のお子さんの数をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「0人」で62.5%である。年代別にみると、「18歳から39歳」で「1人」が多く、「40歳から49歳まで」で「0人」が多い。

図 C- 23 今後生む予定の子どもの数

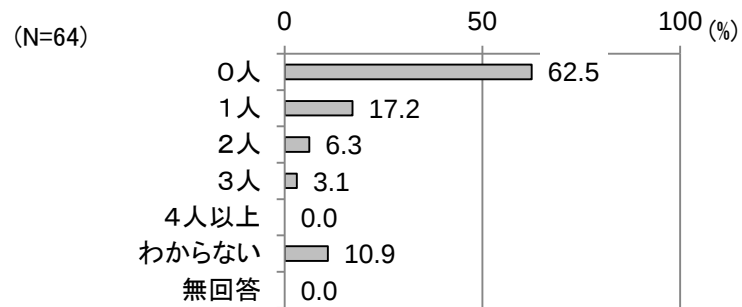


図 C- 24 年代別・今後生む予定の子どもの数

	(%)						
	0人	1人	2人	3人	4人以上	わからない	無回答
全体(N=64)	62.5	17.2	6.3	3.1	-	10.9	-
18歳から39歳まで(N=33)	42.4	33.3	9.1	6.1	-	9.1	-
40歳から49歳まで(N=31)	83.9	-	3.2	-	-	12.9	-

問6 あなたにとって理想的なお子さんの数は何人ですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「2人」で48.4%である。年代別にみると、「18歳から39歳」で「3人」が多く、「40歳から49歳まで」で「2人」が多い。

図 C- 25 理想的な子どもの数

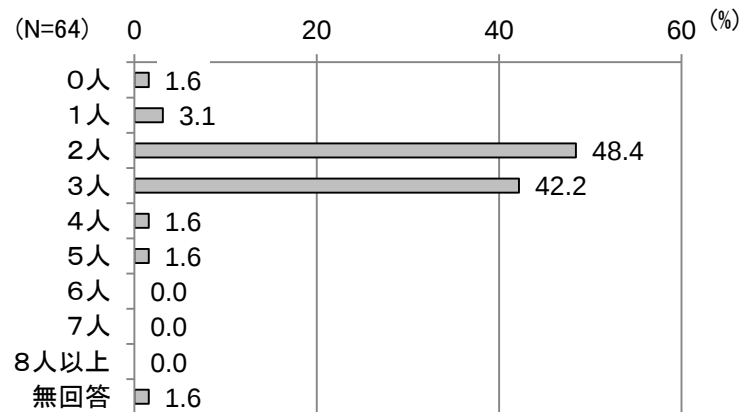


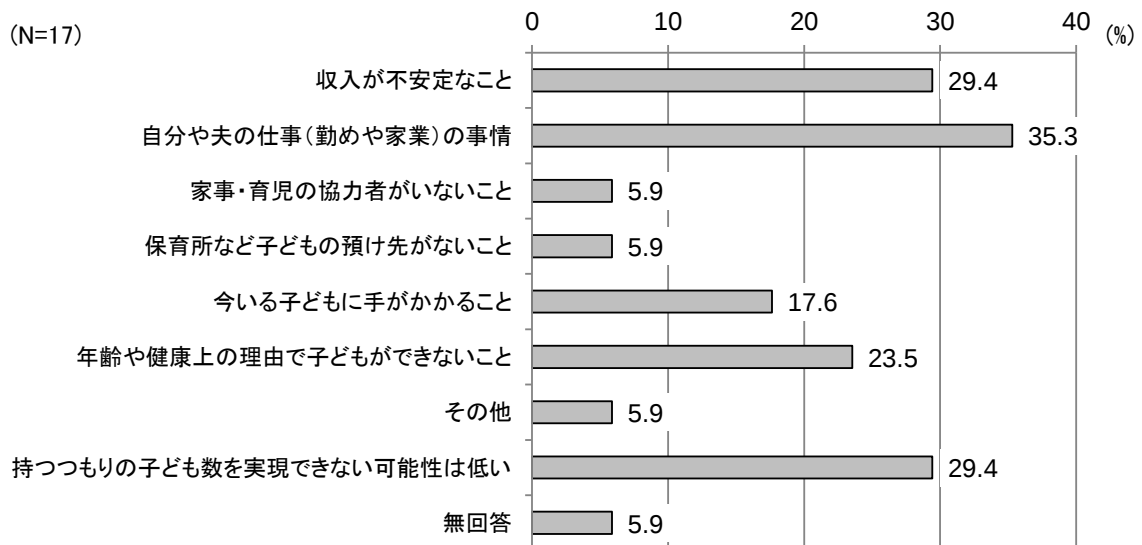
図 C- 26 年代別・理想的な子どもの数

	(%)									
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答
全体 (N=64)	1.6	3.1	48.4	42.2	1.6	1.6	-	-	-	1.6
18歳から39歳まで (N=33)	3.0	-	39.4	54.5	3.0	-	-	-	-	-
40歳から49歳まで (N=31)	-	6.5	58.1	29.0	-	3.2	-	-	-	3.2

問7 (問5で1人～4人以上を選択した方に伺います。) 今後、持つつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最も多いのは「自分や夫の仕事(勤めや家業)の事情」で35.3%である。続いて、「収入が不安定なこと」、「持つつもりの子ども数を実現できない可能性は低い」が29.4%である。

図 C- 27 持つつもりの子どもが持てない原因



問8 (最終的に持つつもりのお子さんの数が理想なお子さんの数(問6)よりも少ない方に伺います。)持つつもりのお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけて、さらに最も重要な理由を選んでください。

最も重要な理由として最も多いのは「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」で51.9%である。すべての理由を複数回答で集計すると、最も多いのは「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」で18.5%である。(無回答を除いて集計)

図 C-28 持つつもりの子どもの数が理想な子どもの数よりも少ない最も重要な理由

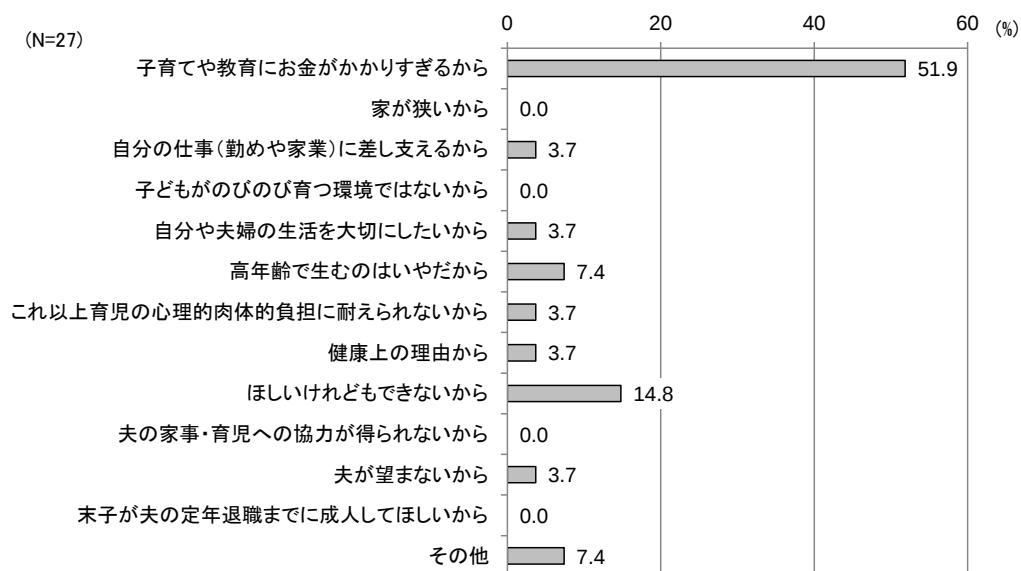
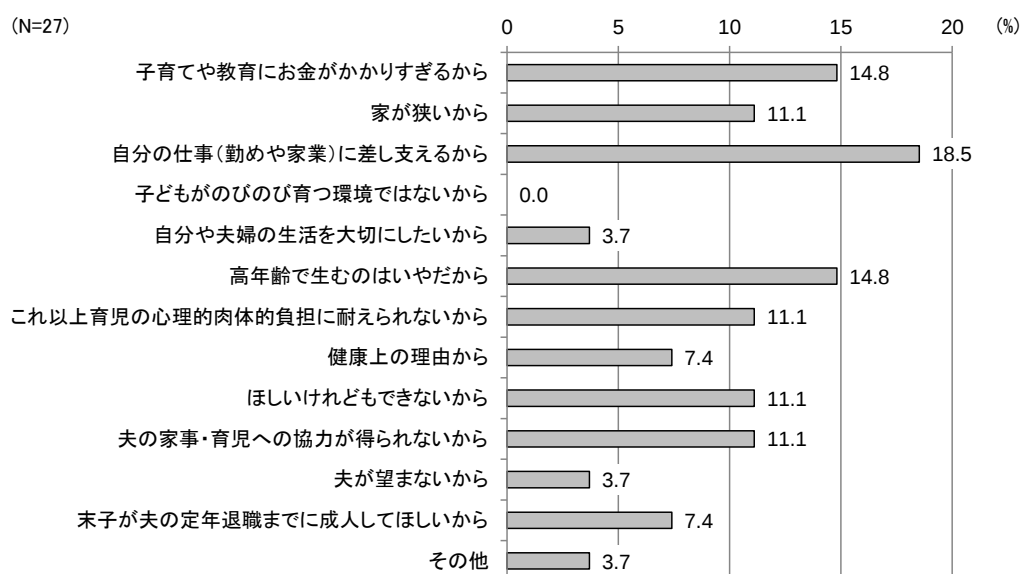


図 C-29 持つつもりの子どもの数が理想な子どもの数よりも少ない理由(すべて)



問9 あなた方ご夫婦のお子さん(3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。第一子から第三子までそれぞれあてはまるものすべてを選んでください。

第一子、第二子で最も多いのはいずれも「どれも利用しなかった」で47.4%である。(無回答を除いて集計)

図 C-30 第一子で利用した制度や施設

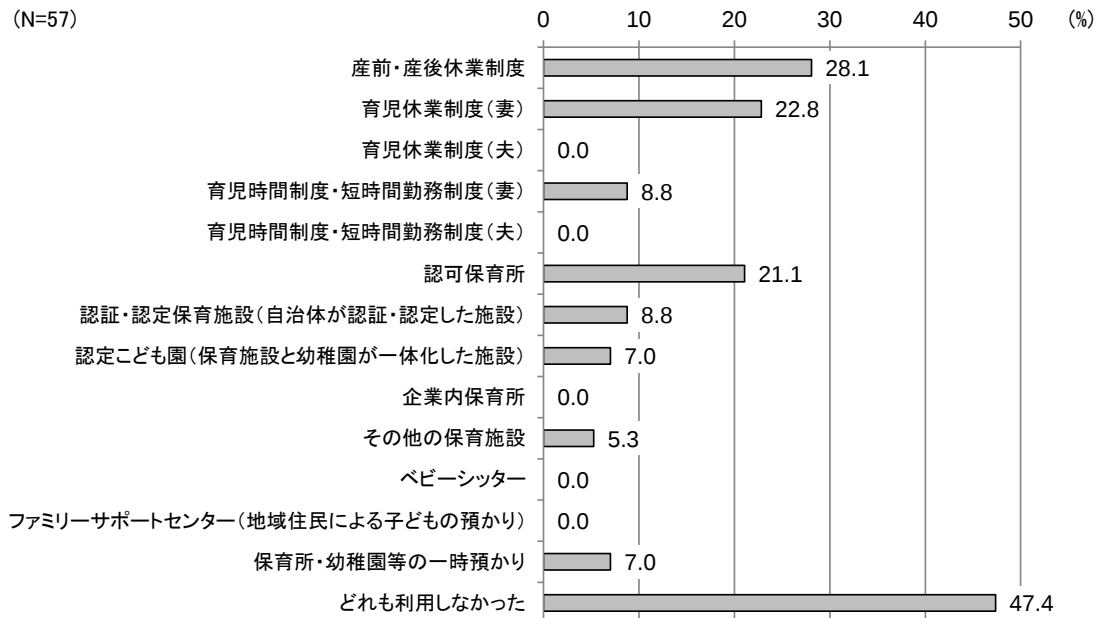


図 C-31 第二子で利用した制度や施設

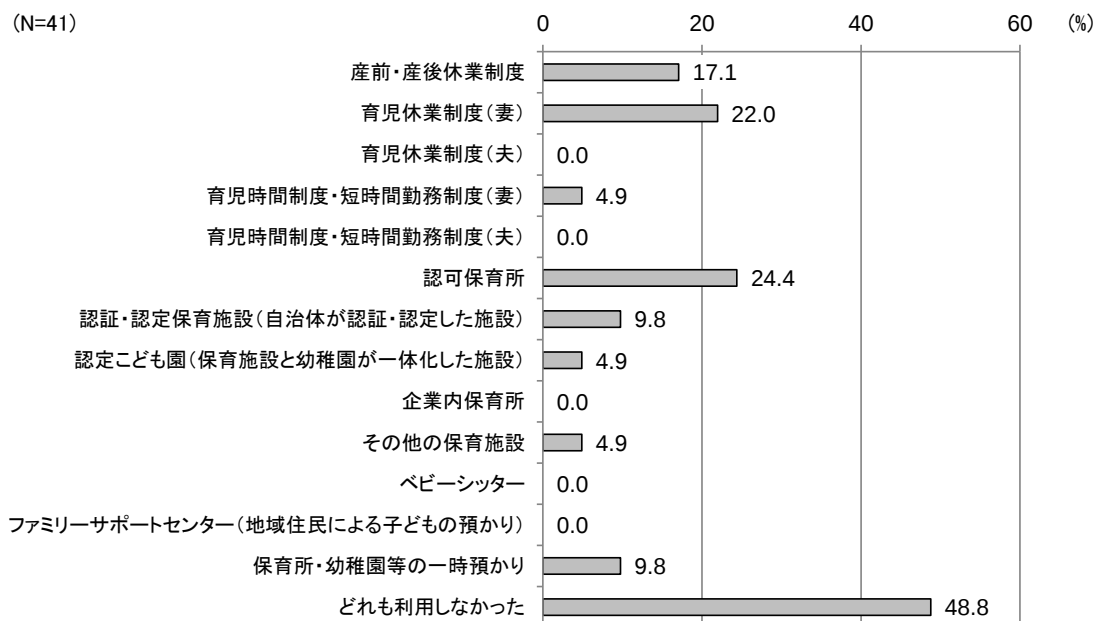
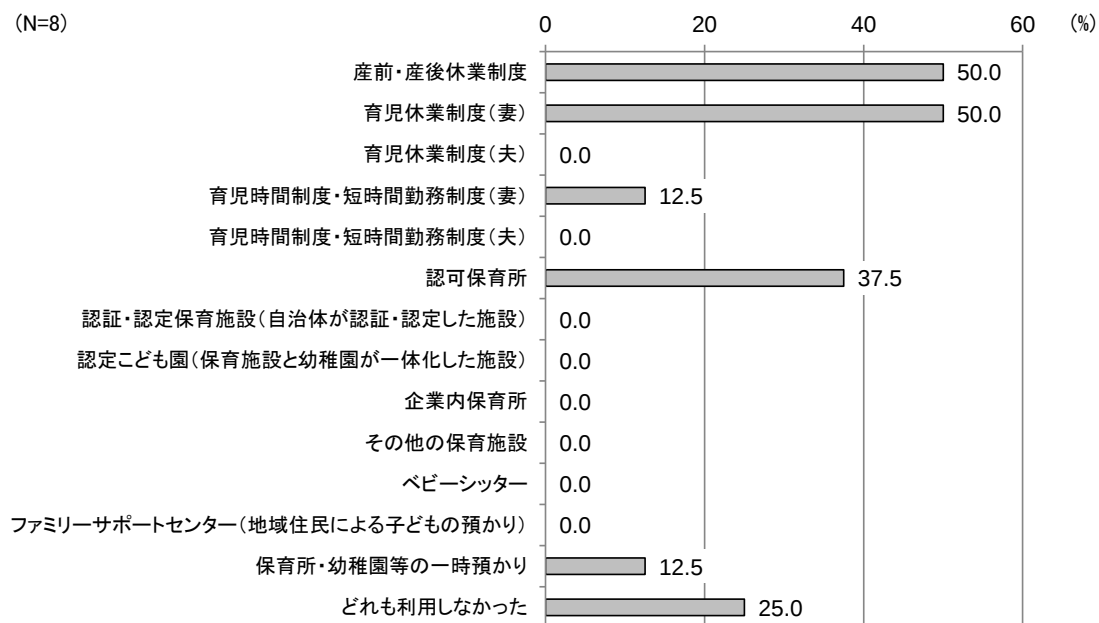


図 C- 32 第三子で利用した制度や施設



問 10 お子さんの妊娠が分かったこと、お子さんが生まれたことをきっかけにおつとめを辞めた方に伺います。辞めた理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最も多いのは「勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」で 60.6%である。年代別にみると、全体と比較して「40 歳から 49 歳まで」で「家庭と両立する努力をしてまで仕事を続けたいと思わなかったため」が多い。

図 C- 33 妊娠・出産をきっかけに仕事を辞めた理由

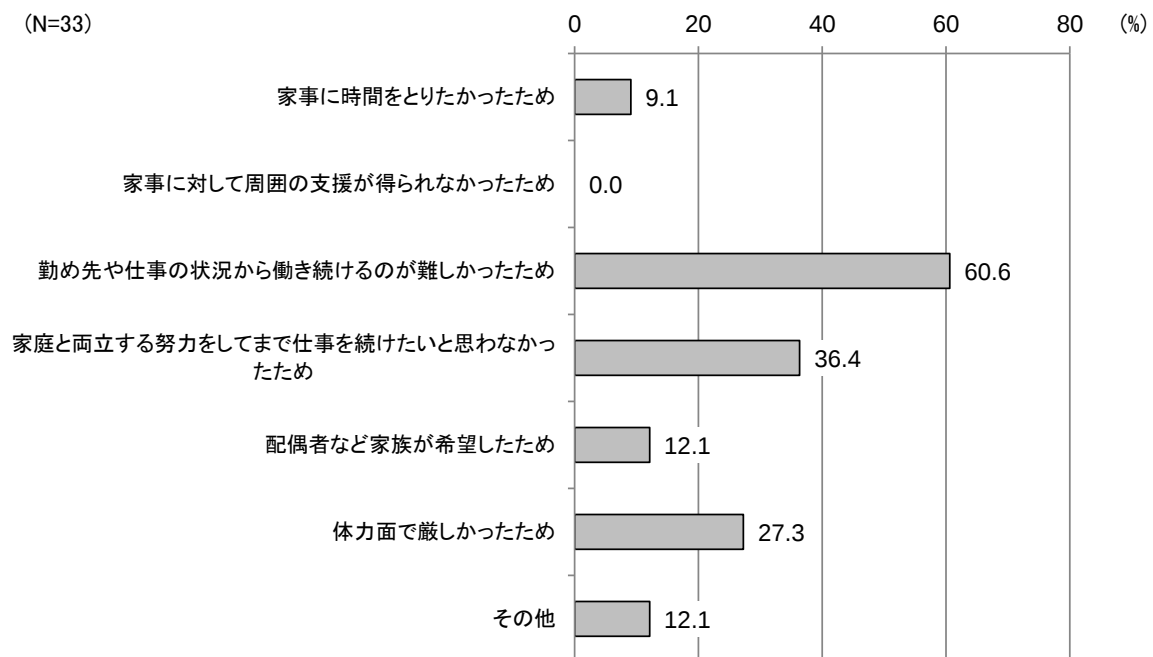


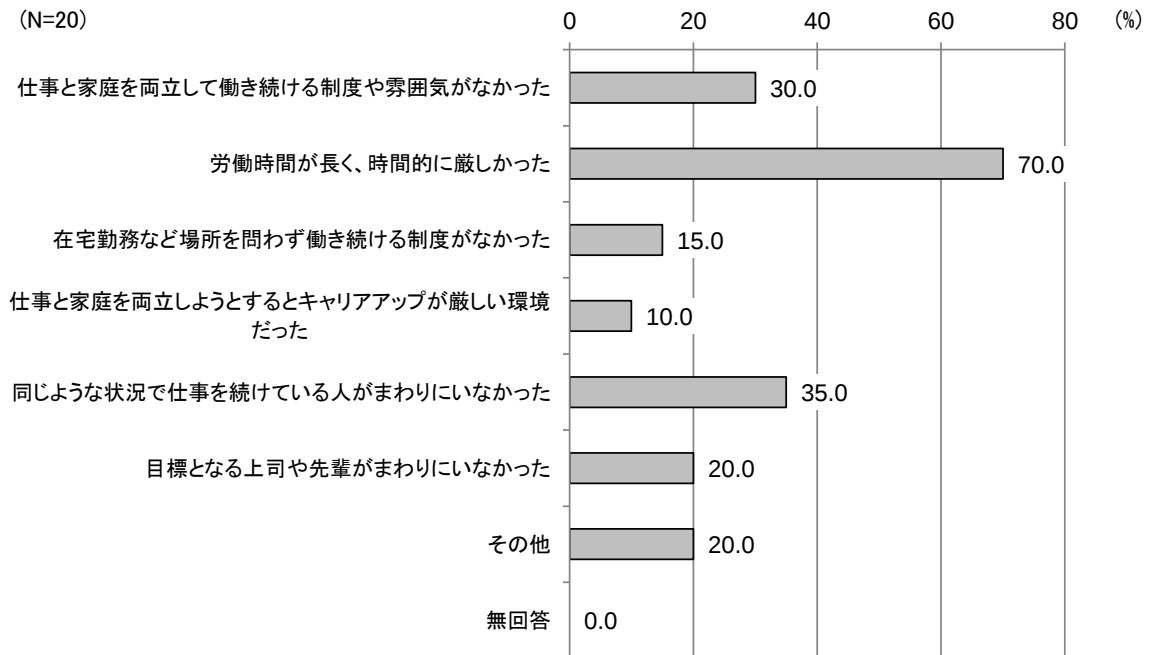
図 C- 34 年代別・妊娠・出産をきっかけに仕事を辞めた理由

	家事に時間をと りた	家事に対して 支援が得られ なかつたため	勤め先や仕事 の状況から 働き続ける のが難しか つたため	家庭と両立 する努力を したため	配偶者など 家族が希望 したため	体力面で 厳しかった ため	その他
全体(N=33)	9.1	—	60.6	36.4	12.1	27.3	12.1
18歳から39歳まで(N=17)	11.8	—	64.7	29.4	17.6	23.5	17.6
40歳から49歳まで(N=16)	6.3	—	56.3	43.8	6.3	31.3	6.3

問 11 (問 10 で「勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」を選択した方に伺います。) 勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しいと思った理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最も多いのは「労働時間が長く、時間的に厳しかった」で 70.0%である。

図 C- 35 働き続けるのが難しいと思った理由



問 12 お子さんの妊娠が分かったこと、お子さんが生まれたことをきっかけにおつとめを辞めた方に伺います。復職・再就職したい気持ちはありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのは「すでに復職している」で40.6%である。年代別にみると、「40歳から49歳まで」で「すでに復職している」が多いが、「ある」が少ない。（無回答を除いて集計）

図 C-36 復職・再就職への意欲

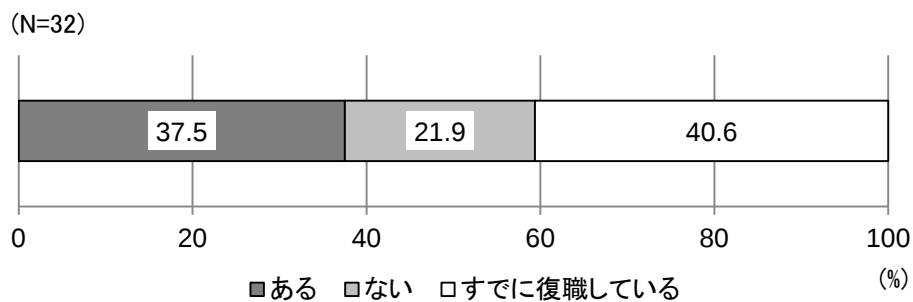


図 C-37 年代別・復職・再就職への意欲

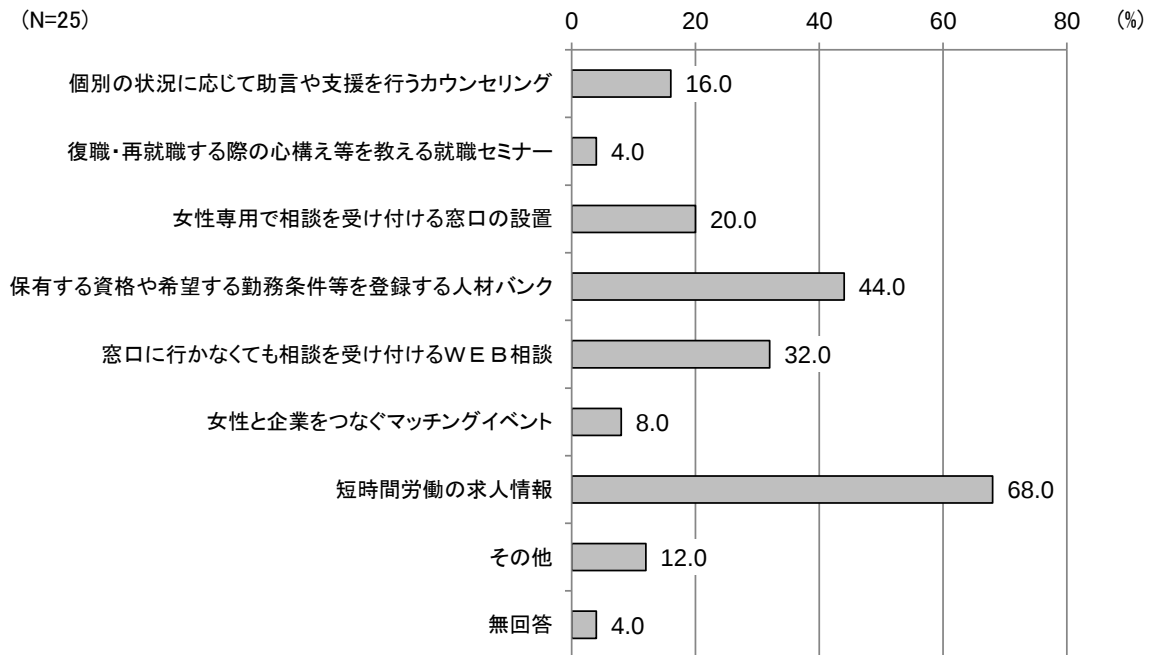
(%)

	ある	ない	すでに復職している
全体(N=32)	37.5	21.9	40.6
18歳から39歳まで(N=17)	52.9	17.6	29.4
40歳から49歳まで(N=15)	20.0	26.7	53.3

問 13 (問 12 で「ある」、「すでに復職している」を選択した方に伺います。) 復職・再就職する際にどういった支援を希望しますか。もしくはあると良かったと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最も多いのは「短時間労働の求人情報」で 68.0%である。続いて「保有する資格や希望する勤務条件等を登録する人材バンク」が多い。

図 C- 38 復職・再就職する際に希望する支援



問 14 (お子さんがいる方に伺います。) 出産、育児に際しての不安や苦労はありましたか。最も重要な理由の順に3つまで選んでください(特に不安や苦労がない場合は、1位に「特に不安や苦労はない」をご入力ください)。

1位の理由として「体力的負担が大きい」、「経済的負担が大きい」、「精神的負担が大きい」、「自分のことをする時間がない」が同率で多い。年代別にみると、「18歳から39歳まで」で「精神的負担が大きい」、「仕事との両立が困難である」が少なく、「40歳から49歳まで」で「精神的負担が大きい」、「仕事との両立が困難である」が多い。

1位から3位までを複数回答として集計すると、最も多いのは「体力的負担が大きい」で5割程度である。年代別にみると、「18歳から39歳まで」で「精神的負担が大きい」が少なく、「40歳から49歳まで」で「精神的負担が大きい」が多い。

図 C- 39 出産・育児に際しての不安や苦労(一位)

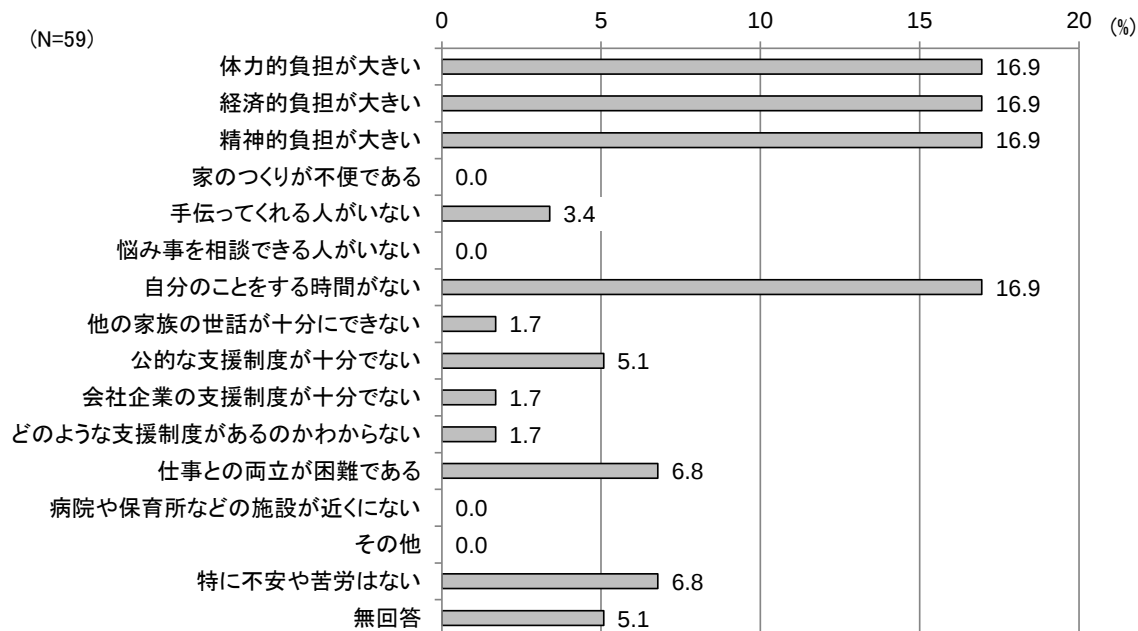


図 C- 40 年代別・出産・育児に際しての不安や苦労(一位)

																	(%)
	き い 体 力 的 負 担 が 大	き い 経 済 的 負 担 が 大	き い 精 神 的 負 担 が 大	便 家 の つ く り が 不 便 で あ る	人 が い っ た り な い	き 悩 み 人 が い な い	自 分 の 時 間 が な い	い が 他 の 家 族 の 世 話 が 十 分 で な い	公 的 な 支 援 制 度 が 十 分 で な い	い 制 度 が 企 業 分 で な い	わ か ら な い 支 援	ど の よ う な 支 援	困 難 事 と の 両 立	に ど の 病 院 や 保 育 所 が 近 く な い	そ の 他	は 特 に 不 安 や 苦 労 な い	無 回 答
全体 (N=59)	16.9	16.9	16.9	-	3.4	-	16.9	1.7	5.1	1.7	1.7	6.8	-	-	6.8	5.1	
18歳から39歳まで (N=30)	16.7	16.7	10.0	-	3.3	-	16.7	3.3	10.0	3.3	-	3.3	-	-	10.0	6.7	
40歳から49歳まで (N=29)	17.2	17.2	24.1	-	3.4	-	17.2	-	-	-	3.4	10.3	-	-	3.4	3.4	

図 C- 41 出産・育児に際しての不安や苦勞(すべて)

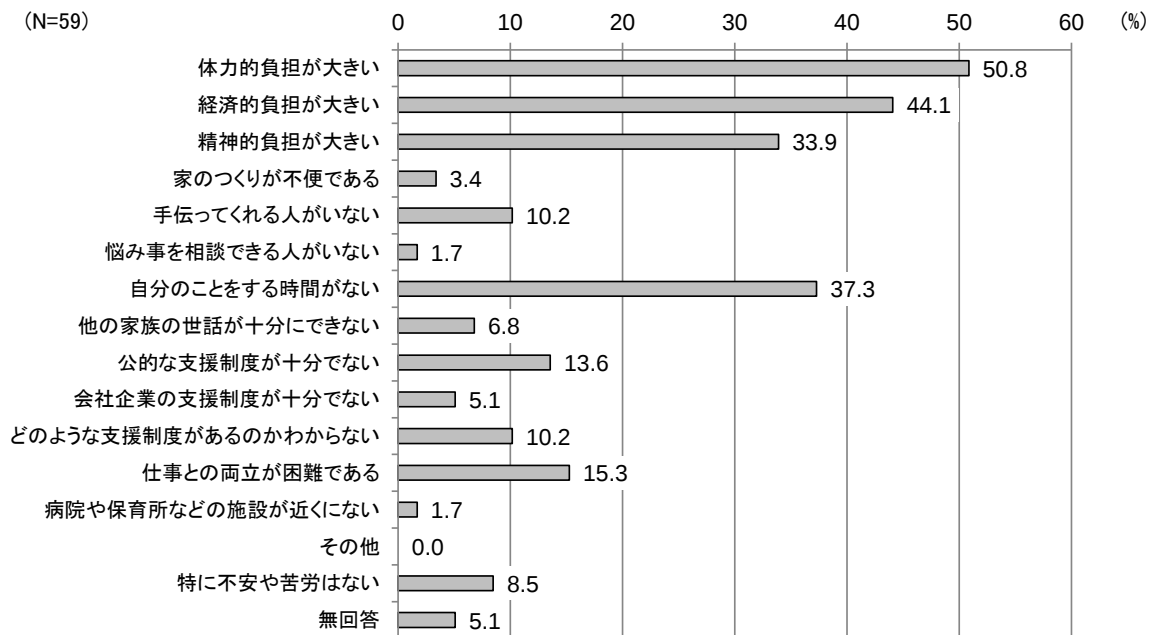


図 C- 42 年代別・出産・育児に際しての不安や苦勞(すべて)

																		(%)
	き 体 力 的 負 担 が 大	き 経 済 的 負 担 が 大	き 精 神 的 負 担 が 大	便 家 の つ く り が 不 である	人 手 が い つ て く れ る	き 悩 み 事 を 相 談 い で	自 分 の こ と を す る 時 間 が な い	い が 他 の 十 分 に で き な 話	公 的 な 支 援 制 度 が 十 分 で な い	制 度 が 公 的 な 支 援 制 度 と な ら な い	会 社 企 業 の 支 援 制 度 が 十 分 で な い	わ か ら な い 支 援 制 度 が あ る の か	ど の よ う な 支 援 制 度 が あ る の か	困 難 事 と の 両 立 が あ る	に ど の 病 院 や 保 育 所 に 近 く な い	そ の 他	は 特 に 不 安 や 苦 労	無 回 答
全体(N=59)	50.8	44.1	33.9	3.4	10.2	1.7	37.3	6.8	13.6	5.1	10.2	15.3	1.7	-	-	8.5	5.1	
18歳から39歳まで(N=30)	46.7	46.7	23.3	3.3	10.0	3.3	40.0	13.3	16.7	6.7	6.7	13.3	3.3	-	-	13.3	6.7	
40歳から49歳まで(N=29)	55.2	41.4	44.8	3.4	10.3	-	34.5	-	10.3	3.4	13.8	17.2	-	-	-	3.4	3.4	

問 15 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題等について、ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

有効回答 64 件に対し、10 件の意見を得た。それぞれの意見を示す。

※文章が長いものについては一部割愛し、また読みやすいよう一部表現を変更している。

不妊治療にお金がかかる。

子どもが3歳、1歳になり、今年の4月からパートで仕事復帰をしたが、保育料の負担は大きい。パート収入の大半は保育料で無くなる。共働きといっても生活は豊かにならない。かといって、正社員でフルで働くのは、子どもとの時間が減るので、子どもがかわいそうだし自分もイヤなのでそこまではしたくない。

高砂市内の中学校の環境は悪すぎるため中学受験をし、私立中高一貫校へ進学した。このままでは高砂市で子育てする人は増えないと思う。

中筋保育園の前の道路に駐車する車(送迎)が多く、親も手を引くなどの行動をせず、通行する車が悪いかのようだ。取締りを厳しくしてほしい。迷惑だ！

出産時の妊婦健診の助成券を足りる人と足りない人がいるのでどうにかしてほしい。

足りる人は返納したらいくらか返してくれるとか、足りない人はその都度請求すれば現金なりを返金してくれるなどの制度があると良い。

第一子、第二子ともに幼稚園などへ行く年齢になったらパートなど働きに出たいと考えている。自宅近くで短時間で働ける場所が充実していたらよいと思う。子供が生まれる前は派遣で働いており、仕事の責任も大きく、やりがいはあったが、とても子育てと両立する自信はない。主婦がやりやすい職がもっとあれば、この地域に暮らす人口も増加するのではないかと思う。

アンケートが、子供を産んでからも働きたい人の目線でしか書かれていないように感じた。子育てに専念したい、楽しみたいと考える人もいるので、そのような人たちのニーズに応えられるような支援にも目を向けていただきたい。

子育て支援センターは充実していると思うが、利用しにくい。子供を自由に遊ばせる児童館のような場所になれば使いやすいように思う。

他から越してきたので地域のことがわからない。子供会があるのか？集まりはあるのか？自治会長は誰なのか？どんな取り組みをしているのか・・・見えない。溶け込めない。

妊婦へのサポート(母親学級・両親学級)

少子化対策として、財政の問題もあると思うが、出産した子どもの数が2~3人目くらいまでは、現状の経済負担(医療助成なども含めて)で、それ以降の出生児については医療や教育面でほとんど経済的負担が無いように思い切ってしてみる。高卒程度までは教育費を実質無料にすることや看護学生への奨学金のように、企業と連携した奨学金制度の拡充などで、経済的負担を減らす。

高砂市には3年制の幼稚園が少なすぎる。都市部では3年制の幼稚園(官民間問わず)の人气が高く主流になっているが、高砂市には選択肢が無い。周りには働きたいと考えている母親も多いが、現状の保育園の入園資格、仕事をやめたときに保育園を退園しなければならないなどの問題がある。民間の幼稚園などがあるとその辺りの融通も利きやすいと思うし、もっと作ってほしい。

小学校の学童保育の時間を延長して欲しい。18時までというのはフルタイムで働く親にとっては間に合わない人が多いのではないか。近隣の市町は18時半～19時までで、高砂市だけ短い。祖父母などの協力を得られない人は、仕事を続けることも難しくなる。女性の再就職を支援してもらえなら考えてほしい。

Ⅲ アンケート調査票

高砂市民アンケート

ご協力のお願い

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より皆様におかれましては、市政全般にわたり、ご理解ならびにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、まちづくりの目標や指針を示した市政の最上位計画である「第4次高砂市総合計画」に基づいて、生活文化都市の実現に向けた各種施策を展開しています。

この計画は平成32年度までの計画であり、本年度はその中間年にあたることから基本計画の見直し作業を行うとともに、国と一体的に人口減少対策や地域の魅力創造を行う、いわゆる地方創生のための高砂市地方創生総合戦略の策定作業を併せて進めております。

この調査は、高砂市内にお住まいの皆様に、市の施策や取組に関して、お考えやご意見をお伺いし、後期基本計画や地方創生総合戦略の基礎資料とすることを目的に実施するものです。

たいへんお手数をおかけいたしますが、未来に向けた本市のまちづくりのため、ぜひ調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年6月

高砂市長 登 幸人

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、市内にお住まいの方に、ご記入をお願いするものです。
- 2 ご回答は無記名でお願いします。(調査結果は統計的な数値、自由意見については個人が特定されないようとりまとめたうえで公表します。)
- 3 本市の生活環境や住宅対策などについて対応していくための施策への基礎資料とします。
- 4 ご回答は、質問ごとの説明にそって、調査票に直接ご記入ください。
- 5 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です。)に入れて、

6月30日までに郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

高砂市 企画総務部 経営企画室

電話 079-443-9007(直通) FAX 079-442-2229

Eメール tact2110@city.takasago.hyogo.jp

調査のご案内

本調査には3つのアンケートが含まれています。

それぞれ対象となる調査にご回答下さい。

A お住まい・居住地に関するアンケート

対象者：すべての方

次のページからご回答ください。

B 結婚・出産に関するアンケート(独身男女)

対象者：現在、独身の18歳以上50歳未満の男女

9ページからご回答ください。

C 結婚・出産に関するアンケート(有配偶者女性)

対象者：現在、ご結婚されている50歳未満の女性

14ページからご回答ください。

A お住まい・居住地に関するアンケート

すべての方が対象のアンケートです

あなたご自身のことについて伺います

問1～9 それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

問1 性別	1 男	2 女
問2 年齢	1 18・19 歳 3 30 歳から 39 歳まで 5 50 歳から 59 歳まで 7 70 歳から 79 歳まで	2 20 歳から 29 歳まで 4 40 歳から 49 歳まで 6 60 歳から 69 歳まで 8 80 歳以上
問3 結婚	1 既婚	2 未婚
問4 家族構成	1 単身世帯 3 2 世代（親と子）の世帯 5 その他	2 夫婦世帯 4 3 世代（親と子と孫）の世帯
問5 お子様の数	（ ）人 ※同居の有無にかかわらずません。	
問6 お住まいの 住所地	1 高砂地区 4 中筋地区 7 阿弥陀地区	2 荒井地区 5 曾根地区 8 北浜地区 3 伊保地区 6 米田地区 9 わからない
問7 現在の住所地の 居住期間	1 1 年未満 3 5 年以上 10 年未満 5 20 年以上 30 年未満	2 1 年以上 5 年未満 4 10 年以上 20 年未満 6 30 年以上
問8 最後に卒業した(ある いは在学中の)学校	1 中学校 3 男女別学の高校 5 短大、高専 7 共学の大学 9 その他（ ）	2 男女共学の高校 4 専修高校（高卒後） 6 女子大学 8 大学院
問9 在学しているか	1 在学している（休学も含む） 2 在学していない	

問10 現在のおつとめの状況をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 給与所得者	2 パート・アルバイト
3 農林水産業	4 自営業
5 家事従事者	6 学生
7 無職	8 その他

問11（問10で1～4を選択した方に伺います。）現在の業種をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 農林漁業	2 鉱業、採石業、砂利採取業
3 建設業	4 製造業
5 電気・ガス・熱供給・水道業	6 情報通信業
7 運輸業、郵便業	8 卸売業、小売業
9 金融業、保険業	10 不動産業、物品賃貸業
11 学術研究、専門・技術サービス業	12 宿泊業、飲食サービス業
13 生活関連サービス業、娯楽業	14 教育、学習支援業
15 医療、福祉	16 複合サービス事業
17 サービス業（他に分類されないもの）	18 公務（他に分類されないもの）

問12 現在のお住まいである住宅の種類は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 持家（一戸建て）	2 持家（マンション）
3 社宅（マンション、アパート）	4 社宅（一戸建て）
5 公営住宅	6 賃貸アパート
7 賃貸マンション	8 貸し家（一戸建て）
9 その他（ ）	

これまでのお住まいなどについて伺います

問13 あなたが生まれた場所を教えてください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 現在と同じ地区	2 高砂市内の別の地区
3 兵庫県内の他の市町村（ ）	
4 他の都道府県（ ）	5 国外

問14 あなたは高砂市以外から引っ越してきたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. ある
2. ない ⇒ 問15へ

問15（問14で1を選択した方に伺います。）直近であなたが高砂市以外から引っ越してきたのはいつですか。

西暦（ ）年（ ）月頃

問16 (問14で1を選択した方に伺います。)直近であなたが高砂市に引っ越してきた時の前の居住地はどこですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 兵庫県内の他の市町村 () | 2 他の都道府県 () |
| 3 国外 | |

問17 (問14で1を選択した方に伺います。)直近であなたが高砂市に引っ越してきた時の理由は何ですか。ご本人以外の理由を含めて、あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 就職のため | 2 転職のため(仕事が決まっていた) |
| 3 求職のため(仕事が決まっていなかった) | |
| 4 開業のため | 5 転勤のため |
| 6 住宅事情 | 7 生活環境上の理由 |
| 8 子育て環境上の理由 | 9 結婚又は離婚のため |
| 10 通勤、通学が不便だったため | 11 入学、進学、転校、受講のため |
| 12 定年退職後(老後)のため | 13 家族、親族と同居又は近くに住むため |
| 14 家族、親族から独立(別居)するため | |
| 15 入院・入所のため | 16 その他 () |

問18 (問14で1を選択した方に伺います。)問17の理由は主に誰の理由ですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------------|
| 1 本人 | 2 本人以外 () |
|------|------------|

問19 最後の学校を卒業した時の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 0 まだ卒業していない | 1 現在と同じ地区 |
| 2 高砂市内の別の地区 | 3 兵庫県内の他の市町村 () |
| 4 他の都道府県 () | 5 国外 |
| ⇒卒業時の年齢 () 歳 | |

問20 はじめて仕事を持った時の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 0 仕事を持ったことがない | 1 現在と同じ地区 |
| 2 高砂市内の別の地区 | 3 兵庫県内の他の市町村 () |
| 4 他の都道府県 () | 5 国外 |
| ⇒はじめて仕事を持った年齢 () 歳 | |

問21 はじめて結婚した直後の居住地と年齢についてご回答ください。居住地については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

0 まだ結婚していない	1 現在と同じ地区
2 高砂市内の別の地区	3 兵庫県内の他の市町村 ()
4 他の都道府県 ()	5 国外
⇒はじめて結婚した時の年齢 () 歳	

問22 あなたが、もし、住み替えをするとしたら、選択する住み替え先はどちらですか。国内で最も希望するもの1つだけ選んで○をつけてください。

1 高砂市	2 加古川市	3 姫路市	4 播磨町	5 稲美町
6 明石市	7 神戸市	8 加西市	9 小野市	
10 その他 ()	都道府県		区・市・町・村)	
11 住所地を変える必要はない	12 わからない・考えたこともない			

問23 高砂市に住む(住み続ける)ため、進めるべき対策は何だと思われますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

1 誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実
2 多彩な文化活動の展開やスポーツなどを通じた健康づくり
3 生涯学習の機会や場づくり
4 地域が元気になる活動の中心となる人材の育成
5 地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備
6 教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり
7 安心して住み続けるための防災・救急対策の充実
8 犯罪や交通事故防止など安全性の確保
9 駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備
10 コミュニティバスなどの公共交通の充実
11 徒歩や自転車での移動が容易な道路整備
12 商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上
13 公園や水辺などの生活環境の基盤整備
14 美しいまちなみの形成や豊かな自然の保全
15 地域に雇用を生み出す産業の創出、企業誘致などの産業振興の基盤整備
16 農業・水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興
17 祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進
18 リサイクルや二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮したまちづくり
19 地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実
20 特にない
21 わからない
22 その他 ()

問24 現在のお住まいの住所地の住環境の満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|----|
| 1 | 満足 | 2 | やや満足 | 3 | ふつう | 4 | やや不満 | 5 | 不満 |
|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|----|

問25 (問24で1.2を選択した方に伺います。)その理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 経済的なメリット (安定した収入を得ている、安定した職がある等) |
| 2 | 家族が近くに住んでいるから |
| 3 | 友人、知人が多い、隣近所の付き合いがあるなど、地域に愛着を感じているから |
| 4 | 通勤・通学の交通の便がいいから |
| 5 | 保育園などの子育て環境が充実しているから |
| 6 | 子どもの教育環境が充実しているから |
| 7 | 公共交通機関や買い物環境が整っているなど日常生活が充実しているから |
| 8 | 医療・福祉・介護サービスが充実しているから |
| 9 | 教育文化施設、スポーツ施設が充実しているから |
| 10 | 緑が多く緑が豊かだから |
| 11 | 街並みや景観などが美しいから |
| 12 | 治安や防犯に関する取り組みが充実しているから |
| 13 | いまの環境を変えたくないから |
| 14 | 特に理由はない |
| 15 | その他 () |

問26 (問24で4.5を選択した方に伺います。)その理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 経済的なデメリット (安定した収入を得られない、安定した職がない等) |
| 2 | 家族が違う地域に住んでいるから |
| 3 | 友人、知人が少ない、隣近所の付き合いがないなど、地域に愛着を感じないから |
| 4 | 通勤・通学の交通の便が不便だから |
| 5 | 保育園などの子育て環境が不十分だから |
| 6 | 子どもの教育環境が不十分だから |
| 7 | 公共交通機関や買い物環境が整っていないなど日常生活が不便だから |
| 8 | 医療・福祉・介護サービスが不十分だから |
| 9 | 教育文化施設、スポーツ施設が不十分だから |
| 10 | 緑が少ないなど自然の豊かさを感じないから |
| 11 | 街並みや景観などを美しいと感じないから |
| 12 | 治安や防犯に関する取り組みが不十分だから |
| 13 | 特に理由はない |
| 14 | その他 () |

人口減少対策の取り組みについて伺います

問27 高砂市に住む人を増やすために必要な住宅施策はどのようなことをすればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 相談員を配置して住宅相談機能の充実 |
| 2 市や住宅を紹介する情報誌の作成 |
| 3 中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実 |
| 4 お試し暮らしができる住宅の整備 |
| 5 デザイナーズ住宅などの整備 |
| 6 菜園付き住宅などの整備 |
| 7 眺望や周辺の自然に恵まれている戸建て住宅の整備 |
| 8 単身者向け家具・電化製品付き賃貸マンションなどの整備 |
| 9 高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備 |
| 10 子育て家庭用のマンションの整備 |
| 11 住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設 |
| 12 行政と企業の協力による、社宅や公営住宅の整備 |
| 13 良好な住宅団地の開発 |
| 14 地域のイメージ・評判の向上 |
| 15 住宅を選びやすくするために様々なタイプの住宅整備 |
| 16 安全性の高い住宅の整備 |
| 17 住宅の広さ、設備に恵まれた高級住宅の整備 |
| 18 家賃や価格が安い住宅の供給 |
| 19 その他() |

問28 若い世代の転入・転出への対策として、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実 |
| 2 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消 |
| 3 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備 |
| 4 若者による地域の魅力づくりの支援 |
| 5 道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実 |
| 6 良好な住宅地の開発 |
| 7 空き家などの改修助成、住宅取得の助成・低利融資、家賃補助 |
| 8 企業等と連携した住宅施策や雇用助成 |
| 9 ショッピングモールや娯楽施設などの誘致 |
| 10 ふるさと意識の醸成 |
| 11 子どもの教育や子育て環境の充実 |
| 12 その他() |

問29 少子化に歯止めをかけるため、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 結婚につながる出会いの機会創出
- 2 結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援
- 3 若い世代の経済的安定
- 4 仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）による働き方の見直し
- 5 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備
- 6 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
- 7 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 8 多子世帯に対する支援の充実
- 9 幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備
- 10 病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実
- 11 その他（ ）

問30 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
- 2 若者など地域住民の社会活動への参加増
- 3 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 4 女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 5 高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 6 各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり
- 7 危険な空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
- 8 コミュニティバスなどの公共交通網の整備
- 9 買い物や通院に困らない環境整備
- 10 生活に必要な都市機能を集約化し、歩いて暮らせるまちづくり（コンパクトシティ）の形成
- 11 その他（ ）

問31 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。〈自由記載〉

お子さんの就業状態について伺います

問32～37（お子さんがいらっしゃる方のみ伺います。）それぞれの項目ごとに第三子までお答えください。

問33～37については、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

	第一子	第二子	第三子
問32 年齢	() 歳	() 歳	() 歳
問33 性別	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
問34 働いているか	1 働いている 2 働いていない	1 働いている 2 働いていない	1 働いている 2 働いていない
問35（働いている場合） 働いている場所	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外
問36（働いている場合） 最後に卒業した学校の場所	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外
問37 現在のお住まいの場所	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外	1 高砂市内 2 高砂市以外の県内 3 県外・国外

A お住まい・居住地に関するアンケートは終了です。

ご協力ありがとうございました。



以下に該当される方は、引き続きアンケート調査にご協力下さい。

対象者：現在、独身の 18 歳以上 50 歳未満の男女

⇒B 結婚・出産に関するアンケート(独身男女)

次のページからご回答ください。

対象者：現在、ご結婚されている 50 歳未満の女性

⇒C 結婚・出産に関するアンケート(有配偶者女性)

14 ページからご回答ください。

該当されない方は、調査終了です。

添付の返信用封筒に入れ、6月30日までに郵便ポストに投函してください。

B 結婚・出産に関するアンケート(独身男女)

現在、独身の 18 歳以上 50 歳未満の男性、女性が対象のアンケートです

問1 あなたの昨年(平成26年)の年収(税込)をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|----|-----------|----|--------|
| 1 | 0～99万円 | 2 | 100万円台 |
| 3 | 200万円台 | 4 | 300万円台 |
| 5 | 400万円台 | 6 | 500万円台 |
| 7 | 600万円台 | 8 | 700万円台 |
| 9 | 800万円台 | 10 | 900万円台 |
| 11 | 1,000万円以上 | | |

問2 あなたのお父様とお母様の居住地（現在のあなたとの別居/同居）をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

	お父様	お母様
現在のあなたとの 別居/同居	1 同居 2 高砂市内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなられた	1 同居 2 高砂市内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなられた

問3 将来的に結婚したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 はい (歳頃) 2 いいえ 3 わからない

問4 (問3で1を選択した方に伺います。)その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------|---|-------------|
| 1 | 子どもがほしいから | 2 | 一人より経済的だから |
| 3 | 心の安らぎが得られるから | 4 | 社会的に信用されるから |
| 5 | その他 () | | |

問5 (問3で2を選択した方に伺います。)その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------|---|----------------|
| 1 | 生活水準が下がるから | 2 | 面倒と覚えることが増えるから |
| 3 | やりたいことが自由にできなくなるから | 4 | 経済的・精神的に困難だから |
| 5 | その他 () | | |

問6 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 利点があると思う

2 利点はないと思う

問7 (問6で1を選択した方に伺います。)具体的な利点として、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1 経済的に余裕が持てる

2 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる

3 精神的な安らぎの場が得られる

4 現在愛情を感じている人と暮らせる

5 自分の子どもや家族が持てる

6 性的な充足が得られる

7 生活上便利になる

8 親から独立できる

9 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる

10 その他 ()

問8 逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 利点があると思う

2 利点はないと思う

問9 (問8で1を選択した方に伺います。)具体的な利点として、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1 行動や生き方が自由

2 異性との交際が自由

3 金銭的に裕福

4 住宅や環境の選択が広い

5 家族を養う責任が無く、気楽

6 友人などとの広い人間関係が保ちやすい

7 職業をもち、社会とのつながりが保てる

8 現在の家族とのつながりが保てる

9 その他 ()

問10 女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。女性のご自身の、男性はパートナー(あるいは妻)となる女性の人生について、それぞれ、理想と実際になりそうな人生として最も近いと思われるものを1つだけ選んでください。

理想とする人生 ()	実際になりそうな人生 ()
-------------	----------------

- | |
|---|
| 1 結婚せず、仕事を続ける
2 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
3 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける
4 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
5 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
6 その他 () |
|---|

問11 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。最も重要な理由の順に3つまで選んでください(すでに結婚が決まっている場合は、1位に12をご入力ください)。

1 位 ()	2 位 ()	3 位 ()
---------	---------	---------

- | | |
|---|--|
| 1 結婚するまでには若すぎるから
3 今は仕事(または学業)にうちこみたいから
5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
7 異性とうまくつきあえないから
9 結婚生活のための住居のめどがたたないから
10 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
12 すでに結婚が決まっている | 2 結婚する必要を感じないから
4 今は趣味や娯楽を楽しみたいから
6 適当な相手にまだめぐり会わないから
8 結婚資金が足りないから
11 その他 () |
|---|--|

問12 これまでに異性と交際した経験がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 交際した経験がある | 2 交際した経験はない |
|-------------|-------------|

問13 (問12で1を選択した方に伺います。)現在、交際している異性はいますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 交際している異性はいない | 2 友人として交際している異性がいる |
| 3 恋人として交際している異性がいる | 4 婚約者がいる |

問14 (問12で1、問13で2～4を選択した方に伺います。)交際相手とはどのようなきっかけで知り合いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 学校で	2 職場や仕事の関係で
3 幼なじみ・隣人関係	4 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で
5 友人や兄弟姉妹を通じて	6 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む)
7 結婚相談所で	8 街なかや旅先で
9 アルバイトで	10 その他 ()

問15 あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目について、どの程度重視しますか。1～8についてそれぞれ、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
1 相手の学歴	1	2	3
2 相手の職業	1	2	3
3 相手の収入などの経済力	1	2	3
4 相手の人から	1	2	3
5 相手の容姿	1	2	3
6 共通の趣味の有無	1	2	3
7 自分の仕事に対する理解や協力	1	2	3
8 家事・育児に対する能力や姿勢	1	2	3

問16 現在交際している人と(あるいは理想的な相手が見つかった場合)一年以内に結婚するとしたら、何か障害になることがあると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 障害になることがあると思う	2 障害になることはないと思う
-----------------	-----------------

問17 (問16で1を選択した方に伺います。)具体的な障害を大きな順番に2つ選んでください。

最大の障害 ()	第二の障害 ()
-----------	-----------

1 結婚生活のための住居	2 結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)
3 親の承諾	4 親との同居や扶養
5 学校や学業上の問題	6 職業や仕事上の問題
7 年齢上のこと	8 健康上のこと
9 その他 ()	

問18 全ての方にお聞きます。(既にお子様をお持ちの方もご回答ください。)子どもを持つとした場合、子どもは何人ぐらいほしいですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 1人 | 2 2人 |
| 3 3人以上 | 4 ()人 |
| 5 持ちたくない | 6 わからない |

問19 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題等について、ご意見などありましたら、自由にご記入ください。



ご協力ありがとう
ございました。
添付の返信用封筒に入れ、

6月30日までに

郵便ポストに
投函してください。

C 結婚・出産に関するアンケート(有配偶者女性)

現在、ご結婚されている 50 歳未満の女性が対象のアンケートです

問1 配偶者(夫)の出生年月をご回答ください。

西曆 () 年 () 月

問2 現在の結婚生活を始めた年月をご回答ください。

西曆 () 年 () 月

問3 ご夫婦のそれぞれの昨年(平成26年)の年収(税込)について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

あなた（ ） 夫（ ）

- | | | | |
|----|-----------|----|--------|
| 1 | 0～99万円 | 2 | 100万円台 |
| 3 | 200万円台 | 4 | 300万円台 |
| 5 | 400万円台 | 6 | 500万円台 |
| 7 | 600万円台 | 8 | 700万円台 |
| 9 | 800万円台 | 10 | 900万円台 |
| 11 | 1,000万円以上 | | |

問4 あなたのお父様、お母様、夫のお父様、お母様との同居／別居について、時期別にそれぞれあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

お尋ねの時期		あなた(妻)のお父様	あなた(妻)のお母様	夫のお父様	夫のお母様
		1 同居 2 高砂市内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなられた			
現在の結婚を決めたとき	あなた	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	夫	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
結婚直後		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
現在		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

問5 今後生む予定のお子さんの数をご回答ください。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 0人 | 2 1人 |
| 3 2人 | 4 3人 |
| 5 4人以上 | 6 わからない |

問6 あなたにとって理想的なお子さんの数は何人ですか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 |
| 3 2人 | 4 3人 |
| 5 4人 | 6 5人 |
| 7 6人 | 8 7人 |
| 9 8人以上 | |

問7 (問5で2～5を選択した方に伺います。)今後、持つつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 収入が不安定なこと |
| 2 自分や夫の仕事(勤めや家業)の事情 |
| 3 家事・育児の協力者がいないこと |
| 4 保育所など子どもの預け先がないこと |
| 5 今いる子どもに手がかかること |
| 6 年齢や健康上の理由で子どもができないこと |
| 7 その他 () |
| 8 持つつもりの子ども数を実現できない可能性は低い |

問8 (最終的に持つつもりのお子さんの数が理想なお子さんの数(問6)よりも少ない方に伺います。)持つつもりのお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけて、さらに最も重要な理由を選んでください。

最も重要な理由 ()

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 家が狭いから
- 3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
- 4 子どもがのびのび育つ環境ではないから
- 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 6 高年齢で生むのはいやだから
- 7 これ以上育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから
- 8 健康上の理由から
- 9 ほしいけれどもできないから
- 10 夫の家事・育児への協力が得られないから
- 11 夫が望まないから
- 12 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
- 13 その他 ()

問9 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。第一子から第3子までそれぞれあてはまるものすべてを選んでください。

第1子 ()
第2子 ()
第3子 ()

- 1 産前・産後休業制度
- 2 育児休業制度(妻)
- 3 育児休業制度(夫)
- 4 育児時間制度・短時間勤務制度(妻)
- 5 育児時間制度・短時間勤務制度(夫)
- 6 認可保育所
- 7 認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)
- 8 認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
- 9 企業内保育所
- 10 その他の保育施設
- 11 ベビーシッター
- 12 ファミリーサポートセンター(地域住民による子どもの預かり)
- 13 保育所・幼稚園等の一時預かり
- 14 どれも利用しなかった

問10 お子さんの妊娠が分かったこと、お子さんが生まれたことをきっかけにおつとめを辞めた方に伺います。辞めた理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家事に時間をとりたかったため
- 2 家事に対して周囲の支援が得られなかったため
- 3 勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため
- 4 家庭と両立する努力をしてまで仕事を続けたいと思わなかったため
- 5 配偶者など家族が希望したため
- 6 体力面で厳しかったため
- 7 その他 ()

問11 (問10で3を選択した方に伺います。)勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しいと思った理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事と家庭を両立して働き続ける制度や雰囲気がなかった
- 2 労働時間が長く、時間的に厳しかった
- 3 在宅勤務など場所を問わず働き続ける制度がなかった
- 4 仕事と家庭を両立しようとするがキャリアアップが厳しい環境だった
- 5 同じような状況で仕事をしている人がまわりにいなかった
- 6 目標となる上司や先輩がまわりにいなかった
- 7 その他 ()

問12 お子さんの妊娠が分かったこと、お子さんが生まれたことをきっかけにおつとめを辞めた方に伺います。復職・再就職したい気持ちはありますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 ある | 2 ない | 3 すでに復職している |
|------|------|-------------|

問13 (問12で1、3を選択した方に伺います。)復職・再就職する際にどういった支援を希望しますか。もしくはあると良かったと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 個別の状況に応じて助言や支援を行うカウンセリング
- 2 復職・再就職する際の心構え等を教える就職セミナー
- 3 女性専用で相談を受け付ける窓口の設置
- 4 保有する資格や希望する勤務条件等を登録する人材バンク
- 5 窓口に行かなくても相談を受け付けるWEB相談
- 6 女性と企業をつなぐマッチングイベント
- 7 短時間労働の求人情報
- 8 その他 ()

問14 (お子さんがいる方に伺います。)出産、育児に際しての不安や苦労はありましたか。最も重要な理由の順に3つまで選んでください(特に不安や苦労がない場合は、1位に15をご入力ください)。

1 位 ()	2 位 ()	3 位 ()
1 体力的負担が大きい	2 経済的負担が大きい	
3 精神的負担が大きい	4 家のつくりが不便である	
5 手伝ってくれる人がいない	6 悩み事を相談できる人がいない	
7 自分のことをする時間がない	8 他の家族の世話が十分にできない	
9 公的な支援制度が十分でない	10 会社企業の支援制度が十分でない	
11 どのような支援制度があるのかわからない		
12 仕事との両立が困難である	13 病院や保育所などの施設が近くにない	
14 その他 ()	15 特に不安や苦労はない	

問15 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題等について、ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。
添付の返信用封筒に入れ、

6月30日までに

郵便ポストに
投函してください。

